



報告事項

※【 】は会議主催元 【日L】：日本ライオンズ 【MD】：MD336
※前年度第4回ガバナー協議会・連絡会議（3/25）以降の報告を含む

報告事項 1	
協議会議長	福永 栄一

【国際理事会関連】

- 2021年6月国際理事会および第103回バーチャル国際大会報告……………P5～7
- 2021年国際大会公式通達……………P8～9
- 2021-2022年度新任国際理事国内リエンション&ブリーフィング次第……………P10
- 【日L】第3回全国ガバナー会（社員総会）議事録……………P11～13
- 【日L】臨時理事会議事録……………P14～19
- 【日L】第5回理事会議事録……………P20～26
- 【日L】第6回理事会議事録……………P27～31
- 【日L】臨時理事会議事録……………P32～36
- 【日L】第4回全国ガバナー会（社員総会）議事録……………P37～41
- 【日L】臨時理事会(オリパラ関連)議事録……………P42～46

・一般社団法人日本ライオンズ理事長交代

MD337元議長(2018-2019)職名 安信氏 ⇒ MD334前議長(2020-2021) 仁科 良三氏

- 【日本LCIF】第6回役員会議議事録……………P47～52
- 【日本LCIF】第1回役員会議議事録……………P53～58

・「一般財団法人日本ライオンズ」について

※「一般財団法人日本LCIF」から名称変更 以降【日本LCIF】→【財団 日本L】

- 【財団日L】第2回役員会議式次第……………P59

・事業の取組みについて……………P60

- 【MD】臨時ガバナー協議会議事録……………P61～67

報告事項 2	
LCIF コーディネーター	橋本 充好

- 【MD】次期コーディネーター・キャンペーンコーディネーター会議次第……………P68
- 【LCIF】2021-2022年度MD336バーチャルセミナー次第と資料……………P69

LCIF2021-2022年度目標達成に向けて

- 2021-2022年度以降地区別目標額……………P70
- 2021-2022年度地区別シミュレーション……………P71～72

複合地区各役員へのご依頼事項

- ①キャンペーン100の推進
- ②MJF寄付1口以上の寄付ご依頼

報告事項 3	
GLT コーディネーター	池原 堅

- 【GAT】第6回コーディネーター会議議事録……………P73～74
- 【GAT】第1回コーディネーター会議議事録……………P75～76
- 【MD】第1回コーディネーター会議次第……………P77

報告事項 4	
GMT コーディネーター	真鍋 隆

- 【GAT】第6回コーディネーター会議議事録……………P78～86
- 【MD】第2回コーディネーター会議次第……………P87
- 336複合地区GMT報告 ※2021年6月末現在……………P88

報告事項 5	
GST コーディネーター	澤 辰水

【GAT】 第 4 回コーディネーター会議議事録	P89
--------------------------------	-----

報告事項 6	
SPC・FWT コーディネーター	有本 みどり

2021-2022 SPC・FWT 活動方針

第 1 回全日本 SPC・FWT 会議が 7 月 9 日東京で実施され GAT エリアリーダー長澤 L より
今期目標の指示がありました。

- ①クラブ支部制度を利用した健全なクラブ運営の推進のお手伝い。
- ②各地区に 1 つのクラブエクステンションのお願い。
- ③第 2 副地区ガバナーの時、1 つクラブ支部結成、第 1 副地区ガバナーの時、結成支部の
会員増強、地区ガバナーの時に支部からクラブのエクステンションになるようお願い。
- ④SPC コーディネーターの推進・登録を各地区ガバナーにお願い。

【GAT】 第 5 回(FWT)コーディネーター会議議事録	P90～93
-------------------------------------	--------

【GAT】 第 1 回(SPC・FWT)コーディネーター会議議事録	P94～97
---	--------

報告事項 7	
会則および付則・運営マニュアル編集委員長	安田 克樹

【日 L】 第 4 回会則委員会議事録	P98
---------------------------	-----

報告事項 8	
大会参加・迎接・プロトコール委員長	福代 明正

【日 L】 第 3 回国際大会委員会議事録	P99～108
-----------------------------	---------

【日 L】 緊急国際大会委員会議事録	P109～110
--------------------------	----------

【日 L】 第 4 回国際大会委員会議事録	P111～113
-----------------------------	----------

OSEAL フォーラム中止について

2021OSEAL フォーラムは韓国済州島を開催地として予定されていましたが、中止とする
ことが決定いたしました。日程などは 2022 年 2 月 22 日開催されるステアリング委員会で
決定されます。なお、この決定に従いまして次年度以降は下記のとおり変更されます。

- ・ 2023 年 マニラフォーラム
- ・ 2024 年 パタヤフォーラム

2022 年国際大会について

2022 年国際大会は 2022 年 6 月 24～28 日にカナダ・モントリオールでリアル開催にて計画
されています。詳細は決定され次第報告されます。

報告事項 9	
アラート委員長	高岡 英治

静岡県熱海市の土石流災害について

今期も 7 月初旬に豪雨災害が発生しました。静岡県熱海市の土石流による災害に心より
お見舞い申し上げます。また、各地においても豪雨災害の被害が拡大しています。
さらに、336 複合地区島根県松江市、鳥取県、広島県、高知県にも災害が起こる事態に
なっています。そして、今後発生する台風被害も想定しなければならない状況であります。

熱海市社会福祉協議会からの通達	P114～115
-----------------------	----------

熱海市土砂災害被害者支援金口座開設のお知らせ	P116
------------------------------	------

報告事項 10IT・MC・情報特別委員長
IT・MC・情報特別副委員長大木 寿之
濱本 義樹**336 内各準地区クラブ役員 MyLCI 登録および会員動静の報告啓発について**

- ①国際協会太平洋アジア課から、今年度から複合の MyLCI 業務担当者は閲覧出来るが入力権限は与えられないとの通知があり、OSEAL 調整事務局を通じて、昨年通り入力権限をいただきたい旨を交渉した。結果 MD336 だけではなく日本の複合事務局すべての MyLCI 業務担当者に入力権限が与えられた。
- ②各準地区の IT 特別委員にお願いして7月末までに今年度の役員を登録していないクラブに対して MyLCI での登録を啓発した。8月5日現在で OKAYAMA MOMO LC の幹事が登録されていないが他 A～D の全クラブが登録済みとなった。登録できていないクラブには、キャビネット事務局や IT 特別委員が登録補佐をしたが、今後は、MyLCI の入力を各クラブ会長・幹事またはクラブ業務担当者で 100%入力していただけるよう啓発していきたい。
- ③MyLCI で月末の会員動静を報告しないといけないが、D 地区はキャビネット事務局にお願いをして報告できていないクラブに連絡をし、12 クラブの未報告クラブを7月29日現在で3クラブまでにした。残りは事務局員に連絡が取れないクラブで、こちらから直接会長・幹事に連絡して代行して入力し、全 88 クラブの会員動静が完了した。
- ④D 地区は MyLCI に地区役員の登録をキャビネット事務局にお願いし、全てのコーディネーター RC・ZC・委員長を登録した。これによりライオン・アカウント取得していれば MyLCI で様々な情報が閲覧できるので地区役員の活動に役立てていただけるようアナウンスした。同様に SERVANNA にも副委員長まで登録し、情報が閲覧できるようにし活動に役立てていただけるようアナウンスした。

【濱本副委員長】

大木委員長から「7月末までに報告するように」との連絡を受け、C 地区の MyLCI にてクラブ役員未登録クラブへの連絡と登録補助作業を行った。

報告事項 11

YCE・国際関係委員長

高橋 淳

YCE 活動の今後の見通しについて

コロナウィルスに対するワクチン接種は進んでいます。ワクチンは重症化を予防するもので、感染を阻止するものではありません。デルタ株での重症化の予防率は 88%とされています。また、変異株の出現によりワクチンでの集団免疫獲得は困難ともいわれています。このため日本入国時の2週間自主隔離は、ワクチン接種者でも義務付けられています。2021年夏と2021～22年冬の派遣、受入れは中止となりました。本来「世界の人々の間に相互理解の精神を培い発展させる」という目的の YCE 活動がリスクを伴うものであってはなりません。2022年夏の再開も困難と考えます。では、この1年間我々に何ができるのでしょうか。昨年 336D 地区で行われたイタリアの学生とのオンラインでフランス料理を作りあったのも一つのヒントかもしれません。336 複合が交渉窓口である台湾と同様のことができるかもしれません。国内移動を最小限にしたうえで、日本に住んでおられる留学生との交流も考えられるかもしれません。この1年何ができるかアイデアを出して頑張りましょう。

【日L】第5回委員会議事録..... P117

【日L】第6回委員会議事録..... P118

報告事項 12

青少年・ライオンズクエスト委員長

酒井 公一

9/24,27,28 いずれかの日程で第1回 MD336 青少年・ライオンズクエスト委員会を開催予定。コロナ感染再拡大を受け、REAL 形式での開催を WEB に変更することを念頭に置いている。

報告事項 13	
国際理事候補者推薦委員	川辺 信郎

会議開催延期の通達…………… P119

報告事項 14	
ライオン誌日本語版委員	玉浦 巖

【日L】第9回～12回委員会報告書…………… P120～126

報告事項 15	
日本ライオンズ監査委員	矢野 敏明

【日L】2020-2021年度一般社団法人日本ライオンズ会計報告書…………… P127～139

前年度申し送り事項 1	
件名：336複合地区第67回年次大会中止に伴う繰越金について	澤 辰水

継続審議事項

336複合地区第67回年次大会記念誌を拝見すると、第67回年次大会中止となった為、約1,600万の繰越金があると伺えます。

アラート委員会の発足により国内外に対応できる災害対策活動資金の新しい口座を新設、直ちに使用できる資金約500万(A～D地区は、アラート資金を今期設けております)

複合地区緊急援助資金、現在は1,000万。

もし、複合地区内で災害が発生した場合、1,000万下ればまた会員の皆様にお願ひしなければなりません。

約+500万の増、複合地区緊急援助資金として1,500万確保のご検討お願ひ申し上げます。

なお、金額については今期決算の監査後で宜しいかと思ひます。

上記事項、ご思慮の程、何卒宜しくお願ひ致します。

前年度申し送り事項 2	
件名：会則および付則継続審議事項について	金礪 毅

継続審議事項

1. 各委員会の予算化を行い、委員会活動の活発化を図る。予算案は次期複合地区委員会委員長が提案し次期ガバナー協議会議長が当該複合地区年次大会において承認を得るものとする。

2. 複合地区各委員会の委員選任規約

複合地区各委員会の活性化を目的とし、ガバナー経験者だけでなく委員会委員に広く門戸を開き各準地区から有能な人材を登用することができる。

現在、長く同じ顔ぶれで組織組みを行っているのが現状であり、広く各準地区から有能な人材登用を可能にしたい。人材登用に際しては各準地区のガバナーが推薦するものとする。

3. 《経費》

【複合地区委員等が地区キャビネット構成員の場合】

現行通り複合地区協議会議長の要請により、地区ガバナーを通じて複合地区委員等に委員会等への参加出席要請をした場合の会議等の出席経費は、地区キャビネットが負担する。この場合は地区キャビネットから委員等に委員会等への参加出席を要請する。

【複合地区委員等が地区キャビネット構成員以外の者】

複合地区ガバナー協議会議長が複合地区委員等に会議等への参加要請をし、その経費は複合地区ガバナー協議会が負担する。ただし次期役員分は準地区で負担する。

4. 《招集》

各委員会は会議をWEB会議で行うことを可能とする。WEB会議の映像記録は保存し、複合事務局に5年間保存義務とする。議事録は委員会委員の中から議事録作成人、議事録署名人を選出し、事務局員の協力を得て作成する。



2021年6月国際理事会および第103回バーチャル国際大会報告

2021年6月13-16日に開催されたアトランタ国際理事会(バーチャル参加とのハイブリッド)での決議事項および第103回バーチャル国際大会とその後の国際大会での決定事項ほか報告事項をお知らせいたします。なお、理事会決議内容については正式な日本語訳が確定していない内容もあります。正しくは追って配信される決議要約および改訂される理事会方針書(国際協会ウェブサイトに掲載されるもの)によりご確認ください。地区・クラブほか日本でのライオンズクラブ活動に影響がある部分を中心に要点のみご報告いたしますので、本報告内容についてご質問がありましたらお知らせください。

アトランタ理事会決議事項・審議事項

- 台湾における地区再編成に関連し、300-C5地区の名称を300-C3とする要望案について検討。2023年国際大会閉会時に成立するこの地区再編成が完了した後に審議することとする。(地区およびクラブサービス委員会)
- 再編成以降の複合地区300台湾の表記について決議を可決。
- 2022年FVDG/DGEセミナーのグループリーダーとそのカリキュラムを承認。日本語グループは濱野雅司(MD330)PDGがグループリーダーに任命された。(リーダーシップ開発委員会)
- LCIP(ライオンズ公認講師プログラム)の認定と再認定期間についてより明確に規定するため理事会方針書第14章F5の内容の改訂を決議。(リーダーシップ開発委員会)
- 会則関連講義申し立て手順の手数料を250ドルから1,000ドルに引き上げ、和解・取り下げの場合の国際協会留保金を500ドルに引き上げる決議を可決。(会則付則委員会)
- 元地区ガバナーが選挙で代議員の立場を付与されるには、正会員もしくは会則上地区大会で投票権がある会員種別に属していることが条件であることを確認し、これを理事会方針書の会則解釈に加えることを決定。(会則付則委員会)
- ライオネスプログラムは2021年6月30日をもって終了し、これを反映させるように理事会方針書を改定することを確認。(会員増強委員会)
- クラブのマーケティング活動とブランド認知度向上のための取り組みを支援し、評価する目的で、「ライオンズ国際マーケティング賞」を創設する方向で議論を継続中。(マーケティング・コミュニケーション委員会)
- ライオンズ国際戦略計画の概要を承認し採用することを決議。(長期計画委員会)
- 理事会方針書第1章A3の使命声明文を以下のとおり改訂。
「3.使命声明文。ライオンズクラブ、ボランティア、パートナーに力を与えることにより、健康と福祉を改善し、地域社会を強化し、世界中の人々の暮らしに影響を及ぼす人道奉仕と交付金を通じて恵まれない人々に支援を提供し、平和と国際理解を促進する。」(長期計画委員会)

■新任理事オリエンテーションおよび FVDG/DGE セミナーにおいて、デジタルプロダクトに関する研修を追加することを推奨。(テクノロジー委員会)

■2022 年インド・ニューデリー国際大会は延期とし、同都市ホスト委員会と国際協会が合意する早い将来の年に実施することで合意した。2022 年国際大会は、カナダ・モントリオールで開催することを決定。(大会委員会)

国際大会会則改正案一すべて可決

可決した会則改正の内容は以下の通り。

■国際理事候補者推薦証明書が国際本部に届いていなければならない期限を、国際大会の開会日の 60 日前までに変更することを可決。これにより、

2022 年 7 月 1 日を発効日として、国際付則第 2 条第 4 項 (a) を、その 2 文目にある「30 日」との語句を削除して「60 日」との語句に差し替えることにより改正する。

2022 年 7 月 1 日を発効日として、国際付則第 2 条第 5 項 (a) を、「30 日」との語句を削除して「60 日」との語句に差し替えることにより改正する。

■国際大会が開催できない場合には、国際理事会に対し、執行役員および国際理事選出のための代替手段を承認する権限を与えることを可決。これにより、

国際会則第 5 条第 4 項 (a) を改正し、第 4 項 (a) の最後に以下の文言を挿入する。

「ただし、政府の規制または協会が抑制できない外部事象により国際大会が開催できない場合には、執行役員および国際理事を選出するための代替手段が、国際理事会によって承認されることがある。それ以外の点では、選挙は、本会則及び付則の規定に従って行われるものとする。」

■地区ガバナーの空席補充のための特別会議においては、任命により役職に就いている者から投票権を取り除くこと、かつ有資格の出席者全員に対して 15 日前に通知が行われなければならないとすることを可決。これにより、

国際付則第 9 条第 6 項 (e) を、その 2 文目の「リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、幹事及び会計又は幹事兼会計」を削除することにより改正する。

さらに、国際付則第 9 条第 6 項 (e) を、その 4 文目の「案内を」の後に「その会議の 15 日前までに」との文言を加えることにより改正する。

■第二副地区ガバナーの資格要件を変更し、地区ガバナーを過去に務めたライオンは第二副地区ガバナーとして選出される対象とならないようにすることを可決。これにより、

2022 年 7 月 1 日を発効日として、国際付則第 9 条第 6 項 (c) を、以下の文言を新たな (4) として挿入することにより改正する。

「(4) 地区ガバナーとして全期または過半の期間務めていない。」

■大会中 3 日間にわたって投票を行うという現行のやり方を反映させるために、国際大会の選挙時間を修正することを可決。これにより、

国際付則第 2 条 6 項を、その 3 文目の「の最終日に選挙を行うための時間」を削除して「で選挙を行うための日時」に置き換えて改正する。

■国際理事会における委員会名を「マーケティング・コミュニケーション委員会」から「マーケティング委員会」へと変更することを可決。これにより、

国際付則第 4 条第 1 項 (i) を、「マーケティング・コミュニケーション」との語句を削除して「マーケティング」との語句に差し替えることにより改正する。

バーチャル国際大会の結果及び新年度国際会長テーマについて

■新国際会長のテーマ文書を添付いたしました。この文書およびバイオビデオ(会長を紹介するビデオ)は下のウェブサイトからご覧いただけます。

<https://www.lionsclubs.org/ja/discover-our-clubs/presidential-theme>

ビデオは日本語字幕をつけてご覧いただけます。Youtube 下にカーソルを合わせ、CC をオンにしたあと、その右にある設定をクリックして日本語を選んでください。



国際大会のパレード入賞者、奉仕チャレンジの結果などは <https://lclcon.lionsclubs.org/ja/> からご確認いただけます。

国際大会登録者は、7 月 31 日まで国際大会にログインして見逃したセミナーや行事をいつでも視聴いただくことが可能です。その後のビデオの共有等については、現在確認しております。

■選挙結果として2021-2022年度理事会配置について

第3副会長はブラジルのファブリシオ・オリヴェイラが当選しました。国際理事会の構成は添付の通りです。あわせて、2021-2022年度LCIF理事会の構成も添付をご確認ください。



公式通達

2021 年国際大会

以下の国際会則及び付則改正案が 2021 年国際大会において提出され、
代議員による票決の対象となります。

第 1 項： 国際理事候補者推薦証明書が国際本部に届いていなければならない期限を、国際大会の開会日の 60 日前までに変更する決議案。*(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)*

下記の改正案を承認すべきか？

2022 年 7 月 1 日を発効日として、国際付則第 2 条第 4 項 (a) を、その 2 文目にある「30 日」との語句を削除して「60 日」との語句に差し替えることにより改正する。

2022 年 7 月 1 日を発効日として、国際付則第 2 条第 5 項 (a) を、「30 日」との語句を削除して「60 日」との語句に差し替えることにより改正する。

第 2 項： 国際大会が開催できない場合には、国際理事会に対し、執行役員および国際理事選出のための代替手段を承認する権限を与える決議案。*(会則に対するこの改正案の可決には 3 分の 2 の賛成票が必要)*

下記の改正案を承認すべきか？

国際会則第 5 条第 4 項 (a) を改正し、第 4 項 (a) の最後に以下の文言を挿入する。

Official Notice 2021 Final.JA

ただし、政府の規制または協会が抑制できない外部事象により国際大会が開催できない場合には、執行役員および国際理事を選出するための代替手段が、国際理事会によって承認されることがある。それ以外の点では、選挙は、本会則及び付則の規定に従って行われるものとする。

第 3 項： 地区ガバナーの空席補充のための特別会議においては、任命により役職に就いている者から投票権を取り除くこと、かつ有資格の出席者全員に対して 15 日前に通知が行われなければならないとする決議案。*(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)*

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第 9 条第 6 項 (e) を、その 2 文目の「リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、幹事及び会計又は幹事兼会計」を削除することにより改正する。

さらに、国際付則第 9 条第 6 項 (e) を、その 4 文目の「案内を」の後に「その会議の 15 日前までに」との文言を加えることにより改正する。

第4項：第二副地区ガバナーの資格要件を変更し、地区ガバナーを過去に務めたライオンは第二副地区ガバナーとして選出される対象とならないようにする決議案。*(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)*

下記の改正案を承認すべきか？

2022年7月1日を発効日として、国際付則第9条第6項(c)を、以下の文言を新たな(4)として挿入することにより改正する。

(4) 地区ガバナーとして全期または過半の期間務めていない。

第5項：大会中3日間にわたって投票を行うという現行のやり方を反映させるために、国際大会の選挙時間を修正する決議案。*(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)*

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第2条6項を、その3文目の「の最終日に選挙を行うための時間」を削除して「で選挙を行うための日時」に置き換えて改正する。

第6項：委員会名を「マーケティング・コミュニケーション委員会」から「マーケティング委員会」へと変更する決議案。*(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)*

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第4条第1項(i)を、「マーケティング・コミュニケーション」との語句を削除して「マーケティング」との語句に差し替えることにより改正する。



LIONS CLUBS INTERNATIONAL OSEAL COORDINATING OFFICE 1-3-1 UCHISAIWAICHO, CHIYODA, TOKYO, JAPAN

2021-2022 年度新任国際理事日本国内オリエンテーション&ブリーフィング

2021年7月22日(木・祝日)午後1時30分から5時まで

会場:名古屋 JR ゲートタワーカンファレンス会議室 C/D 室

■ご出席者

山田 實紘	元国際会長/LCIF 理事
川島 正行	国際理事
渡部 雅文	国際理事
藏 大介	国際理事
永田 賢司	国際理事
鈴木 誓男	LCIF 理事
中村 泰久	元国際理事/GAT 日本全域リーダー
城阪 勝喜	元ボードアポインティ/GAT エリアリーダー

■次第(予定)

- 国際協会の運営・国際理事の責任と役割について 山田元会長
- 国際理事会と国際理事の仕事について 川島理事・渡部理事
- LCIF 理事会と LCIF について 鈴木 LCIF 理事
- GAT について 中村元理事
- 日本の取り組みとビジョン 2025 について 城阪元ボードアポインティ
- 国際理事会の実務と OSEAL の現状等について マーズ佐子
- 質疑応答とディスカッション

進行及びファシリテーター:城阪元ボードアポインティ

■会場アクセス

JR 名古屋駅直結 JR ゲートタワー15 階からさらにエスカレーターで16 階の JR ゲートタワーカンファレンスにお進みください。(次ページマップご参照ください。)

電話052-586-8795

■事務局・本件に関するお問い合わせ先

オセアル調整事務局事務局長 マーズ佐子 03-4589-4972 yoshiko.merz@lionsclubs.org

第3回全国ガバナー会（社員総会）議事録

日時：2021年3月18日（木曜日）13：30～16：00

場所：フクラシア八重洲会議室D 及び ZOOM

63名中参加17名、WEB37名、委任7名全員の出席により成立。

開会宣言があり、続いて識名理事長の挨拶、山田PIPのキャンペーン100の進捗状況の報告をいただきました。

議事録作成人 MD334 仁科良三

MD330 今井文彦

議事録署名人 332-C 地区ガバナー 永富淳次

334-B 地区ガバナー 山本基博

【議案審議】

第1号議案 定款第19条を改正する提案

岡村会則委員長より説明及び経過報告がありました。

「国際協会、ロバート議事規則上共に代理人は禁止であるので、改正を望む」と説明がありました。

池田法律顧問より、任意事項によるので改正は問題が無いと確認いたしました。

反対・棄権 0：賛成 全員 で承認された。

第2号議案 定款第56条に2項を新規挿入する提案

岡村会則委員長から第1号議案の承認を受けて、説明がありました。

池田法律顧問より、変更された以上各8複合は法人の賛助会員であり、議決権は無いが、会費負担の義務を負っている。重大な事項であり、正式に報告して周知徹底を図るMDへ報告するのは当然である。

全員賛成と承認されました。

反対・棄権0：賛成全員で承認された。本日より効力を発します。

報告事項

① 森口推薦委員長より2021年～2023年2名の国際理事候補者の推薦支援の報告がありました。

藏 大介国際理事候補者

永田賢司国際理事候補者 以上2名

② アラート委員会 森川アラート委員長

・熊本豪雨災害において¥11,014,039円の支援金を行った。

・グアム204地区への医療物資支援

総額¥6,934,308円の医療物資支援をおこなった。

記念セレモニーがおこなわれました。YouTube 動画配信で今も見れます。

- ・旭川市内病院への医療物資の支援
総額¥3,000,470円の医療物資支援をおこなった。
- ③ ・オリパラ事業報告 松岡オリパラ委員長
オリーブの木については、総額¥15,212,300円 設置済である
3月30日15:00より東京都への贈呈式が開催である。
- ・招待事業
総額¥151,979,860円であるが今後の開催状況を確認しながら、
近畿日本ツーリストと詳細な協議を行うことの報告がありました。
- ④ 全国大会開催について 石原副理事長
- ⑤ モントリオール国際大会 IN 沖縄 川島国際理事
沖縄大会は、オセアルフォーラムや国際大会が中止になり、
現ガバナーの慰労及びエレクトの激励を兼ね、
また継続のリボンを取るセレモニーなどを行う会を開催しましょうと
国際理事の計らいで計画しています。
6月30日～7月1日を予定であります。
場所は350名以上で沖縄のホテルで行う予定であります。
これに合わせて、6月に予定されておりました、横浜での全国大会を
開催しようと提案されました。そこで何を行うのかは今後検討していく。
- ⑥ 各委員会
 - ・国際大会委員会
オンラインでの開催であるが、登録のお願い、投票がありますので
必ず各クラブで登録をしていただきたいと報告がありました。
マーズ佐子 OSEAL 調整事務局長より登録に関して詳細な説明がありました。
 - ・会則委員会 なし
 - ・YCE 委員会 5回 Web で開催しました。
今冬の受け入れ派遣を行うかどうかは6月2日に検討する。
各 MD は委員留任をお願い致します。
 - ・薬乱委員会 資料参照してください。
 - ・PR マーケティング委員会 今号ではモンゴルを紹介しました。
各地区、各クラブで情報並びに投稿をお願い致します。
WEB マガジンも有効に使っていただきたい。
- ⑦ 一般財団法人日本 LCIF 不老理事長
資料を参考にしてください。災害・こども支援に協力をいただき、
約850万円が集まりました。フットサルの全国大会を開催いたします。
- ⑧ 日本ライオンズ大学校 城阪アポイント
日本の様々なリーダーを講師にセミナーを開催する。

F D I ・エルシップのメンバーで今後セミナーも行う予定。

- ⑨ スペシャルオリムピクス
知的障害のあるアスリートの健康促進のために尽力した団体を表彰する
国際本部の賞（GLA）受賞の報告があり。3月26日に授賞式があります。
- ⑩ G A T 現状報告 中村G A T日本全域リーダー
資料参照のこと。 GMA新組織が今季から活動していく。
今回F D Iには22名の応募があった。
また、5月18日～20日にNLLI次世代リーダーシップセミナーをウインクあ
いちにて開催の予定。
3年以上のメンバーで、各準地区2名の参加要請をいたします。
環境保全等が重点になる予定である。
来期のG A Tコーディネーターは、各MDに推薦いたします。
- ⑪ ダイナースカード会員維持手数料の報告
¥59,201円の返却がありました。
- ⑫ 議事録の配布先 従来通りに行う
- ⑬ 日本ライオンズビジョン2025委員会 城阪アポイント
会費の値上げの検討、出入の調整をしていく。
日本ライオンズの理事長の任命の仕方についても検討する。
- ⑭ 年次大会の祝辞
菅首相からは3月22日にいただける予定である。
- ⑮ その他
- ・バーチャル国際大会においてのパレードは動画をアップして流す
全ていつもの国際大会通りに実施する予定である。
とマーズ佐子様から改めてご報告がありました。
 - ・鈴木誓男 LCIF 国際理事から、キャンペーン100は来年度迄延長された、
ライオンズは奉仕団体であり、世界のライオンが等しく100ドル寄付して
くれば、凄い奉仕ができる。日本でも同じ事が言える
 - ・2名の国際理事候補者より挨拶

以上

議事録署名人

理事長 識名 安信 [押印省略]

社員 永富 淳次 [押印省略]

社員 山本 基博 [押印省略]

2020-21 年度 一般社団法人日本ライオンズ
WEB 臨時理事会 議事録

日時 ; 2021 年 5 月 6 日(火) 13 : 30-16 : 00 Zoom

1. 13時30分出席者の確認後、藤川専務理事の司会により開会。

出席者数確認 32/33 名 (内訳 理事 25/26 名、監事 4/4 名 オブザーバー3/3 名)

議決権は理事 25 名による

識名理事長 挨拶

- ・本日の臨時理事会の議事は次年度理事長の推薦一本について。

次年度理事長選出について 332MD より 6 名の議長連名で社団へ「菅野文吉前議長立候補受諾のお願いについて」書状が届いており、その件について臨時理事会開催の要望があった。

理事長選出に関しては公正・透明感をもって進めて来た。4/7 に 2025 委員会との話し合い、4/8 執行理事による話し合いで様々な議題と共に協議し 4/21 執行理事会で詳細について発表したその後、今件が上がってきた。

次の理事長推薦に当たっては皆の忌憚のない意見を拝聴しながら進めていきたい。

2. 議事録作成人の指名

330MD 今井理事、334MD 橋本理事が指名された。

3. 議事

332MD 伊藤理事より今回の推薦状、臨時理事会開催要望に至る経緯について説明あり。

- ・今回急な要望にも関わらず臨時理事会を開催していただき識名理事長、皆様に感謝します。
- ・第 5 回執行理事会申し合わせについて次年度理事長選出(立候補を募る)についての連絡があった。次期理事長立候補資格について質問したところ現・次期議長 16 名との回答であり、その変更の理由は現職の負担軽減という目的だと受け止め、合意した。

菅野前議長は現議長の枠を超えているが、現職の負担軽減という点では問題なく、また申し合わせはあくまでも執行理事会のものであり理事会決定ではないことから変更の余地があると考えが如何か。

- ・以上を踏まえた上で、332MD 菅野前議長を理事会の指名により理事に加えた上で次年度理事長候補者として立候補することを受諾していただきたい。

以上が 332MD からの要望であります。

識名議長より当件について出席者一人一人からの質問・意見を求める。

- ・森川常務理事より当議案審議の是非を確認することがロバート議事規則上必要でないか、との意見が出るが、識名理事長より当件は緊急動議ではなく定款 26 条 3-2 項による臨時

理事会開催であるとの説明があり議事に入る。

【以降、各出席者による発言】

安澤 ID：残り任期 2 ヶ月余りの時期に次期理事長選任の方法を変更するという大事な案件を執行理事会で簡単に変更して良いのか、普通ならば執行理事会・理事会・社員総会を経てはじめて決定されるべきではないのか。ガバナーは国際協会役員であり、社員総会で初めて決定できる筈であり、次年度第 1 回目、第 2 回目の社員総会に提出して決定するのが筋ではないかと考える。

理事長選出に当たっては日本ライオンズとしてバランスが大切で一方の地域、地区に偏らない様にしていただきたいとの要望があった。

[安澤 ID の発言中、今期の識名理事長の続投決定の透明性についても言及があったが、これについてはその後岡村会則委員長から会則上問題ないこと、石原副理事長をはじめ他理事よりからも経緯について説明があり、続投についてはコロナ禍での国際協会に倣った特例であり、前期理事会、社員総会総意のもとでの決定なので問題はないことが確認された。]

森川常務理事：今回の話は立候補者の推薦でありイコール理事長決定ではない。理事長は次年度理事会で決定するのがルールであるのでルールに従い次年度理事会構成員となったうえで立候補するのが筋ではないか、そうでなければ法的にも無理があるのではないかと考えるが如何か。

仁科副理事長：今件については現一年理事全員の中で話し合いもしており、それぞれの会の中できちんと話し合いをして決めたことについては、議決権の有無に関わらず尊重していただきたい。

岡村常務理事：執行理事会の決定で 28 日の立候補締め切り、かつ菅野前議長も含めてということについてはどうかと思うので皆さんで審議していただきたい。

識名理事長：現在、立候補者および菅野前議長について全て預りの形となっている。

石原副理事長：自分自身副理事長を 2 年間務めているが、経験があるからと言って続投を望むべきではないと考える。組織の人間としてあるべき姿を示し、後進に譲るべきと思う。

菅野理事：日本ライオンズ、複合地区はあくまでも公平公正であるべき。透明性とは会員全員が納得することである。定款にも理事の再任は妨げないとある。

332MD も日本ライオンズの組織の一部でありなぜはずされるのか理解できない、定款通りにやっていただきたい。330～337MD でバランスのとれた組織作りをし

ていただきたい。

橋本(充)理事：今件については社員総会まで下りて理事再任の問題から原則論に則って決めるべきではないか。今後は選挙管理委員会の規定など明確にすべき。

森川常務理事：伊藤議長は来期も理事であり、332 から理事長を出したいのであれば伊藤議長ならば問題ないのだが何故そうではないのか。

菅野理事：332MD から立候補するのであれば伊藤議長に出てください問題ない。
定款通りにやっていただきたい。執行理事会には議決権はない。

識名理事長：透明性、バランスについては常に考慮している。

松岡常務理事：識名理事長続投については総意に基づいたもので問題ないと認識している。
今回理事長選任について急遽変更されたということだが、どの様な点において急遽であるのか、また法的には如何か池田顧問にご説明いただきたい。

池田法律顧問：次期理事長については次期第1回理事会において互選により選ばれることになっており、これが最高拘束力をもった決議機関である。現在はそのずっと前の段階の話であくまでも候補者を決める、という話である。

小林理事：332MD の現ガバナー6名の連名は非常に重いと考える。それを我々執行部がどう取り上げるか、ルールはルールであるが、大人の判断を求めたい。

中村 PID：識名理事長再任についてはコロナ禍での特例であり社員総会総意の元での決定であり今回の問題と混同してはならない。
本来理事長はあくまでも理事の中から互選されるのであり、来期は通常に戻りルールに則って行うことがベターであり会員にとっても理解できることだと考える。

川島 ID：透明・公平ということを考えれば次期第1回の社員総会においてまず理事となったうえで立候補というのが真っ当ではないかと考える。

渡部 ID：日本のライオンズは仲良くやっていかななくてはならない。
規則は規則として動くべき。決められたルールの中で次の役員を選んでいただきたい。

城阪ア^oンティ：理事会の中で所信を公表したうえでの立候補、無記名投票は透明性確保のために決定された。理事の中から互選されその中で選挙で決定される、というルールは透明性、オープンさが一番担保されたやり方である。これは安澤 ID より提案されたこ

とであり、それを受けて議論を重ねて決定されたことである。

安澤 ID：理事長は国内でのバランスが大事。東西で偏ってはならない。

富山理事：ルールに基づくことが大前提。

その上でルールが不合理であるならば、ルールに則ってそれを変えていくしかないのではないかと考える。

橋本(勝)理事：まずはルールに則って決定すべきと考える。332MD から理事長を擁立したいということであれば伊藤議長が立候補すれば良いと考える。

渡辺理事：定款にうたわれている通り、ルールに従い正社員から選任されるべきと考える。まずは菅野前議長が理事として認められるか、理事として立候補の権利を有するかの議論が最優先ではないか。

石橋常務理事：まずはルールに従うべきではあるが、日本には8MDがあるのでバランスも大事と考える。

中谷常務理事：立候補については資格者全員に平等に声がかかった上での現在2名の立候補であるが、菅野前議長がでた場合は選挙はどうなるのか。

森口常務理事：定款では理事長は正社員から選ばれる。菅野理事は来期は理事ではないので立候補するのであれば来期も理事である伊藤理事に立候補していただくのが筋ではないかと考える。

今井理事：ルールに基づいて決定すべき。今年は異例であったが、これまでの理事長のバランスは保たれている。理事長、副理事長は組織について知識、経験がある人間がやるべきと考えるので現在の一年理事8名の中から選ばれるのがベターであると考え

吉見監事(監事団代表)：ルール尊重すべき。

これを機に選挙について規約を設けるべきと考える。

鈴木 LCIF 理事：ルールに則っていくことが大事である。

ルールでは「理事から理事互選で理事長を選ぶ」とある。6/10 社員総会で立候補して選ぶのが一番オープンであろうが誰でも立候補できる、というルールは無い。理事の中から選ばれるというルールは破ってはならない。

識名理事長：理事長立候補者を募ることがイレギュラーであることは認識しているが公平・透

明を保つための想いからのことである。

山田 PIP：日本ライオンズ設立から 5 年経つがまだ揺らいでいる点があることが残念である。

日本ライオンズの世話人の立場から話をしたい。

現在、第 3 国際副会長に立候補を希望する各国の会員より連絡があるが、その全てに対して、やりたいから立候補するのではなく自身にその力があるか良く考えた上で立候補するように、そして投票は「やりたい人」ではなく「やらせたい人」に対してされるものだ、と話をしている。

日本の場合には「友愛と相互理解」が日本のライオンズの誕生以来のキーワードである。理事長についてはルールに則って理事の中から何人でも立候補していただき、なったからには理事長としてしっかりと身を粉にしてまでも務めあげていただきたい。

森川常務理事：理事になる以前に日本ライオンズ社員になる条件は何であるか。

池田法律顧問：役員選任基準に関する内規第 1 条を説明。菅野前議長については「理事会の指名するもの」に該当するかどうかにかたると思われる。本日の議題から考えると、菅野前議長を次期正社員候補者として選ぶか、次期理事長候補者として選ぶかの 2 案件が一緒になっているので、この 2 点について決議することになるかと思われる。

森川常務理事及び高橋監事より、ここで言う理事会とは次期の第 1 回理事会が該当すると思われ、現年度で決議をする問題ではない、仮に現理事会で決議しても 6 月末日までの決議にしかならないのではないかと考える。との発言あり。

識名理事長：今回は 332MD から届いている菅野前議長の立候補を受託するか否かの賛否を問いたいと思う。

菅野理事：定款には 3 条に理事の再任は妨げない。とあるが。

高橋監事：定款 3 条の対象となるのは現職の国際理事、国際協会の役職で日本ライオンズの理事にスライドされる可能性のある方についてである。(池田顧問に確認、同意)

識名理事長：332MD「菅野文吉前議長」立候補受諾について賛否を問いたい。

鈴木 LCIF 理事：ルールに則れば、伊藤議長が立候補すべき問題でありそもそも賛否を問う審議に値しないのではないかと。

森川常務理事：今期理事会で決議する権限はない。もし伊藤議長が立候補するのであればその時間猶予について審議したらどうか。

ここで、賛否を問うこと自体について様々な意見あり。

(現理事会で決議権限があるのか、ルールに則り 6 月総会で立候補、選挙の流れであれば決議の必要があるのか、推薦もせず選挙を行うことはまだ内容、人物についても理解浅い次年度 1 年理事に対し無責任では、等。)

鈴木 LCIF 理事より今件について採決を取ることにについて緊急動議、セコンドあり。採決へ。

採決 332MD より提出された「菅野文吉前議長立候補受託のお願いについて」

賛成 3/25 名 反対 19/25 名 保留 3/25 名 により否決。

加えて伊藤議長の立候補の可能性については、判断までの時間の猶予を与えることで決議。伊藤理事回答は 5/10 を締切とする。

採決を受け、藤川専務により日程確認。

5/10 立候補締め切りの後 5/17 理事会にて各立候補者による所信表明後、投票手続き一式を郵送する。投票・開票スケジュールについては執行部に一任することで賛成 25/25 名で決議。

以上

議事録作成人

MD330 今井文彦理事

MD334 橋本勝策理事

議 長 理事長 識名 安信

出席監事 竹下 直義 【押印省略】

同上 高橋 克文 【押印省略】

同上 福田 惠太 【押印省略】

同上 吉見 章一 【押印省略】

2020-21 年度 一般社団法人日本ライオンズ
第5回WEB 理事会 議事録

日時及びシステム：2021年5月17日（月曜日）13：30～16：30（Zoom）

出席者：	理事長/MD 3 3 7 元議長	識名 安信
	副理事長/MD 3 3 2 議長	伊藤 明彦
	副理事長/MD 3 3 4 議長	仁科 良三
	副理事長/MD 3 3 0 前議長	石原 英司
	専務理事/MD 3 3 3 元議長	藤川 清幸
	常務理事/MD 3 3 0 議長	森川 明治郎
	常務理事/MD 3 3 5 議長	中谷 宣巨
	常務理事/MD 3 3 3 議長	石橋 貞
	常務理事/MD 3 3 5 議長	松岡 勲
	常務理事/MD 3 3 6 議長	岡村 聖爾
	常務理事/MD 3 3 7 議長	森口 孝行
	理事/MD 3 3 1 前議長	渡辺 修
	理事/MD 3 3 2 前議長	菅野 文吉
	理事/MD 3 3 4 前議長	橋本 勝策
	理事/MD 3 3 5 前議長	小林 聡
	理事/MD 3 3 6 前議長	橋本 充好
	理事/MD 3 3 7 前議長	乗田 泰
	理事/L C I 国際理事	安澤 莊一
	理事/L C I 国際理事	川島 正行
	理事/L C I 国際理事	渡部 雅文
	理事/L C I 理事会アポイント	城阪 勝喜
	理事/L C I F 国際理事	鈴木 誓男
	理事/L C I 元国際理事	中村 泰久
	副理/MD 3 3 0 元議長	今井 文彦
	監事/MD 3 3 2 元議長	竹下 直義
	監事/MD 3 3 3 元議長	高橋 克文
	監事/MD 3 3 5 元議長	福田 惠太
	監事/MD 3 3 7 元議長	吉見 章一

理事 24 名、監事 4 名出席

オブザーバー：	ライオン誌委員長	団 英男
	事務総長	菅原 雅雄
	会計顧問	吉田 宗一郎

1. 開会宣言

定刻になり藤川専務理事は理事・監事の出席状況を確認し理事会開催の定足数を満たしており、理事会は成立した旨を述べ開会を宣した。

2. 議事録作成人及び署名人の指名

議長は議事録作成人を以下の2名を指名し、議事録署名人には全監事を指名した。

議事録作成人；理事 橋本充好、乗田泰

3. 議長挨拶

議長は時候の挨拶と議事の慎重審議をお願いして挨拶とした。

4. 審議事項

① 第4回社員総会開催概要の件・・・・・・・・・・・・・・・・別紙A

議長は専務理事に第4回社員総会開催概要の説明を依頼した。専務理事は資料Aを基に緊急事態宣言が延長等により変更する必要があるれば別途対応を検討すると前置きした。総会はWebと実出席の組み合わせで行う。出席予定者数が63名となるがZoomで対応できるのは最大49名であり、また次年度関連出席者があれば114名となり工夫が必要になる。緊急事態等に変更があった場合には書面による決議の可能性もあると説明した。

議長は質問を受け国際理事立候補者もオブザーバー出席の案内を行うと回答した。総会までに緊急事態宣言が解除されない地区の出席は、個々で判断して欲しいと述べた。質疑が終了したので議長は開催概要の承認を求め、賛成多数で承認された。

② 東京オリンピック・パラリンピック委員会覚書の件・・・・・・・・・・・・・・・・別紙B

松岡東京オリンピック・パラリンピック委員長は、資料Bを提示しながら障害を持つ子供たちの招待事業について昨年4月に近畿日本ツーリストとの覚書と近畿日本ツーリストとの協議の経緯を説明した。再度覚書を交わして内容を明確にする必要があるとオリ・パラ委員会は認識し、IOC、JOC、日本政府の大会開催に対する最終判断が6月30日までにはなされると思われるので、近畿日本ツーリストへの中間金5,000万円の支払期日を6月30日に変更すると同時に、6月30日を日本ライオンズからの近畿日本ツーリストへの観戦中止申し入れ最終日とする覚書の承認を求めた。

更に松岡委員長はこのコロナワクチンの接種状況並びに感染拡大のなか、障害を持つ子供たちへの観戦招待をすべきかどうかについても6月10日の社員総会の場で判断を仰ぎたいと述べた。

議長はまず覚書締結の件に関し質問の有無を尋ね質問はなかったので覚書締結の承認を求めたところ、全員一致で覚書締結が承認された。

議長は観戦に関し常務理事や国際理事等の考えを求めたところ、6月30日まで待つて判断する、観戦中止もやむを得ない、現在のコロナ感染状況の中で子供たちをコロナ

感染のリスクに曝すべきではないとの意見が出された。

社員総会でオリ・パラ観戦の実施か否かを議案として提出することに決定した。

③ 一般財団法人日本L C I Fの承認の件

藤川専務理事は指名されて一般財団法人日本L C I Fに関し一部会員やガバナーから日本ライオンズの承認があったのかとの声がある。日本ライオンズと日本L C I Fは別組織であるので日本ライオンズで日本L C I Fを承認することは筋違いであるが、日本で2つの組織はライオンズ活動の車の両輪であるので敢えて理事会で承認し、会員に日本L C I Fを認めてもらうべきではないかと考え提案したと説明した。

岡村会則委員長は会員の理解を求めるには複合地区年次大会で承認をしてもらった方が会員には理解が早いと述べた。

高橋監事は日本L C I Fの承認では漠然としすぎている。日本ライオンズと日本L C I Fとの共同事業を行うことの承認とか、議案の出し方の工夫がいるのではないかとの発言があった。同趣旨の発言が続いた。

議長は理事会で承認を行い、複合地区ではガバナー協議会や年次大会で会員の理解を得られるような対応を取るようになるとの承認を求めたところ全員一致で承認された。

④ 緊急アラート災害支援運営規則案の件・・・・・・・・・・・・・・・・別紙 C

森川アラート委員長より緊急アラート災害支援運営規則案の説明があった。この案はすでに何度か説明を行ってきたものに池田法律顧問の意見を頂き加筆したと述べた。

中村理事より第29条被災者等見舞金等に規定する被災者等にはライオンズ会員も含むのかとの質問があった。またクラブ対クラブで直接支援も考えられるが、これに対しては制限するのかとの質問があった。

森川委員長は含むと回答した。会員も被災者となり得るが、本来見舞金は義援金に該当するためライオンズ会員には渡せないと考える。支援金を要請するとき一定の割合を明記した場合に限りその割合相当額を見舞金等として拠出できるとの文言にした。またクラブ対クラブの支援にはアラート委員会は関与しないと回答した。

議長は緊急アラート災害支援運営規則案の承認を求め、賛成多数で承認された。

⑤ 公認プロトコール検討の件・・・・・・・・・・・・・・・・別紙 D

森川委員長は資料 D を示し、アラート委員会は複合地区で承認された組織であるのでプロトコールを明確にすべきであろうと考える。また日本ライオンズの役職者もライオンズクラブ国際協会公認プロトコールには記載されていない。従って日本独自の役職者のプロトコールを明らかにし国際協会公認プロトコールとの関係をもわかりやすくするため、国際協会公認プロトコールに追記した。承認いただければ日本でのライオンズクラブ推奨版プロトコールとして各クラブに提示したいと提案した。

質疑応答

岡村委員長：日本L I C Fについては複合地区年次大会若しくは準地区年次大会での承認後にしてもらいたい。

福田監事：日本ライオンズの理事は有るが監事はないのか。

森川委員長：理事・監事と表記します。

鈴木理事：ライオン誌委員長等もあるが。

森川委員長：日本ライオンズの役員というくくりで考えている。今回はアラート委員会を念頭にしていたもので表記漏れが有ります。

鈴木理事：提案されているプロトコールに関しては時間をかけて十分検討すべきではないか。

森川委員長：複合地区や準地区で作ったローカルプロトコールは必要に応じて改廃されていると思われる。今回提案のプロトコールもローカルプロトコールであり必要に応じ改廃すべきである。今回はここまでは決めておけば有用と考え提案している。このプロトコールの表題は一般社団法人日本ライオンズ推奨版ローカルプロトコールです。

岡村委員長：繰り返しになるが、日本L I C Fについては複合地区年次大会若しくは準地区年次大会での承認後にしてもらいたい。

松岡委員長：今年度日本ライオンズからの発信力が弱かったかもしれないが、日本L C I Fは正式に昨年設立も終わって日本ライオンズの理事会でも承認されているので、プロトコールに記載して皆さんに認識してもらうべきではないのか。

城阪理事：日本ライオンズ、日本L C I F、日本ライオンズ大学校は日本のライオンズでは三本柱であるので、プロトコールに記載してください。

鈴木理事：このプロトコールは一般社団法人日本ライオンズのプロトコールとすべきであり、時間をかけて検討すべきではないか。

森川委員長：日本ライオンズの役職で漏れているところは掲載していくので、これは原案として承認いただき6月10日の社員総会にきちんとしたものを提案したい。

岡村委員長：プロトコールの原案は会則委員会に諮問され、各複合地区で検討すべきではないのか。

森川委員長：アラート委員会としては、何時災害が発生するかもわからないので活動しやすさを考えてアラート委員会の件だけでもプロトコールを決めていただきたい。

小林理事：昨年度アラート委員長の経験として、班長、副班長だけでも決めていただきたい。

川島国際理事：森川委員長はアラート委員会としての立場でこのプロトコールを提案されており、アラート委員会と他は区分して考えるべきではないのか。

議長：質問が出尽くしたのでアラート委員会からの本提案を社員総会に提案するべきかの賛否を問うところ、賛成7、反対9で社員総会には提案しないと決定した。

続いて本プロトコール案を会則委員会へ諮問する件について賛否を諮ったところ、賛成多数で会則委員会への諮問が決定された。

⑥ 次年度執行理事会構成案について・・・・・・・・・・・・・・・・別紙 E

藤川専務理事より次年度一般社団法人日本ライオンズ理事長候補者の推薦について5月6日の臨時理事会で理事長候補者を選挙で決める旨が決まったこと、松岡常務理事並びに仁科副理事長の2名の立候補届が出されたが、松岡常務理事から立候補辞退の申し出があり、現在仁科副理事長だけの立候補となっている旨説明があった。

議長は仁科立候補者に所信表明を促し、仁科立候補者は所信表明を行った。所信表明の資料はEである。

藤川専務理事及び菅原事務総長より理事による郵便投票による推薦選挙の手続きについて説明があった。投票締切日は5月27日午後4時必着です。

議長は次年度理事長の理事会推薦手続についての賛否を問うたところ、全員一致で承認された。

⑦ 次年度予算案について・・・・・・・・・・・・・・・・別紙 F

藤川専務理事は、資料Fを基に詳細に次年度予算案について法人部門とライオン誌部門に分けて詳細に説明した。法人部門の濱田さんのフレックス勤務並びに高橋さんの退社で人員の減少と社員の補充を行わないことで経費の削減を図ると共にライオン誌委員会の会議のWeb化やライオン誌ページ数の削減の効果もあり、単年度黒字予算編成となったと説明した。

議長は質問がないことを確かめ、予算案の賛否を諮ったところ全員一致で承認された。

ライオン誌委員会からの要望について・・・・・・・・・・・・・・・・別紙 G

藤川専務理事は、資料Gを基にライオン誌委員会から提出されている要望書の概要について説明した。2016年にライオンズ日本連絡事務所とライオン誌日本語版事務所が統合されたが、2016年統合当時にライオン誌が有していた剰余金が約2億2千万円あった。この内訳は国際協会からの補助金、広告収入、特別負担金等からなっている。

ライオン誌日本語版委員会委員長は、会員からの要望として印刷版の発行要望が根強く現在印刷版40ページを年6回、Webマガジンを年12回提供しているが、印刷版を36ページにすることによって年100万円の経費削減を図ること等補足説明を行い、今後も統合当時の剰余金を使うことによって印刷版の発行を続けられるように配慮を頂きたいと述べた。

議長は質問を受ける旨述べた。

中村理事より国際協会からの2ドルの補助金打ち切りが決定されているのではないかと質問があった。

川島国際理事は、オセアル事務局に確かめたところ打ち切りの時期については決定されていないとの回答であったと説明した。

議長は質問がないことを確かめ、ライオン誌日本語版委員会から出された今後も印刷版を発行することの承認の賛否を問うたところ賛成多数で承認された。

会議出席者旅費規程の改正について・・・・・・・・・・・・・・・・別紙H

藤川専務理事は資料Hを基に、現行会議終了後当日午後11時までには自宅最寄り空港又は鉄道駅に帰着できない場合に宿泊料補助がでる旅費規程の宿泊料補助（上限15,000円）の廃止案を説明した。

議長は質問がなかったので採決に移り、全員一致で宿泊費補助の廃止案が承認された。

⑧ SON広島大会について

議長は岡村常務理事にSON広島大会に対する336複合地区の対応について説明を求めた。

岡村常務理事は2022年11月開催のSON広島大会に関しては、既にSONと日本ライオンズの協定により大会の概要等は示されているのでSONとの対応は全て一般社団法人日本ライオンズで受け、大会の方向性を決めていただきたい。4月になされたSON広島大会記者発表では、336複合地区次期議長が実行副委員長に、336C地区次期ガバナーが大会参与に就任する旨なされている。それ以外の情報を336複合地区は持ち合わせていない。実働の指示があれば336複合地区は現場の担当を行う。従って今日336複合地区では会議に掛ける資料は一切持ち合わせていない旨述べた。

菅原事務総長は岡村常務理事が述べられたとおりであるが、資料を336複合地区に届けるので336複合地区が窓口となって実行して頂きたいと述べた。

議長は先の札幌大会を担当した渡辺理事に札幌大会での状況説明を求めた。

渡辺理事はLCIFとSONとの資金協力の下に行われ、予算書の中に既に各ライオンズクラブに5,000円の資金協力を求めることが決まっていたと説明した。

議長はまず日本ライオンズがSON広島大会の支援を行うかどうかについて賛否を問うた結果、全員一致で支援をすることが承認された。

議長は336複合地区の次期執行部からSON広島大会の予算書が日本ライオンズへ提出されているので、改めて岡村常務理事に336複合地区での担当を要請した。

菅原事務総長は336複合地区次期執行部から予算書は頂いているが、金額面での不明なところもあり正式に受理はしていない。予算の詳細は現地でないとうからないと思うので、336複合地区で予算面から担当してもらいたいと述べた。

岡村常務理事は、SON側で大会の詳細を決定し日本ライオンズに支援を要請すべきであり、日本ライオンズはそれにどこまで応ずるかを決めるのであり336複合地区としては、予算には係り合いたくないと重ねて述べた。

菅原事務総長はSONと支援団体とのセミナーの中で、SONの財源確保の手段として使用済みの携帯電話並びに使用済みパソコンの寄贈が要請された。後日要請が有るものと思うと述べた。

議長は、336複合地区次期執行部と今後のSON広島大会については協議を進めていくと述べた。

以上をもって審議事項は終了したと議長は宣した。

5. 報告事項

① モントリオール国際大会 I N 沖縄 開催の中止

川島国際理事はコロナ感染の状況、ワクチン接種の状況を踏まえ中止を決定したと述べ、多大な協力を頂いた337D地区沖縄リジョン並びに識名理事長に謝意を述べた。

② 第103回バーチャル国際大会 最新情報

第3国際副会長立候補者、国際理事立候補者のプロフィールは大会30前までに代議員宛発送される。それぞれの立候補者の所信表明は6月26日18時（シカゴ時間）よりビジネスセッションである。投票は翌27日午前8時（シカゴ時間）より29日午前8時（シカゴ時間）の48時間でできる。立候補者の選挙であるが、失候補者名が表示されその下に投票できる人数が記載されている。投票できる人数以上を選んだ場合は、送信できないので注意してください。

セミナーには同時通訳でなされる、同時通訳がない場合はAIで通訳されるので多くの参加を希望する。

5月7日現在まだまだ登録予定数を下回っている。1人でも多く登録して欲しい。

③ 今年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・別紙 I

藤川専務理事は、資料 I を基に会議の実施状況を報告した。

④ ダイナースカードからの提案・・・・・・・・・・・・・・・・別紙 J

第5回執行理事会でダイナースカードからの提案として、手数料の支払いを現行の各準地区宛から日本ライオンズで一括振り分けてほしいという要望について検討し、執行理事会では難しいとの意見に一致した。ついては本理事会において報告し、一同了承。菅原総長からダイナース側にその旨を通達する。

⑤ 麻薬・覚せい剤乱用防止センター（4省庁への名義貸し）

菅原事務総長は4省庁の名義貸しが承認されたので、従来通りに取り扱って結構ですと説明があった。

以上をもって本日の会議の全てを終了したので、議長は閉会を宣した。議長として理事監事の皆さんの1年間のご支援に感謝の言葉があった。

以 上

議事録作成人 MD336 橋本充好理事
MD337 乗田泰理事

議 長 理事長 識名 安信

出席監事 竹下 直義 【押印省略】

同上 高橋 克文 【押印省略】

同上 福田 恵太 【押印省略】

同上 吉見 章一 【押印省略】

第 6 回 WEB 理事会議事録

2021 年 6 月 10 日 (木) 13:30-16:00

1. 開会 出席者確認及び進行 藤川専務

出席者 理事長 識名安信 副理事長 伊藤明彦、仁科良三、石原英司

専務理事 藤川清幸

常務理事 森川明治郎、中谷宣巨、石橋貞、松岡勲、岡村聖爾、森口孝行

理事 渡辺修、菅野文吉、富山道郎、橋本勝策、小林聰、橋本充好、乗田泰、
安澤莊一、川島正行、渡部雅文、城阪勝喜、鈴木誓男、中村泰久、今井文彦

監事 竹下直義、高橋克文、福田恵太、吉見章一

欠席者 理事 PIP 山田實紘

オブザーバー

ライオン誌 P R マーケティング 委員会 (ライオン誌日本語版委員会) 委員長 団英男、

法律顧問 池田和司、会計顧問 吉田 宗一郎 事務総長 菅原雅雄

理事 26 名中 25 名出席、監事 4 名出席

2. 理事長挨拶 (今会議議長役担当)

開催に先立ち一言ご挨拶申し上げます。コロナ感染蔓延の中で、オリ・パラ開催がどうなるか、ワクチン接種が今後どうなるか気になるところであります。

コロナ禍にあり、クラブ活動、アクティビティ等苦慮されている事と思います。

このコロナ禍であるがゆえに出来る活動に取り組んでいただきたい。

残された任期 20 日間一生懸命取り組んでいきます。よろしくごお願い致します。

議事録作成 (2 名) 及び議事録署名人の指名

議事録作成人 MD331 理事 渡辺 修・ MD337 理事 乗田 泰

議事録署名人 理事長、出席した全監事

3. 協議事項

第一号議案 日本ライオンズ・ビジョン 2025 委員会からの提案

城阪理事より説明があり、より良い方向に進めるための提案として、理事皆様の意見を参考にする事を旨とし意見を求める。

藤川専務理事： 定款に沿った進め方として執行理事会に上程、理事会にて審議すべき。
内規として元国際会長は相談役でもある。

岡村常務理事： ビジョン 2025 が人事に介入することに対し疑問を感じる。
まずは会則委員会にて定款の変更も踏まえ諮問すべき事案もあるので議論していただき、更に執行理事会にて精査し議論する。

橋本理事： 執行理事会、理事会案として原案を整理し会則委員会にて提出し議論していただく。

松岡常務理事： 相談役議決権含め議論していただきたい。

森川常務理事： 執行理事会での議論が優先である。

城阪理事： 皆様の意見を参考にし、ルールに沿った提案をさせて戴く事を旨とする説明が加えられた。

- 藤川専務理事： 次回社員総会にて「ビジョン 2025 委員会よりの提案」として報告したい。
- 岡村常務理事： 来期への報告については、あくまでも決定事項ではなく報告事項とし慎重に今後の検討をしていただくべく事案とし報告の申し送りをしていただきたい。
- 森川常務理事： 手続きに沿った手順にて来期以降の理事会等で議論し時間をかけ検討し了解いただく。
- 菅野理事： 会員減少を危惧している、任期満了の役員は勇退し各複合地区、各準地区に戻り次世代メンバーの育成に努めクラブ活性化に注力して頂きたい。
- 鈴木理事： 各委員会からの提案はどのような手続きが必要であるか。
- 藤川専務理事： 委員会の提案として、理事長が整理し執行理事会、理事会等で議論する。
- 鈴木理事： 池田顧問へ質問です。日本ライオンズ理事会での提案の仕方はどうなっていますか。
- 池田法律顧問： 委員会の提案は理事長宛になされてくるのが一般的ですが、執行理事会で検討審議し理事会へ送られてくるのが一般的な流れです。その他に動議という提案方法が有りセコンドが付けば提案ができます。
- 鈴木理事： 理事会での提案方法のルール、二通りの提案方法があることが確認出来ました。
- 高橋監事： ロバート議事規則の再確認をお願いしたい。協議事項、審議事項、報告事項の区分をしっかりと認識して会議に臨んで頂きたい。少数意見の尊重という観点で緊急に提案をしたい場合には動議を提案しセコンドが付き、会議参加者の3分の2以上の賛同を得て議案として採用できる。この点を理解すればこのビジョン 2025 委員会からの提案にも然るべき対応ができるはず。
- 原則、執行理事会にて協議をすることで理事会への原案を確定し、本日の理事会として議論されるべき。
- 城阪理事： 国際理事の皆さんに関わることも提案しているので、国際理事の皆さんの意見もお聞きしたい。
- 安澤理事： 国際理事退任後は複合地区や準地区での相談役となれば良い。日本ライオンズの相談役となると、日本ライオンズでの費用負担等も発生することも有ろうかと思うのでそれは避けたい。日本ライオンズは簡素な運営が望ましい。
- 川島理事： 任期1年と限定的な面を考慮すると皆さんのお役に立てればとの思いもある。日本LCIF理事長の件も早急に皆さんと協議をすべきだと思う。
- 渡部理事： 国際理事は1年間次に選任された国際理事とダブって活動するので継続性は取れていると思う。任期終了後は退任すべきと考える。
- 識名議長： 城阪理事、本2025委員会からの提案は再度委員会で検討いただき次回の執行理事会へ提出をお願いします。

第二号議案 第4回社員総会開催概要の件

- 識名議長： 社員総会開催日を6月21日としているが緊急事態の解除予定日が20日であり、様々な点で21日の開催には無理がある。また東京オリンピック・パラリンピック委員会からもなるべく月末近くの開催を要望されているので、開催日を29日に変更する事の審議をお願いします。

- 鈴木理事： 国際大会の閉会式との関係はどうか。
- 川島理事： 閉会式は日本時間30日の夜中です。
- 鈴木理事： 社員総会を30日に開催すると国際理事並びにガバナーが誕生しているの
でここで開催しては如何か。
- 識名議長： 鈴木理事からの社員総会開催日について新たな提案が有りました。
松岡常務理事にお尋ねですが、30日に社員総会を開催することで近畿日本
ツーリストとの間で不都合は生じませんか。
- 松岡常務理事： 30日の近畿日本ツーリストの営業時間内に連絡を取ることができれば
問題は無い。
- 識名議長： 30日開催案について諮ります。賛成の方の挙手を求めます。賛成多数で
あり30日午後からの社員総会開催を決定します。また30日午前中に理事
会を開催します。
- 藤川専務理事： 日時、出席者につきましては記載の通りですが、場所はフクラシア
若しくは上野東天紅のいずれかを今から再確認を行い後日連絡いたします。
議案については本日確認の通りを上程予定です。今回はハイブリッド開催で
すので、Webでの参加者には書面決議行使書を準備しています。

第三号議案 東京オリンピック・パラリンピック委員会

- 松岡常務理事： 政府の東京オリンピック・パラリンピック実施に関する判断が、5月末に
は示される予定であった。政府の判断を示す時期が6月20日以降にずれ
込んでおり、中間金の支払いも5月末日から6月末日へと延期した。しか
し口頭による近畿日本ツーリストとの合意であるため、①中間金支払期日
を6月末日に変更する覚書を締結すべきと考える。
前回の理事会で理事の皆さんの大方の意向としては障害を持つ子供たちの
招待はリスクが有り中止すべきであるとのことであった。この意向を踏まえ
つつ、②近畿日本ツーリストに対する支払いを最小にするため政府の中止判
断を待って事業の中止を決定し近畿日本ツーリストに伝えるか、③政府の判
断を待たずに今すぐにでも事業中止（この場合は別途違約金15,820千
円を支払う必要がある。）を近畿日本ツーリストに伝えるかの判断をする必
要がある。
- 森川常務理事： この事業を長年支えてきた330複合地区の皆さんは何とか事業を成し遂げ
たいとの思いが強い。
- 石原理事： 長年障害を持つ子供たちへパラリンピックの観戦実現に努力されてきた
330複合地区オリンピック・パラリンピック支援特別委員会の皆さんの気
持ちを考えると複雑な思いがある。ライオンズの判断は6月末日までに示さ
れる政府の判断に従うこととしたい。松岡常務理事、330複合地区議長の
森川常務理事も同様のお考えと理解している。
- 今井理事： 松岡常務理事のご苦勞に感謝すると共に日本ライオンズの判断は政府判断を
待って行っていただきたい。
- 森川常務理事： 提案ですが最終判断は29日または30日の社員総会の前（午前中に）に理事
会を開催して社団としての方向を決定しては如何でしょうか。
- 識名議長： 意見も集約されたので、以下の点につきご承認を頂きたい。

- (1) 社員総会当日の午前中に理事会を開催することについて皆さんにお諮りします。
賛成の方の挙手をお願いします。賛成多数ですので社員総会当日の午前中（時間は別途お知らせする）に理事会を開催して社団としての方向性を決定します。
- (2) 近畿日本ツーリストと6月30日を期限とする中間金の支払いに関する覚書を締結することについて賛否を諮ったところ、賛成多数で承認された。

第四号議案 SON 広島大会支援について

識名議長： 現在336複合地区の次期の執行部で広島大会についてSONと協議を進められています。SONの支援については社団を挙げての支援でないとうまいかなと思うので、広島大会については336複合地区と社団が十分に連絡を取り合い協力していくことの承認を頂きたい。賛成の方の挙手をお願いします。賛成多数で承認されました。

第五号議案 その他

識名議長： 次年度第1回社員総会終結までは現理事が執り行うことになるので、第1回総会の日程を決定して頂きたい。現在2021年8月2日を予定していますが、この日でご承認を頂きたい。賛成の方の挙手をお願いします。賛成多数で承認されました。

4. 報告事項

1) 次年度理事長候補者選挙開票結果について

藤川専務理事より、理事会による次年度理事長候補者推薦選挙実施に関する経緯、郵便投票並びに5月28日の開票について下記の通り報告があった。

当初2名の立候補届が出されていたが1名の立候補辞退により仁科候補の立候補推薦信任を問う投票の結果、推薦に関し賛成10票、反対15票、白票1票となり理事会による推薦は行わないこととなった。

2) 第103回モントリオール・ハイブリッド国際大会関連について

川島国際理事より国際第3副会長の推薦についてオセアルのOECから発信が有りました。ブラジルから立候補されたファブリシオ・オリベイラ元国際理事が推薦されました。ブラジルからはもう1名女性の立候補者がおられますが、オセアルではオリベイラ元国際理事を推薦しましたので宜しくお願いします。

国際理事につきましてはオセアル地域日本から藏元地区ガバナー、永田元地区ガバナー、韓国からJon-Hong Kim元地区ガバナー、台湾からPai-Hsiang Fang元地区ガバナーの4名の立候補が有り、改選枠は4つで全員の当選が予定されています。投票用紙の国際理事のチェックマーク欄に必ずチェックマークを4つ付けてください。

国際大会登録者数は6月4日現在世界で17,892名、日本では1,814名に留まっている。登録を勧誘して欲しい。投票は日本時間6月27日朝に投票用のリンクが国際協会からメールされます。投票は6月27日夜10時から6月29日夜10時までです。投票には登録確認番号と登録されたパスワードが必要です。

3) ダイナースカードよりの回答

菅原事務総長より提携手数料振込先を各地区から日本ライオンズに変更したいとの要望があったが、従前のままでお願いしますと回答したが、ダイナース側からは未だ返答が来て

いない。

入会申込については、ダイナースホームページから直接ダウンロードし入会申込をする方法を推奨する旨回答した結果、ダイナース側も了解した。

4) Y C E 委員会

仁科副理事長より次年度への申し送り事項 ①2021年度の冬期交換は中止 ②「Y C E 海外交渉通信窓口」の縮小希望 ③月1回のY C E 委員会開催 ④7月中に引継委員会開催 ⑤Y C E, L E O, Y C E-O B の連携及び活動拡大

5) アラート委員会

森川委員長よりグアムへの支援に対し、州政府より山田元国際会長、識名理事長宛に感謝状が届いている関連事項を含め社員総会にて報告したい。

6) 国際大会委員会

川島国際理事より投票手続きについてサンプルの配付を希望する声がありますが、国際協会も手探りで作業を進めているのでサンプルの配付は困難である。

中谷委員長よりは、目標の3000人達成に向け各地区へのお願いをしている。

本日の会議の全てを終了したので、16:00をもって識名議長は閉会を宣した。

議事録作成人

理事 MD331 渡辺 修

理事 MD337 乗田 泰

議事録署名人

理事長 識名 安信 [押印省略]

監事 竹下 直義 [押印省略]

監事 高橋 克文 [押印省略]

監事 福田 恵太 [押印省略]

監事 吉見 章一 [押印省略]

(2020-21 年度) 一般社団法人日本ライオンズ

臨時理事会 議事録

日時：2021 年 6 月 30 日(水) 10:00-12:00

会場：フクラシア八重洲会議室 A / WEB (ZOOM)

出席者： 別紙の通り

議事録作成者： 伊藤副理事長、中谷常務理事

議事録諸目人： 出席した全監事

藤川専務

本日のハイブリッドの会議の理事の出席者は実出席 10 名ウェブ出席 12 名欠席 4 名で欠席の方には議長に委任状をもらっている。監事は 3 名がウェブ出席、1 名がリアル出席となっている。よって本日の臨時理事会は成立していることを宣言する。

識名理事長挨拶

今日は東京オリンピック・パラリンピックに関して 1 点での集中審議になります。

山浦元国際理事も出席して頂いている。

松岡委員長

本事業の概要について説明があった。

330 複合地区を中心にオリンピック・パラオリンピック委員会が結成された。

数年間が経過したのち社団法人日本ライオンズが引き継いだ。

当初は 3 億円ぐらいの予算であったが、全国から約 5 億円の支援を頂いている。

現在までに行われた事業は東京 2020 パラリンピックの次世代を担う選手の皆様の育成資金として約 2 億円を拠出している。障害を持った子供を東京パラリンピック競技会場に招待する事業は今日の議題である。オリーブの木の贈呈および競技場横にモニュメントを設ける全国の障害のある児童・生徒を東京 2020 パラリンピック競技会場に招待する事業として 1,582 名の子供を抽選で選んだ。

これらの子供たちは 1 年前に選ばれていたが、延期に伴いアンケートをしたところ 400 組 800 名がキャンセルをしたが、それぞれキャンセルされた地域で再募集をしたところ 140 組 280 名の応募があり現在に至っていて、現在約 1,000 名の方々が参加を希望されている。委員会としては子供たちに夢を与え、将来に希望をつないでいく事業なので実施して欲しいという意見が大多数であったが、親として参加をさせられないという少数意見もあった。最終判断は社団法人日本ライオンズに委ねたい。

6 月 30 日まで支払い期限を猶予してもらっているが、過ぎれば違約金は 1 億 5 千 6 百万円の 30%、約 4,700 万円が発生する可能性がある。今日でキャンセルであれば約 2,400 万円が済むことになる。

今日の会議次第で、6 月 17 日に締結した覚書を変更し別紙の通り覚書を再度締結調印する必要があるとその判断を仰ぎたい。(別紙の覚書を参考)

現在日本全国では自治体や学校の 8 割程度が参加を見合わせると判断している。

ライオンズとして障害を持った子供たちを招待して良いものか皆様に判断を仰ぎたい。

2 点目 招待事業は 1 億 6 千万を予定しており、残り 6,000 万の用途としては金銀銅のメダリストの努力を称える報奨金として使用したいが判断を願いたい。

山浦 PID より挨拶

330 複合地区では 7 年前の招致の時からライオンズムの精神の根幹でもある障害のある方に愛の灯りをといることを実行するために全国の皆様にお願ひし推進してきた。

この事業は各地区で年間 1,000 円ずつ、主催である 330 複合地区は 2,000 円を集め、MD330 が担当し推進してきた。当初は 330 複合の委員会であったが一社日本ライオンズの設立時に一社日本ライオンズの委員会となった経緯がある。障害のある人たちへの支援は歴者が古く、今回も実施したいとここで色々立案してきた。2018 年の理事会で別紙の覚書目録として、歴代のオリンピック・パラリンピックの担当大臣にお会いしライオンズの計画を説明した。その中に障害のある人たちへの支援及び招待、メダリストに対する支援、レガシーとしてオリーブの木をはじめとしてモニュメント等、国家に対して約束をしてきた経緯がある。現在コロナ禍で社会問題になっていることは承知をしているが、障害を持つ子供たちの親御さんが、自分たちが元気で生きている間にパラリンピックを見させて、やればできるのだという勇気と自信と明日への希望、夢を持ってもらうために申し込んでいる。

多数の応募者があったがコロナ禍で約 25% がキャンセルしたが、再度同地区で申し込みを受け付けたところ多数の申し込みがあり、現在 1,078 名ほどの申し込みがある。

この事業はライオニズムの根幹である傷害のある方に愛の明りの精神でやってきている。先日パラリンピックについては7月16日に結論を出すと発表されている。今日でキャンセル料が発生するという事であったが、近畿ツーリストの間で日にちが決まるまでは伸ばそう了解をもらっているので、政府の決定を待ってやる、やらないの決議をしてもらうのが筋だと考えている。将来のライオンたちへのレガシーとしても大事だと思うし、またこのような活動をしているのはライオンズクラブだけなので決定は7月16日の政府の発表まで待って頂きたい。感染した場合主催者であるライオンズクラブが責任を取れるのかという意見は承知しているが、申し込みの時に感染した場合にはライオンズクラブの責任ではなく本人の責任に於いて処理をすることを了解戴いており、書面で頂くよう進めているので理解を頂きたい。どうか結論を7月16日まで伸ばして欲しい。

戸部アドバイザー

オリンピックの参加選手は11,000名で33種目、パラリンピックは4,400名22競技

販売予定のチケット数はオリンピックが780万枚、パラリンピックが230万枚

パラリンピックはオリンピックの1/3以下の規模で人流が非常に少ない。

アンケート調査では17,856名の希望があったが予算があるので1,582名に絞った。

1年伸びたが再確認では現在1,078名の参加希望者がいる。

感染には一番気を使い関心が高いのは保護者の方々に、この1年半特別支援学校の大変な努力で感染の対策がなされてきている。資料のように厳しい条件にも関わらずぜひ参加したいという希望者が多い。保護者の希望は観戦のチャンスを奪わなで欲しいの一点につきる。障害を持つ子供たちにパラリンピックの観戦の機会を与えて頂き、将来に向けて何か希望を持って頂けるよう審議をお願いしたい。

森川常任理事

330で委員会を主催してきた。委員会は開催をお願いしたい意向である。

変異株の拡大によって健全な児童生徒の皆さんの80%以上は辞退、埼玉県では100%辞退に至っている。一般社会常識としては厳しいと思う。8月の酷暑の中限られた遠い最寄りの駅から歩くことになるし、携帯できる水の量も制限されているので熱中症の対策も必要になる。はたして障害のある子どもたちが耐えられるか不安である。今回は東京都の障害のある児童は対象に含まれていない。なぜならば東京都の児童は東京都で観戦の希望をとっているためである。そこで全面取り止めは忍びないので会場を設営してパブリックビューイングで感染対策、熱中症対策をしてパラリンピックの観戦をして感動を共有してはどうか。これなら屋内で空調も考えられて可能ではないか。中止は忍びないので代案を早急に持ってどうか。

戸部アドバイザー

自治体関係の学校が軒並みキャンセルをしているのは学校連携観戦といって授業の一環であるので、一人でも父兄が参加しない場合は学校としては参加しないとなるためである。しかし我々の企画している観戦は自由意志である。観られるチャンスは提供して、最終的には保護者に判断してもらいたいのではあるがチャンスだけはお与えいただきたい。

鈴木理事

委員長は今日がリミットということで臨時理事会を開いたと思うが、山浦元国際理事の言う7月16日は近畿ツーリストとの話なのか、国との話なのかははっきりして欲しい。

松岡委員長

7月12日もしくはIOC、JOC他政府機関が開催を決定し、有観客、無観客の判断をしてから1週間以内に中間金の5千万円の支払いをしよう、違約金もそれからにしようというのが6月26日の近畿ツーリストとの話し合いであった。

鈴木理事

7月12日まで待つのは可能であるという事か。

松岡委員長

今日判断して欲しいことは、今日の段階で中止なのか続行なのかが一点、有観客、無観客が決まるまで先送りをするかが2点目、有観客なら1週間以内に支払いをしなければならぬのでその執行までを今日承認して頂きたい。もう一つ報奨金を実施するのかの判断もお願いしたい。

山浦PID

新たな覚書ではキャンセル料が発生するのは7月16日以降となっている。

鈴木 LCIF 理事

今日のキャンセルなら2400万で済む、今日を逃すと5500万から6000万のキャンセル料になる。その差額が倍になってしまうということです。

中村 PID

コロナ感染が収束していない中でライオンズクラブがやる必要があるのか判断をしたい。

森川常任理事

有観客となったとしても感染拡大が続いていたら無観客になってしまうこともあり得るので不確定要素が多すぎて、その判断を先延ばししても意味がなく、今ライオンズとしての判断をすべきである。そして今日の社員総会に諮るべきである。

識名理事長

何年もかけて準備した思いは理解できるし、障害者を支援したいということもとっても大事だが、命を守ることがそれらを上回る大切さであると考えている。

主催者であるライオンズクラブがきちっと判断してあげないと戸惑いである。

16日の発表を待たずにして今日で中止と方向付けしたい。

川島国際理事

次世代選手育成資金に2億円、モニュメントやオリーブの木の贈呈に5000~6000万円は既に実行されている。目的の2つは出来ている。競技場への招待は安全を考えるなら今の時代ですからWEBでも可能ではないか。全てが駄目ではなく学校に於いてWEBで観戦するのも今時の考えではないか。

識名理事長

招待事業を開催するのか中止するのかを決めたい。

ほとんどの人が7月16日の政府の回答を待った方が良いかもしれないが、時間的なものもあるので今日で判断したいという意見が多い。中止にするのか、続行するのか、続行するにしてもライオンズクラブらしい感染対策を万全にした上での、また熱中症対策を取った上での代替案を皆で考えていくという意見もある。

まずは続行か中止かで皆さんの判断を仰ぎたい。

決議

反対多数でこの事業を中止とすることが決まった。

パブリックビューも含めて方法論をもう一度考えながら代替案を推し進めていくことで良いのか皆さんに図りたい。

決議

代替案で持って進めていくことで決まった。

中村 PID

代替案で東京に集まってしまうと感染のリスクがあるので配慮が必要だ。

鈴木理事

パブリックビューイングを各地域ごとに学校単位で行い、その世話は各地区のクラブ等ができる形で行い、またお金をかけていくことを緊急動議します。

セコンドがあったので審議に入りたい。

鈴木理事

観戦は中止となったのでその代案として、各学校の生徒の参加者に対してパブリックビューイングで観戦していただく。そのことにより東京に集まる必要が無くなり、感染対策にもつながる。

決議

賛成多数でパブリックビューでの代替案が決議された。

松岡委員長

報奨金の説明

まだ無執行の分が6,500万円ほどある。当初委員化では報奨金として金銀銅メダリストに対してオリンピックとの差額も非常に大きいので支援をしたいと考える。1名単位平均100万円の支援をし、讃えたい。

中村 PID

将来の選手の育成資金で 2 億円を拠出しているが、奉仕団体であるライオンズの本来の奉仕を考えても、基本的に個人に対してお金を上げたり物を上げたりするのは協会も LCIF の交付金もそれは一切進めてはいいないので違和感を感じる。

戸部アドバイザー

報奨金の件はリオデジャネイロの時まではオリンピックの選手は金は 500 万円銀は 200 万円銅は 100 万円パラリンピックの選手は金が 150 万円銀が 100 万円銅が 70 万で障害者に差があったので、それを埋めるために報奨金を発案した。

鈴木理事

IOC が決めた差額はわかるが、そこに入り込んでいくほどの予算を持っていないし趣旨が違ふと思う。IOC がやることはそれはそれで良しと考えるべきであるし、個人にお金がいくのはどうかと思う。

山浦 PID

この報奨金に関しては 2018 年の理事会で承認を得ている。その後歴代オリンピック、パラリンピック担当大臣に目録としていくつかの項目を記載してお持ちしている。これは国家に対して約束をしたものであるが、コロナの影響で招待事業は中止となったが、報奨金についてはコロナとは関係無いので前の議長の前での理事会で承認を得ている案件ですのでご了承いただきたい。

識名理事長

平成 30 年に承認はされている。金銀銅それぞれに 100 万も承認されている。

藤川専務

次世代への支援は 2 億円ほど実行済であるが、その他はその時の状況によって変更になるべきものと考えている。オリーブは時計台からの変更であり、覚書を取り交わしたから絶対やらなければならないとは思わない。

森川常任理事

奉仕事業の献金を個人への報奨金に充てることは難しいという判断が一般的だと思う。集めるときにオリンピック・パラリンピックを支援するために、奉仕事業のお金として集めたのですから、そこから報奨金を個人に支払うことはライオンズの考え方からはちょっと逸脱している。

川島国際理事

金銀銅の 100 万の報奨金の対象人数を聞きたい。

松岡委員長

60 名ほどあるがコロナの影響で 80 名程になる可能性があり、予算を超える 8000 万前後がかかる予想がある。

採決

報奨金を出さないと決定する。

森川常任理事

国際理事を退任するにあたって記念品を贈呈することを慣例化にしたいという動議が出た。賛成多数で承認される。

松岡委員長

中止となったために違約金が発生した。その金額 2400 万から 2500 万の執行の承認を頂きたい。

残りの資金に対しては今後新たな提案を出したい。

賛成多数で承認

議 長	理事長	識 名	安 信	【押印省略】
	出席監事	竹 下	直 義	【押印省略】
	同上	高 橋	克 文	【押印省略】
	同上	福 田	恵 太	【押印省略】
	同上	吉 見	章 一	【押印省略】

(2020-21) 一般社団法人日本ライオンズ 臨時理事会

2021年6月30日(水) 11:00-12:00

会場：フクラシア八重洲(会議室) / WEB (Zoom)

出席者リスト

(2020-21 理事会構成員)		*WEB出席(計15名)	
理事長	(MD337 元議長)	識名	安信
副理事長	(MD332 現議長)	伊藤	明彦*
副理事長	(MD334 現議長)	仁科	良三
副理事長	(MD330 前議長)	石原	英司
専務理事	(MD333 元議長)	藤川	清幸
常務理事	(MD330 現議長)	森川	明治郎
常務理事	(MD331 現議長)	中谷	宣巨*
常務理事	(MD333 現議長)	石橋	貞
常務理事	(MD335 現議長)	松岡	勲*
常務理事	(MD336 現議長)	岡村	聖爾(欠席) 移動中
常務理事	(MD337 現議長)	森口	孝之*
理事	(MD331 前議長)	渡辺	修*
理事	(MD332 前議長)	菅野	文吉*
理事	(MD333 前議長)	富山	道郎(欠席)
理事	(MD334 前議長)	橋本	勝策*
理事	(MD335 前議長)	小林	聰*
理事	(MD336 前議長)	橋本	充好*
理事	(MD337 前議長)	乗田	泰(欠席)
理事	(2018-21 国際理事)	安澤	莊一*
理事	(2019-21 国際理事)	川島	正行*
理事	(2019-21 国際理事)	渡部	雅文*
理事	(2020-21 LCI アポ インティ)	城阪	勝喜
理事	(2020-21 LCIF 副理事長)	山田	實紘(欠席)
理事	(2020-21 LCIF 国際理事)	鈴木	誓男
理事	GAT 日本全域リーダー	中村	泰久
理事	(MD330 元議長)	今井	文彦
監事	(MD332 元議長)	竹下	直義*
監事	(MD333 元議長)	高橋	克文
監事	(MD335 元議長)	福田	恵太*
監事	(MD337 元議長)	吉見	章一*

(オブザーバー)

東京オリンピック・パラリンピック委員会委員長

元国際理事 山浦 晟暉

アドバイザー 戸部 研一

法律顧問

池田 和司(欠席)

会計顧問
会務総長

吉田 宗一郎(欠席)
菅原 雅雄

第4回全国ガバナー会（社員総会）議事録

開催日時： 2021年6月30日 水曜日 自13時30分 至16時

開催場所： フラシア八重洲A会議室及びZOOM（Webアクセス）

出席者：別紙 第4回全国ガバナー会正社員出席者リスト記載の通り

総社員数 61名

出席社員者 52名（会場出席者数22名、ZOOMで出席者数30名）

議決権行使社員数 8名

社員総数61名、うち出席社員（議決権行使含む）60名。

オブザーバー： 別紙のとおり

1. 開会宣言

藤川専務理事は社員総数61名中議決権行使を含む出席社員数60名であり、社員総会開催の定足数を満たしている旨を告げ、開会宣言を宣した。

2. 理事長挨拶

新型コロナウイルス感染症防止対策で活動を制限された1年であったが、逆に奉仕の在り方等も見直すべきとなった年でもあった。地域に求められた奉仕の実践を通じて社会に光を与え続けたライオンズに感謝を述べた。

3. 議長選出

定款の定めにより理事長職名安信が議長席に着き議事の開始を告げ、下記のとおり議事録署名人並びに議事録作成人を指名した。

署名人：吉本晴夫330B地区ガバナー、山川洋333E地区ガバナー

作成人 石橋貞常務理事、乗田泰理事

続いて議事に入った。

審議事項

第1号議案 社員退会承認の件

議長は藤川専務理事を指名し第1号議案の説明を指示した。

藤川専務理事は別紙「第1号議案 退会予定者」を示し、正社員59名が本定時総会最終をもって退会する旨の退会届を受理している旨説明した。

続いて議長は質問を受ける旨発言したが質問はなかった。議長は社員退会承認を議場に諮ったところ、賛成多数で承認可決された。

第2号議案 新社員入社承認の件

議長は藤川専務理事を指名し第2号議案の説明を指示した。

藤川専務理事は別紙「第2号議案 入社予定者」を示し、地区ガバナー35名、2021-2022年度国際理事4名、2021-2022年度協議会議長8名中ガバナー兼任2名を除く6名、2020-2021年度協議会議長8名の入社届を受理している。なお2021-2022年度にLCI/LCIFから任命されるLCIF国際理事、国際理事会アポイントナーなどは追加で社員となる旨説明した。

続いて議長は質問を受ける旨発言したが質問はなかった。議長は社員入社承認を議場に諮ったところ、賛成多数で承認可決された。

第3号議案 理事任期満了に伴う改選案の件

議長は藤川専務理事を指名し第3号議案の説明を指示した。

藤川専務理事は別紙「第3号議案 理事の任期満了に伴う改選に関する件」を示し、本社員総会最終をもって理事全員が任期満了により退任するため新理事の選任が必要になる旨を説明した。また2021-2022年度にLCI/LCIFから任命されるLCIF国際理事、国際理事会アポイントナーなどは追加で理事となる旨説明した。

続いて議長は質問を受ける旨発言したが質問はなかった。議長は2021-2022年度の理事候補者の選任を議場に諮ったところ、賛成多数で承認可決された。

第4号議案 事業尾国及び計算書類（5月31日までの）会計経過報告

藤川専務理事より11か月の経過報告があったが、「決算が終わっていない状況で議案として上程するのはおかしい」旨の発言があり、報告事項とすることを確認した。

第5号議案 緊急アラート災害支援運営規則案承認の件

議長はアラート委員長の森川常務理事に議案の説明を求めた。

森川常務理事は、この緊急アラート災害支援運営規則案は既に執行理事会での検討承認を経て理事会での承認並びに法律顧問の検討もなされている旨を述べ、主要な条項について詳細に説明した。

議長は、質問者より質問を受けた。主な質問は以下の通り。

- ① アラート委員長に再任はないのか。
- ② モットーに“できない理由は語らない”とあるが、その意図は。
- ③ 用語の定義に少し曖昧な表現がとられているが、定義として如何なものか。
- ④ 支援活動に伴う支出承認等資金の管理報告全般に関する条項が殆どないがこれで問題は無いと考えているのか。

上記に対する回答の概略

- ① 日本ライオンズの各委員長は、複合地区の議長が分担して努めており議長の再任はないので、アラート委員長の再任はない。
- ② 支援は一時の猶予もない状態で進めなければならないことが多いので、できないことこの理由を議論することは省き、できることから支援を速やかに進める旨を意図している。
- ③ この曖昧表現は敢えて表記した。これまでアラート活動に尽力された会員の意見等も十分参考にして、今は敢えてこのように表記した。
- ④ ご指摘の点は十分に理解をしておりますが、全てを網羅した完結した規則を作るにはまだまだ時間を要するので、今回は大枠での規則として提出した。資金は日本ライオンズの資金であるので、日本ライオンズの決算に合わせた会計報告は当然行うことになる。

2021.6.30 第4回社員総会 議事録

なお、この規則の詳細な詰めは来期のアラート委員会を中心に十分な審議検討を進めていただく。

議長はアラート委員長から大枠の規則であり、来年度以降も引き続き検討が続けられるとの発言があったので、この規則が大枠での規則であることを前提に採決に移った。

採決の結果、賛成多数で承認可決された。

報告事項

- (1) 2020-2021年度計算書類及び事業報告（11ヶ月の途中経過）

議長は藤川専務理事を指名し2020-2021年度計算書類及び事業報告（11ヶ月の途中経過）の説明を指示した。

藤川専務理事は、日本ライオンズの5月31日現在の貸借対照表、5月までの11ヶ月の正味財産増減計算書、オリンピック・パラリンピック特別会計の5月31日現在の貸借対照表、5月31日までの5年11か月合算の収支計算書、アラート委員会緊急支援特別会計の5月31日現在の貸借対照表、2019年10月から2021年5月までの合算の収支計算書を示し説明を行った。5月までの途中経過であり監事の監査は受けていない。

- (2) オリンピック・パラリンピック委員会

永年330複合地区の支援を頂きながら進めてきた全国の特別支援学校の生徒をパラリンピックの観戦に招待をする事業については、開催地のコロナの感染が収まらないので中止する。これに代わる事業について、今後実行委員会を立ち上げ早急に検討する。

- (3) 会則委員会

審議事項：① 日本ライオンズのプロトコルについて

- ② 必携第60班の発行について

報告事項：① 一般財団法人日本LCIFについて

- ② 日本ライオンズ大学校について

- ③ スペシャルオリンピックックス イン 広島について

2021.6.30 第4回社員総会 議事録

(4) アラート委員会

グアムに対するコロナ感染防止用品支援に対するグアム州政府からの感謝状が届いている。

(5) 国際大会委員会

中谷委員長：国際大会の登録に感謝します。

川島国際理事は、第5会期地域は日本からL蔵、L永田、韓国並びに台湾から各1名の国際理事が、国際第3副会長にブラジルのLパブリシア・オリベイラが当選したと告げた。さらにアレキサンダー国際会長は、キャンペーン100を最優先達成事項に掲げ、愛と希望のメッセージを送り、1人が1人を招請し会員を増やせると表明したと報告した。

安澤国際理事は3年間の任期を無事終え、今後は1会員に戻りライオンスの発展に尽力すると感謝を込めて述べた。

(6) ライオン誌委員会

石橋委員長：アンケートの結果、ライオン誌の利用者が70%を超えており、国際協会からの補助金が年1人当たり2ドルに削減されたが何とか今のペースで発行したい。

(7) LCIFについて

鈴木LCIF国際理事：日本でのキャンペーン100は目標の50億円を達成できた。皆様のご支援に感謝申し上げます。キャンペーン期間が1年延びたので引き続きご支援を賜りたい。

(8) GATについて

中村GAT日本全域リーダー：6月だけで18LCが解散、年間70LCが解散し、会員の大幅減少は避けられない見通しだ。次期は、GMTエリアリーダーにL鈴木誓男、GLTエリアリーダーにL城阪勝喜、GSTエリアリーダーにL識名安信、S・FWTエリアリーダーにL長澤千鶴子が選任された。

GAT会議は7月半ばに各複合地区単位で開催する。

LCIFォワードが終了し、次期よりライオンス国際戦略計画が開始される。

2022年度から全ての地区でGMAが開始される。

2021.6.30 第4回社員総会 議事録

第1副地区ガバナナーの研修が8月より開始され、9月からGMAのチーム作りを行います。

ガバナナーにはご了解を頂きますようお願いいたします。

(9) 日本ライオンス大学校

城阪勝喜国際理事会アポイントティー：建築家の安藤忠雄氏に日本ライオンス大学校の名誉講師就任を依頼したところ、快諾いただいた。

国際理事会アポイントティー在任期間中は、大変お世話になりました感謝申し上げます。

(10) 一般財団法人日本LCIF

鈴木LCIF国際理事：まずは全てのクラブに日本LCIFの設立趣旨、日本ライオンスとの相互の関連、両者が相まって4輪駆動となり効果的な活動ができるようになることなどしっかり説明していく必要がある。一方で一般財団法人日本LCIFの活動が、国や地方公共団体の一翼を担う活動を行っている国に認めてもらい公益財団法人化が出来る様に努力する必要がある。会員の皆さんの一層のご理解と支援を頂きたい。

(11) スペシャルオリンピック イン 広島 について

岡村常務理事：2022年11月開催予定のスペシャルオリンピックは、日本ライオンスがスペシャルオリンピックから業務を受け、336複合地区が現場の業務を担当することとで準備を進めていく。

議長は以上で委員会等の報告事項が終了した旨述べた。

以上をもって本日の第4回社員総会の議事のすべてを終了したので、理事長 識名安信は閉会を宣し散会した。

上記決議を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人記名押印する。

以上

議事録署名人 理事長 識名 安信 【押印省略】

社員 吉本 晴夫 【押印省略】

社員 山川 洋 【押印省略】

2021.6.30 第4回社員総会 議事録

正社員出席者リスト (当日最終版)

(2020-21 理事会構成員) *WEB 出席(計15名)

理事長 (MD337 元議長)	識名 安信
副理事長 (MD332 現議長)	伊藤 明彦*
副理事長 (MD334 現議長)	仁科 良三
副理事長 (MD330 前議長)	石原 英司
専務理事 (MD333 元議長)	藤川 清幸
常務理事 (MD330 現議長)	森川 明治郎
常務理事 (MD331 現議長)	中谷 宣巨*
常務理事 (MD333 現議長)	石橋 貞
常務理事 (MD335 現議長)	松岡 勲*
常務理事 (MD336 現議長)	岡村 聖爾
常務理事 (MD337 現議長)	森口 孝之*
理事 (MD331 前議長)	渡辺 修*
理事 (MD332 前議長)	菅野 文吉*
理事 (MD333 前議長)	富山 道郎(欠席有)
理事 (MD334 前議長)	橋本 勝策*
理事 (MD335 前議長)	小林 聡*
理事 (MD336 前議長)	橋本 充好*
理事 (MD337 前議長)	乗田 泰*
理事 (2018-21 国際理事)	安澤 莊一*
理事 (2019-21 国際理事)	川島 正行
理事 (2019-21 国際理事)	渡部 雅文*

理事 (2020-21 LCIF 元メンバー)	城 阪 勝 喜
理事 (2020-21 LCIF 副理事長)	山 田 實 紘 (欠席) 無
理事 (2020-21 LCIF 国際理事)	鈴 木 誓 男
理事 GAT 日本全域リーダー	中 村 泰 久
理事 (MD330 元議長)	今 井 文 彦
監事 (MD332 元議長)	竹 下 直 義*
監事 (MD333 元議長)	高 橋 克 文
監事 (MD335 元議長)	福 田 惠 太*
監事 (MD337 元議長)	吉 見 草 一*

理事会構成員 30 名 (理事 26 名、4 名監事)

2020-21 年度 *WEB 出席

330-A 地区ガバナリー	進藤 義夫*
330-B 地区ガバナリー	吉本 晴夫
330-C 地区ガバナリー	森川 明治郎 (議長兼任—常務理事)
331-A 地区ガバナリー	諏訪 昇三*
331-B 地区ガバナリー	石川 信義 (退会)
331-C 地区ガバナリー	中村 全博 (欠席)
332-A 地区ガバナリー	山本 彌一 (欠席)
332-B 地区ガバナリー	菊池 徳男 (欠席)
332-C 地区ガバナリー	永富 淳次*
332-D 地区ガバナリー	真田 俊夫 (欠席)
332-E 地区ガバナリー	小関 利一*
332-F 地区ガバナリー	下間 俊悦

- 333-A 地区ガバナー 佐藤 義尚 (欠席)
- 333-B 地区ガバナー 大岡久 九二男*
- 333-C 地区ガバナー 岩沼 忠尚*
- 333-D 地区ガバナー 田中 勝司 (欠席)
- 333-E 地区ガバナー 山川 洋
- 334-A 地区ガバナー 藤井 大川
- 334-B 地区ガバナー 山本 基博
- 334-C 地区ガバナー 久保田 紀之*
- 334-D 地区ガバナー 岸 省三*
- 334-E 地区ガバナー 中村 通*
- 335-A 地区ガバナー 下副田 弘文*
- 335-B 地区ガバナー 中谷 豊重*
- 335-C 地区ガバナー 松岡 勲 (議長兼任—常務理事)
- 335-D 地区ガバナー 松井 精史*
- 336-A 地区ガバナー 酒井 公一*
- 336-B 地区ガバナー 金囀 毅
- 336-C 地区ガバナー 池原 堅
- 336-D 地区ガバナー 澤 辰水*
- 337-A 地区ガバナー 柴田 賀江 (退会)
- 337-B 地区ガバナー 富永 健司*
- 337-C 地区ガバナー 高野 正勝*
- 337-D 地区ガバナー 春浦 数馬 (欠席)
- 337-E 地区ガバナー 高野 裕子

(ガバナー35名中、2名議長兼任、2名退会、7名欠席議決権行使書)

第4回全国ガバナー会 正社員の出欠まとめ：当日最終結果

(議決権行使書あり) (なし)

	実出席	WEB出席	欠席	欠席	小計
理事	12	12	1	1	26
監事	1	3	-	-	4
DG	8	16	7	0	31*

*DG 35名中、2名議長兼任、2名退会(死亡)

正社員合計： 61名

2020～2021年度 一般社団法人 日本ライオンズ
臨時理事会（オリパラ関連） 議事録

日時 2021年7月9日（金）
会場 WEB（ZOOM）開催
時間 午前10時より12時
出席者 別紙の通り
議事録作成人 松岡常務理事

藤川専務理事

本日の会議は理事会構成員21名が出席となり本日の臨時理事会は成立していることを宣言いたします。また、新年度理事予定者を含む42名の内32名で開催されております。

識名理事長挨拶

まずは新年度を迎え皆様と新たな年を迎えられました事を嬉しく思います。静岡県は熱海市にて発生した災害で命を落とされた方々に哀悼の意を申し上げ、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。安澤元国際理事、城阪元国際理事会アポインティへの感謝を伝え、新たに国際理事に就任された藏国際理事、永田国際理事、新年度8複合議長に就任された皆様を紹介。

松岡常務理事（オリパラ委員長）挨拶及び経過報告

これまでのオリパラ事業の活動報告、経緯報告、実施事業報告がなされ、本日の臨時理事会開催の趣旨説明がなされた。

識名理事長

本日の臨時理事会はオリパラに関する事案を集中審議するため召集された。委員長の松岡常務理事に進行を指示。

松岡常務理事

本事業のこれまでの経緯説明。5つの事業の中で4つの事業完了報告がされ、残るパラリンピックへの全国の障害をお持ちの児童及び保護者の方々の招待事業が、去る6月30日開催理事会及び社員総会で中止と決定された事の報告。同理事会にて全国のライオンズクラブメンバーから寄せられた事業資金で招待事業にかわる新たな事業が出来ないか実行委員会を立ち上げる案が承認された為、今年度理事会構成メンバー全員が実行委員会に加わって頂き、本日臨時理事会を開催する運びとなった。

6月30日の臨時理事会は、PV(パブリック・ビューイング)等の意見もあったが、役員の皆様からご意見を頂き代替案を検討して参りたい。

伊藤副理事長

本事業の実行委員会を立ち上げるに際しては多くの意見も必要だが、取り纏める時間もあるので委員会メンバーを少数にて人選してはどうか？

仁科副理事長

本来奉任事業は多くの方々が集まって楽しく実施するべき事、予定されていた招待事業は厳しい状況下にある。時期は遅れて10月頃でも良いし関わった方々もおられるので考慮した事業など、また330複合地区始め多くの方々の事業に対する思いを推察すると大変難しい問題である。

藤川専務理事

当初オリパラで検討されていた事業は紆余曲折もあったが、5つの内4つの事業が実行された。招待事業の目的は理解できるが、現在の状況を見るところこの事業は中止せざるを得ないと思う。全国のメンバーが拠出された残金は、各準地区が拠出された割合で残金を各準地区に返金し事業の完了とすべきと考える。

森川常務理事

これまで330複合地区を中心として全国のライオンズクラブメンバーから支援をいただいた大切な事業ではあり、何等かの代替事業も模索したいと思うが厳しい状況である。再び緊急事態宣言が発出され、PVの開催も中止となっている。一旦中止が望ましい。

岡村常務理事

オリパラを通じて多くの子供たちに感動を得てもらふ事業ではあるが、政府が無観客と取り決めた以上中止が望ましい。

森口常務理事

私も岡村常務理事と同じ意見である。残された資金を一般社団法人日本ライオンズで青少年育成のため留保してはどうか？

中谷常務理事

本事業は一旦中止することが望ましい。実行委員会も期間的に厳しいし中止が望ましい。

識名理事長

本事業は一旦中止し、これまで330複合地区の皆様が多年に渡り大切に積み上げてこられた事を思うと330複合地区へ報告し意見を聞いてはどうか？

村木330複合地区協議会議長

この事業を完全中止する事について思いはあるが少し時間を頂き10月、11月頃パラリンピアン（メダリスト）入賞者との交流を子供たちと出来ないかの代替案を提案したい。子供たちに夢と希望を与える事が出来ると思う。

安澤元国際理事

コロナが落ち着く時期はどうか？10月、11月と話はあったが、コロナ終息の保証はない。余った資金は各地区に返金すべきである。

渡部国際理事

10月、11月には コロナは完全終息しないのでは？事業は先送りではなく一旦事業は凍結し再検討すればいいのではないか。

藏国際理事

6月30日の緊急理事会議事録を確認していると、PVを全国で開催する事で承認されているのではないかと？決定事項なら本日の臨時理事会は開催の意味は？

松岡常務理事

6月30日の臨時理事会では、最終事業である子供たちを東京に招待する事業の中止を決議したが、何か変わる事業を検討する実行委員会を立ち上げる事を承認いただいた。内容については本日の臨時理事会で皆様のご意見をいただきたい。

藤川専務理事に確認：

6月30日の議事録の一部修正を行うことを確認した。

城阪元国際理事会アポイント

多くの人を集めて行う事業は時節柄厳しいと思う。本事業は完全中止をし、全国から拠出金は返金すべきである。その後は可能であれば青少年や緊急事態時のアラート資金等へ移行出来ないか？全国約3000クラブ、残金想定額は1億8000万円、平均1クラブで6万円ならば社団として他の事業に留保しても良いのでは。将来に向けて留保し本事業は終止符をうった方が望ましい。

永田国際理事

初めて社団理事会に参加した。今日は皆様のご意見に従いたい。

松岡常務理事

皆様のご意見では一旦中止し各複合地区に返金が望ましいが多くありました。メダリストへの報奨金などの意見もありましたが、個人への報奨金はライオンズクラブ理事会方針書に反するが、競技団体への支援はどうか、皆様のご意見を頂きたい。

森川常務理事

オリパラ選手の車いすバスケットに出場する明石君からの言葉で本人、ご家族もライオンズクラブの皆様の支援に対して感謝していると大変喜んでいた。次の時代に繋がる支援は出来ないか？皆様に案内し後日、資金が使える様に社団のオリパラ会計として処理出来ないか？

高橋監事

全国のメンバーからオリパラ支援金として拠出頂いた以上、目的外使用は出来ない。拠出割合で返金が基本。別の目的や名目に置き換えるのは基本的に出来ない。複合年次大会で承認を得る必要がある。

村木 330 複合地区協議会議長

これまで8年に渡り各関係機関と話をして来た。本事業を中止とするからには関係先に中止の案内文を出す必要がある。

松岡常務理事

基本的にオリパラ委員会で資金を管理し、事業推進も社団に一任を得ている以上、社団理事長名にて対応が望ましいと思う。

藤川専務理事

一般会員にはライオン誌日本語版に中止掲載文を松岡委員長から頂き準備した。関係先への案内も必要と思われる。

識名理事長

当然、社団から中止案内はする。但し、これまでの経緯もあるので330複合地区オリパラ委員会で案内発送先を確認して指示を願いたい。社団理事長名、330複合地区オリパラ役員の連名が望ましいと考える。

村木 330 複合地区協議会議長

複合地区に持ち帰り確認報告する。

下間 332 複合地区協議会議長

オリパラ事業は一旦中止し、精算する。原則返金。オリパラで集めた資金はオリパラで使うべき。ライオンズは1年役員であるので将来ではなく一旦精算が必要。但し10月頃に事業が提案をMD330からあるならわかるが、厳しいなら返金が望ましい。目的外になるなら社団の信用失墜に繋がる。目的外に使うなら皆さんの承認が必要。もし10月頃の事業がMD330から出ないなら返金すべき。

藤川専務理事

全国35準地区からの拠出金額は毎年の決算でも明確である。よって残金確定後、返金精算は可能。まずは返金し、いつ残金が確定するのかもしれないので次期役員で判断願いたい。

松岡常務理事

現在ではキャンセル料も確定していないので7月に確定出来るかわからない。藤川専務からのご意見で準地区拠出金も整理出来ているので残金確定迄精算は厳しい。先ほども330複合地区や下間議長からもご意見があった様に、また、私の個人の意見としても、出来れば一定期間は留保し次期役員で検討し、良い事業があれば進める。承認なければ返金も各準地区へ返金すると言う事で皆様の決議を頂きたい。

安澤元国際理事

異議なし。

福田監事

オリパラですが、残金を閉めて返金願いたい。松岡常務理事の発言は個人的発言があるので中立で願いたい。精算後は別の問題である。目的事業終了後はしっかり閉めて頂きたい。

識名理事長

先ほど安澤元国際理事のご意見により10月、11月にはコロナ終息は厳しいかどうかかわからない。ある程度の期間ゆとりをもって対応願いたい。

藤川専務理事

残金はやはり確定後に各拠出割合にて各準地区へ返金が必要。

森川常務理事

コロナ終息する迄一旦棚上げし、その後時期を見て考えて行くのもどうか？コロナ終息後に代替案を考える。但し残金は目的外には使用しない。オリパラ関連事業終了後に決算としてはどうか？次期の理事会で判断頂くのではどうか？

議決権についての問いに対して：

藤川専務理事

議決権は前期役員で求めて欲しい。8月2日迄、新議長は社団理事に就任されていない。

城阪 元国際理事会アポインティ

どの様な内容で決議するのか説明を願いたい。

松岡常務理事
決議事項3点説明をする。

城阪 元国際理事会アポイント
この内容で村木議長は良いのですか？

村木 330 複合地区協議会議長
先ほど10月、11月にはコロナが終息するのかなとの意見もありました。正直いつに落ち着くかわからないし期間は短いので厳しい。330複合地区オリパラ委員会に確認しないと判断出来ない。また出来るならもう少し時間を頂くか予算を頂くとか可能なら有難い。

松岡常務理事
城阪国際理事会アポイントへ私が決議をと申し上げたのは代替案を今後考える事、もし承認なら目的外はダメだが関連事業終了迄次の案を検討する。この2点を決議したい。

城阪 元国際理事会アポイント
それでよいが 関連事業終了時期が定かでないのならだらしめるのではなくオリパラ大会が終了した時点で精算し、その後目的外ではなく精算後に次の事をやる必要がある。

森川常務理事
関連事業はいつに終わるか？

藤川専務理事
不確定内容にて議論しても難しい。これをもってオリパラ事業は終了する決議。その後資金はどうするとの決議をとってはどうか？

森川常務理事
具体的に関連事業終了時期は未確定、概ね2ヶ月位と思われるが。

菅原事務総長
今回の代替案をやるかどうかの決議が必要。

識名理事長
既にオリパラ招待事業は中止決定している。よって次の代替案をどうするか？
今日のメインは代替案の協議であった。PVとの意見もあったがコロナ終息が見えない以上代替案について考える必要がある。

岡村常務理事
無理して代替案や関連事業どうこうではなく一旦終了した方が会則上もよろしい。

鶴島 331 複合地区協議会議長
私達今期議長には議決権はあるのか？ オブザーバーか？この後の決議に参加出来るのか？

松岡常務理事
今期議長の皆様にご参加頂きましたのは8年に及ぶ330複合の皆様の強い思いもあったが招待事業は既に中止となった。これまでの情報を知って頂きたい。8月2日にご就任される引き継ぎもありますのでご参加頂きました。よって議決権はありません。

菅原事務総長
本日の参加者の中で議決権は16名の方で御願いたい。

松岡常務理事
皆様から多くのご意見を頂いた事に感謝申し上げます。
ここで3点の決議を得たい。

1. 本事業に代わる代替案を今後検討するか？の採決
賛成 3票 反対 12票 白票 1票 をもって否決。
2. 本事業をここで完全中止することの採決
賛成 12票 反対 2票 白票 2票 をもって完全中止とする。
3. 事業残金について抛割割合に応じて各準地区へ返金することの採決
賛成 13票 反対 0票 白票 1票
席不在 2名 をもって返金することに決定。

議事録作成人を松岡常務理事とし、署名人を出席監事をお願いする。

その他：

藤川専務理事

業務の一本化に伴い、会計の一本化を進めることを理事の方々にご了解を頂きたい。
予算案には変更ありません。

城阪 元国際理事会アポイント

社団の役員任期も本来は7月1日から6月30日にする必要がある。今後はそのように調整願いたい。

藤川専務理事

これまでの2年間もこの問題の提起があった。次期からは調整し、協議会議長予定者として任期の調整を願いたい。

識名理事長

本件については取り組んで来たが出来ませんでした。次期に向けて取り組んで頂きたい。

下間 3 3 2 複合地区協議会議長

皆さんの決議を聞かせて頂きました。

私は決議権ないが大切な資金はあるといってもライオンズクラブらしい使用を求めたい。
単なる報奨金を渡すのではなくメンバーに共感頂ける使用を願いたい。

森川常務理事

近年、緊急事態アラートの活動は豪雨発生もこの7月に多くある。

先日の熱海もそうである。現地では支援物資の保管場所もなく困っている。ボランティア受け入れも同様である。現地のガバナーからの要請がある迄各複合地区協議会議長におかれては発信願いたい。

菅原事務総長

8月2日社員総会の開催場所は如何されますか？

識名理事長

8複合協議会議長の皆様も参加されている。東京は緊急事態宣言が発出されました。よって東京で開催予定であった今年度第一回社員総会（全国ガバナー会）をより安全と思われる名古屋はウインクあいちにて開催したく会場変更となったので御願いたい。開催はリアルとWEBハイブリットで開催とさせていただきます。

松岡常務理事

皆様に臨時理事会参加のお礼を伝え閉会となる。

以上

議事録作成人 松岡常務理事

議長・代表理事 識名 安信【押印省略】

議事録署名人

出席監事 高橋 克文【押印省略】

出席監事 福田 恵太【押印省略】

出席監事 吉見 章一【押印省略】

第6回 役員会議 議事録

2021年6月8日(火) 13:30-15:30

@TKP 新橋カンファレンスセンター

1. 開会 出席者確認及び進行 伊賀保夫 事務局長

出席者 理事長 不老安正 副理事長 小野寺眞悟
理事 石原英司、川島正行、鈴木誓男、橋本勝策、福永栄一、伊賀保夫
評議員 櫻井貴裕
オブザーバー 中井悠美 (TMI 総合法律事務所)

欠席者 理事 岸秀年、城阪勝喜、田中敏朗、識名安信
監事 大石清美
評議員 中村泰久、松岡勲
オブザーバー 菅原雅雄 (一社日本ライオンズ)、亀田友理 (ライオン誌)

2. 理事長挨拶 不老安正

緊急事態宣言の中、大事な案件も多く対面の会議とさせていただきました。一般財団法人から公益を目指すために、顧問である法律事務所からもご出席いただいております。2月のウェブ会議にて当財団の事業についてご説明差し上げましたが、その後3月18日に一般社団法人日本ライオンズの理事会が開催され、私が出席し当財団の事業について説明しました。社団において当財団をどのように認識しているか、感触も踏まえて話をしました。また、社団の中に当財団を認めていただいて、社団の役員に入れてもらえるかどうかの話もいたしました。

事業については、寺子屋事業と特別支援学校フットサル事業が動き始めました。フットサル北海道大会を盛り上げる一つの策として全国で予選会を開催しようということになり、北海道・東北・関東・北信越・愛知・関西・中国・四国・九州と9ブロックの中からお集まりいただき、担当者会議を実施いたしました。お手元に会議資料を配付しております。中身が濃く色々なご意見が出ました。財団として一つの大きな足掛かりができ、小野寺副理事長にはとても感謝しております。本年11月に北海道大会を開催する予定ですが、詳細につきましては後ほどご説明いたします。

本日皆さまと意見交換をしたいのは、このような事業を行い活性化させるためには相当の資金が必要となります。役員の方にも認識いただいて、資金をいかに集めるかということをしっかりお諮りいただくことが本日の重点目標です。忌憚の無いご意見を賜りたいと思っております。

3. 報告事項 (伊賀保夫 事務局長より説明)

① 事務局について

- ・ 前回 (2/8) の役員会議以降、事務局の E-mail アドレスが変更になった (office@lcif.or.jp ⇒ office@lions-zaidan.or.jp)
- ・ 一般社団法人日本ライオンズへの経費を毎月10万円支払っている (家賃5万円、事務局員5万円 →ライオン誌亀田さん分)
→事務局員の仕事は、主に電話・メール・FAX 対応

② 寄付金の入金状況【資料】

- ・ 2020年5月～2021年5月末日現在の全ての入出金記録

③ 寄付報告用紙の改訂について【資料】

- ・ 今後はVer.06 を使用いただきたい (領収書、感謝状を発行する際に必要な情報)
→所属クラブからの振込でも、実は個人寄付だった等、確認の手間を省きたい

④ 感謝状の発送【資料】

- ・ 10万円以上の寄付者34名分を、理事長名で2021年4月末日分まで発送済み
- ・ 基本、毎月末締め、翌月下旬頃に発送というサイクル

⑤ 事業の経過ならびに今後の予定【資料】

- ・ 以下、審議事項と併せて報告

4. 審議事項

① 国際財団LCIF と日本 LCIF の関わりについて

鈴木理事：国際協会が創設50年後にLCIFを作ったように、日本も社団ができて5年後にこのような財団を作るというところで、当初日本LCIFという名前を提案し、最初の話から2年が経過した。他国でも財団はあるが、LCIFという名前の特にInternationalの部分が商標権に接触する可能性が出てくる模様。LCIFとすれば何の問題も無い、日本語表記も、ライオンズ日本財団が既に

存在するので、競合しないように配慮が必要。法的に登録は可能だが、商標権の問題は、相手がクレームを言ってくるかどうか問題。候補としては、「一般財団法人日本ライオンズ」「一般社団法人日本LCJF」等。ただ、日本ライオンズの名前だと財団と社団の区別がつきにくく紛らわしい。だから、正式名称は「一般財団法人日本ライオンズ」として、通称を「日本財団」「ライオンズ財団」にするという方法もある。新聞記事で「ライオンズ」という言葉が入っていれば良いが、LCIF や LCJF という名称では一般の方はライオンズクラブだと分からない。国際協会が日本において財団を作ることには十分認めている。正式な登記上の問題と通称の呼称問題をよく検討した方が良い。

不老理事長：国際協会も当財団の事業については理解しているが、LCIF という呼称は国際協会が商標権を持っているので、引っ掛かるところがあるとのこと。色々検討して正式に方向性が決まったら再度役員会で審議して名称変更をしていきたいと思う。

石原理事：私はLCJF (Japan Foundation) が良いのではないかと思う。国際協会は I (International) を使っていいよとは言わないと思う。

川島理事：前回の国際理事会で日本 LCIF の話題が少し出た。全然否定的な話ではなく、色々調べて次回ぜひ楽しい話を聞きたいね、ということだった。国際協会は前向きな印象。

鈴木理事：国際理事会メンバーが全員 OK なら先に進んだのだが、日本が現在 LCIF の実績が NO.1 なので、今後日本に財団ができたらどうなるのか、今10億円集めていてさらに別組織で10億円集めるのか、すごいね！というのが国際本部の捉え方。法律部に付度して決議は見送った形。批判的な話ではない。

不老理事長：名称の件で、ちょうど今ピンバッジのサンプルが手元に来ている。日本語表記（日本 LCIF）と英語表記（Japan LCIF）。

小野寺副理事長：北海道で特別支援学校フットサル事業が新聞記事になった。中身を見ると一般財団法人日本 LCIF が主催となっている。いち早く取り上げられているのに、今の段階で10万人のライオンズメンバーはこの記事を見ても良く分からないと思う。何の団体なのか。特に一般社会の方にはもっと分からないと思う。財団の設立目的ははっきりしているが、その一つはライオンズクラブのアピールだと思う。財団を作って、このようにハンディキャップを持つ子供達を応援しているのだと。その為にはネーミングは非常に大事だと思う。ライオンズメンバーはもちろんのこと、これからは一般の方にも理解してもらおうことが一番大きなこと。

② フットサル事業について

小野寺副理事長：フットサル事業について、理事の各担当者と地域代表の方の一覧を作成した。現在、9地域のうち5地域で参加チームが決定している。6月30日が締め切りで、それまでには特別支援学校の全出場チームが決まる。本来なら9月から予選会を開いて11月から北海道での全国大会開催の予定だったが、コロナ禍の事情で予選大会が開催できないので抽選という形で選ばせてもらった。3月に札幌で地域代表の方とお会いしたが、皆さん非常に強い情熱を持っておられた。ただ大会を開くのではなく、どうやって特別支援学校の子供達がフットサルになじんで、なおかつ社会に出る精神力を身につけるかを目的にやっていきたい。8月中旬に当財団役員の皆さんと地区の代表者の皆さんと顔合わせを一回行い、どうやって11月6日の全国大会に向けてやっていくかを話し合いたい。先程、地方記事に取り上げられたことを紹介したが、どうやってライオンズクラブが一般社会に認知してもらえるかということを事業の目的に考えている。恐らく全国の地方紙が一斉にこの事業を取り上げるのではないかと。それを見た次世代の若手がライオンズクラブに興味を持ってほしい。

不老理事長：8月に、11月の全国大会に向けた実行委員会を行う予定です。役員の方のご出席をよろしくお願いいたします。開催要項は資料でお配りしておりますのでお目通しをお願いいたします。

鈴木理事：担当の件で確認。各地域ごとに理事の名前が入っているが、MD 毎に各地区から5~10人のお手伝いをしてくださるメンバーを上手に巻き込んで、財団の活動を理解し協力してもらおう方法がライオンズクラブ内でのPRに繋がる。早急に組織表やメンバー表を作るのはどうか。

小野寺副理事長：今期はこの通りで行くが、来期からは鈴木理事の仰る通り各地区で実施してもらおう形になる。地区担当者は変わらないが一人では実行できないの

で、各 MD でチームを作る必要がある。ただ、会場設定等はサッカー協会が行うし、フットサル協会が協力してくれる。ライオンズクラブの役割は、特別支援学校等に赴き、このような事業の説明、日程や会場の調整等になる。鈴木理事：特別支援学校に対して、各地区のライオンズクラブが様々な行事で関係を持っているので、上手に巻き込んでいけば財団事業の理解や資金集めの協力も得やすいのではないかと。奉仕に導いて続けていくと関連性が出てきて良い。資金だけのお願いは難しい。

小野寺副理事長：全国大会に関しては、第 1 回と第 2 回は北海道で考えている。第 3 回大会からは各地区持ち回りになる。予選大会の大会長は財団役員の皆さま、副大会長は各地区のパートナーの方。全国大会の大会長は不老理事長。

不老理事長：地区大会を行う想定で決定した担当役員の方には、地区予選会の大会会長になっていただく。各地区予選大会で優勝したチームが全国大会に出場。

橋本理事：我々の MD (334) でも PR させてもらいたいのが日程的に余裕は欲しい。今後の MD の進め方で、各地区に浸透するまで時間が掛かりそう、というのが懸念。

鈴木理事：第 1 回大会は予選をやらない。第 2 回大会 (2022 年) までまだ 1 年時間がある。アクティビティから入ると、資金のお願いもしやすくなる。

小野寺副理事長：寺子屋、フットサル、薬物乱用防止、3 つの事業があるが、特に寺子屋とフットサルの 2 つの事業をメンバーにどうやって理解してもらえるか、アピールすることが第一だと思う。私は地区のキャビネット会議やガバナー公式訪問等で説明の機会をもらった。財団に関する質問はもちろん多いが、日本で日本の困っている方を救済するのが日本 LCIF、世界で困っていることに関しては従来通り国際財団 LCIF がやってきている。日本で足元を見つめて、特に子供達に目を向けたいんだということを伝えている。必ず地区ガバナーにお願いしてガバナー協議会でも説明する等、こちらからノックして一人でも良いから理解してもらえるようにしてきたが、そういうところから始めないとなかなか難しいと肌で感じた。

川島理事：具体的な作業について。例えば私は北信越担当で地域担当者が谷内さんと記載されている。地域の予選大会の開催については、谷内さんと打ち合わせて地域の特別支援学校何校かに声を掛けて探してもらおうという形でのよしいか？第 1 回大会についてはいしかわ特別支援学校が代表校になっているが、ここに谷内さんがいらっしゃるのか？

小野寺副理事長：ここは、私のところの職員が全国の人脈を通して固めてきた。その中で地区代表も参加してもらおうことになった。第 1 回目は 8 月に顔合わせをしていただいて進める形。お膳立てはできている。他の地区も全て同じ。第 2 回大会に向けては、予算集めから始めなくては行けない。

橋本理事：コロナ禍で最近複合の集まりもなかなか無い中、しっかり準地区に呼びかけて早急に取り掛からないといけないうので焦る。我々は理解していても一般の会員には全く浸透していない。

福永理事：私は中四国の担当になっているが、第 1 回の地域代表校が未定になっている。特別支援学校は私もいくつか存じ上げているが、フットサル自体を学校でやっているかどうかは分からない。そのようなリストはあるのか？

小野寺副理事長：リストは無い。ほとんどの学校でやっていないと思っていた方が良い。では何故フットサルを選んだかと言うと、フットサルはボール一つとネットのできるスポーツだからどこでもできる。特別支援学校には体育館もある。今、特別支援学校はほとんどスポーツをやらない。理由は、働き方改革で先生方がやることができなくなってしまったから。でも、北海道は実は 7 年前からフットサルをやっている。本格的に大会を始めて全道大会も 3 回行っている。それをベースに当財団で主要事業にしようという話になった。特別支援学校でフットサルはほとんどやっていないが、実際やらせてみると子供達は覚えるのが早い。もう一つは、卒業生の体力が社会に出ても 4~5 時間の勤務ですら耐えられない。スポーツをさせることによって肉体的にも精神的にも強くなる。実際にやってみると、やってみて良かったという声が学校からある。そういう状況。

鈴木理事：逆に参加校が少ないので、どこか 1 つでも 2 つでも参加校が見つければ、我々の PR としてはとても良い。少年野球大会にすると、支援者が多すぎてどうにもならない。フットサルはそういう意味ではしがらみも無い。学校の先生ではできない。

福永理事：来年、広島でのスペシャルオリンピックと被らないか？

小野寺副理事長：私も北海道で同じ立場だった。全国で選手は 600 人だったが、その

気になれば 1,000 人は集まる。スペシャルオリンピックス側から我々に、フットサルを競技種目としたいと打診がそのうち来るのではないかと。

鈴木理事：福永理事の地域で、応援隊サポーターをたくさん作れば良い。心配無い。

福永理事：現在、どこがやっているのか聞いて回らないと分からないので、各 MD にて事業として受けているところが有るかどうかが確認しないとイケない。

鈴木理事：福永理事がご存知の支援学校の校長先生に聞いたら、名簿で調べてくれる。小野寺副理事長：問題は再来年度。来年度は予選無しで、ボールを蹴ったことも無い子供たちを抽選で選ぶだけだから、大会を開くだけになるかもしれない。公益財団にするには実際に実施しないとイケない。決して無理はしないつもりだが、今年は北海道でお膳立てをして、コロナが収束して来年度はそれぞれ予選を開いて行くという考え。一番有り難かったのは、全国校長会で OK を出してくれた。担当者会議で芥川さん（大阪府担当）が仰ったが、校長会で OK を出すということはまず無いということ。我々にとってもやりやすい。

福永理事：リストの担当者の所へ訪ねていったら分かるのか？

不老理事長：3 月の担当者会議に皆さま出席されていたので問題無い。

小野寺副理事長：8 月の担当者会議で顔合わせを行い、その後のことは各地域で良いコミュニケーションをとって計画を練っていただくのが良い。仮にそれが無くても大会が開かれるように準備はやっている。

福永理事：地方大会の開催月はいつ頃が良いのか？

小野寺副理事長：8~10 月で予選、11 月が全国大会がベスト。

福永理事：チームの予選の戦い方は全チーム総当たりになるのか？

小野寺副理事長：その形になる。北海道では参加 26 校 + 台湾、韓国の特別支援学校を合わせた 28 校くらいで大会を行ってきた。

不老理事長：来年の 8~9 月くらいに予選会を行い、11 月の全国大会に出場する。来年度も会場は北海道。予選会に各ご担当理事の皆さんが、お手伝いされるクラブなり担当者なりを地域で決めていただいて、予選会を開催していただくことになる。

福永理事：費用面はどういう形にするのか？

不老理事長：予算についてはこの後お話する。

③薬物乱用防止事業について

小野寺副理事長：薬物乱用防止事業については、今までも全国多くのクラブで実施をしてきている。ただ、現在講師認定を持っているメンバーは 16,000 人。国内の小学校は 20,000 校ある。330-A の石井征二元地区ガバナーが関係財団の理事を務めている。公益認定を取得するには薬物乱用防止事業が良いし、我々には実績がある。万が一フットサルがコロナ禍で開催が難しくなったら、薬物乱用防止事業を認めてもらえるように内閣府に働きかけたい。

鈴木理事：全国 35 地区の薬物乱用防止教室の教室数と開催数を確認すると良い。334-A だけで 2004 年から始めて 30 万人の受益者がいる。

④寺子屋事業について

小野寺副理事長：寺子屋事業は、山田實紘名誉顧問が名付けた。養護施設に入る子供たちが小学校に入るまでに接し方が難しい育ちになってしまっていて、役 7 割の子が親からの虐待を受けてきた。北海道では、30 代の方々に NPO 法人を運営しているところがある。会社を辞めて寄付金で運営をし、ボランティアを 3~4 人募って週 1~2 回養護施設へ行き、まず一人ずつ子供たちと接触する。中学生や高校生になるとある程度精神が自立していく。小学校のうちは、いかに施設の中で生活するかということで、施設内ではほとんど勉強しない。かなり勉強レベルが落ちているし、性格もかなりいびつになっている。今考えていることは、この NPO 法人とライオンズが協業して児童養護施設へ行ってみて、どうやって子供たちを普通の状態に育ててもらうか、ということをやする事業。例えば、レオクラブに NPO 法人がレクチャーをして、レオクラブのメンバーが各施設に行き子供たちに色々な形の中で、教育だけでなく人間的な部分に触れるような事業を考えている。これは非常に時間が掛かるが、財団としてやるべき大きな仕事なのかなと思う。皆さまの意見を伺ってやっていきたい。まず北海道でモデルを作りたいと思い、一年間掛けて 3 つの養護施設の対応をしている。お金が掛かる事業でもあるので、来年度一杯は北海道でレオクラブの対応も含めてテストを実施して、その都度皆さまに報告をして、皆さまからのお知恵を頂いて納得する段階が 2 年後に迎えられるら良い。その後、同じ形をそれぞれの地区で実施したい。

⑤2021 年度事業計画及び収支予算（案）

- 不老理事長：配布資料を確認ください。（1）児童養護施設への学習支援（2）小中学生の薬物乱用防止（3）特別支援学校のフットサル大会（4）緊急災害。
（4）については当財団にて 650 万円位の豪雨災害支援を行ったが、違った形で何か支援できないかということで考えている。来年度事業計画の収支予算案については、副理事長からご説明をいただきたい。
- 小野寺副理事長：事業予算 5,000 万円の必要性。寺子屋事業 400 万円、薬物乱用防止事業に 100 万円（主にポスター）、特別支援学校フットサル事業は、予選から始まると 3,000 万円程掛かるが、来年度は 1,000 万円。お金から逆算するとなるべく学校数を増やさない方がコストが掛からない。災害等緊急対策 1,000 万円とあるが、何か思いがけない場合に支援できる事業という意味合い。法人運営管理 500 万円（事務局運営 400 万円、予備費 100 万円）。先程、伊賀事務局長から報告があった残高 2,692 万円、この中身のうち 1,000 万円は山田寛紘名誉顧問から基本財団を拠出いただいている。その他、不老理事長、鈴木理事からも 200 万円ずつ借り入れをしているので、現実的には 1,300 万円しか資金が無い。
- 不老理事長：今期も、運営費も含めて資金が枯渇してきており、皆さまと協議していきたい。フットサル事業については、来期 1,000 万円程資金が必要になってくる。運営費も鑑みると来期中には資金が底をつく瀕死の状況。再来期には 5,000 万円の事業資金が必要となり、集めないと事業ができない。MD337 では、当財団への寄付のお願いをしてきたところ、多いところでは 100 万円頂いている。そのような仲間を増やして行きたい。やはりまとまったお金が必要。ライオン各位の皆さまがクラブや個人から調達できると非常に有り難い。皆さまからの忌憚りの無いご意見を頂戴したい。一般社団法人日本ライオンズとの風通しにはまだまだ課題があり、全国のライオンズクラブへのお声掛けがスムーズに行っていない。ぜひ理事の皆さまにおいても今の状況を踏まえて、お声掛けしていただいてご協力を願いたい。
- 川島理事：私の足元 MD333 では、事ある毎に今期はコロナ禍でアクティビティができず予算が余っているので（大体各クラブ 5~10 万円程度）、当財団への寄付をお願いしている。特に社団を通す必要が無ければ不老理事長から上手に発信をしていただいて、当財団への寄付のお願いは可能だと思う。キャビネット事務局に寄付報告用紙があると伝えている。
- 石原理事：社団には 8 複合議長、35 地区ガバナーがおられるので、社団との関係を早くきっちり構築していくことが重要。それまでの当面の間は、自クラブ、ゾーン、リジョン、声掛けはしていくが、議長やガバナーが知らないところで動くのはまた問題になりかねない。社団に不老理事長を迎え入れ、社団で 8 複合議長から各地区ガバナーに情報を流していくのが良い。参加の可否は別として、方法論としてはこれが良いのではないかと。来期の社団の理事長に託したい。
- 不老理事長：社団と財団の関係構築には時間を要するが、事業が目の前に迫っており、役員皆さまには身近なところでお声掛けのご協力をお願いしたい。
- 橋本理事：一般メンバーにご理解いただくためにも、社団の方から各 MD 議長に情報共有をする形にしないと、今のところ個人的な範囲に留まってしまう。
- 櫻井評議員：国際財団 LCIF と当財団との線引きが、まだ一般メンバーには難しいと思う。我々役員の中でもうまく説明できるような資料があれば、各クラブ、メンバーにも本来の LCIF への拠出の一部を回してもらえないか。
- 福永理事：複合地区や準地区の組織図の中に当財団の位置付けが全く無いので、寄付をお願いできる場が無い。MD や準地区で地区ガバナーに話をするにしても、どうなの？と言われると返答が難しい。MD336 では、ようやく来期から社団の役員が組織図に入ってきたが、当財団についてはまだ（社団で）承認されていないから、という話になった。社団の議事録では当財団の話が出ているので、早く組織図に記載をして進めて行きたい。来期は MD336 の議長を拜命するが、コロナで 2 年間行われなかった複合地区年次大会予算の余剰金、約 1000~2000 万円の一部を財団に拠出するようお願いしたいところだが、今権限が無いというのが現状。日本ライオンズで再度、当財団や大学校等の承認を取って、プロトコールもハッキリさせてほしいという意見もある。今の段階でこの余剰金を動かすと問題になりそう。

小野寺副理事長：ガバナー協議会で、日本 LCIF 委員会みたいな形で良いから入れていただくと本当は良い。構成メンバーとして入ることが一番理解につながる手段になる。不老理事長を社団の理事に入れていただくと話が進むだろう。今はオブザーバーという形で参加している。

石原理事：不老理事長が社団の理事になるのに本来は 8 複合（各準地区）の年次大会の承認は不要だが、社団設立の際は 8 複合の年次大会を通して意見を統一してきた経緯がある。車の両輪で運営していく以上は、8 複合議長や地区ガバナーに対しては承認というより、理解をしてもらう場面が必要なのではないか、という意見がある。来期、不老理事長に社団の理事に就任いただき、その動きになればスムーズに 8 複合議長も動き各準地区にも伝えやすい。

不老理事長：来期の社団の第 1 回社員総会は 8 月を予定しているので、動きについてはまたご報告する。薬物乱用防止について、皆さまに配布した資料のポスターは、北海道で出されたもの。小野寺副理事長からご説明をいただきたい。

小野寺副理事長：ポスター作製者の女の子は小学校の時に描いたもの。今は美大付属高校の 2 年生くらい。このポスターは世界大会にも出品された。彼女の承認をもらわないと使用できないのでコンタクトを取る。

不老理事長：彼女の許可を頂いたら、全国各クラブへ配布したい。

⑥その他

櫻井評議員：支出のところで、来期 5,000 万円となっているが、どのタイミングまでに集まっていないといけないか？

不老理事長：5,000 万円は来年（再来期）に必要なので、今年（来期）は 1,000 万円でフットサル北海道大会は開催できるが、運営費を含めると今のままでは不足する。

福永理事：財団の会合参加の際の旅費について、もちろん複合地区からは承認されていないので出ないが、今後どうなるのか？我々というより今後後任の方が就任する際にも、旅費についてはご検討いただきたい。

不老理事長：今の段階では難しいが、まず来期の社団で各複合地区議長にご理解いただくことと、当財団の資金集めの形を作って対応していけるように努力する。

5. 閉会の挨拶 小野寺副理事長

資金集めは高いハードルだが、皆さまからのご意見を頂戴して感謝いたします。私も MD で 3 年、キャンペーンで 3 年、合計 6 年間資金集めをしましたが、お陰様で北海道は 4 年計画の 3 年で、ワーストから 1 位になりました。理由はガバナーのやる気が有るか無いかの熱意に尽きます。これにより、クラブ会長やメンバーが理解してくれます。当財団も同様だと思います。我々役員がその気になって一人でも多くの方に理解してもらえるか、というのが大きな要だと思えます。皆さまお一人お一人の力をお借りして、何とか事業がうまく進むように共に頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願いたします。ありがとうございました。

以上

議事録作成人

事務局長 伊賀 保夫（330-A）

(2021-2022 年度) 一般財団法人日本ライオンズ

第 1 回 役員会議 議事録

2021 年 7 月 20 日 (火) 14:00-15:00

@Zoom 会議

1. 開会 出席者確認及び進行 伊賀保夫 事務局長

出席者 理事長 不老安正 副理事長 小野寺眞悟

理事 石原英司、岸秀年、川島正行、鈴木賢男、城阪勝喜、識名安信、伊賀保夫

評議員 櫻井貴裕、松岡勲

監事 大石清美

オブザーバー 菅原雅雄 (一社日本ライオンズ)、亀田友理 (ライオン誌)、

中井悠美 (TMI 総合法律事務所)

欠席者 理事 橋本勝策、田中敏朗、福永栄一、

評議員 中村泰久

2. 理事長挨拶 不老安正

本日は Web 会議にご参加いただきありがとうございます。連日猛暑が続いている中、7 月 23 日からいよいよ東京オリンピック開幕でございます。しかし、東京は新型コロナウイルス感染者が連日 1,000 人超え、選手間の中でも感染者が出てきており非常に心配しております。昨年度の日本のライオンズクラブ会員数は 4,690 人のマイナス。キャンペーン 100 の方は順調に推移しているようです。

3. 審議事項 (議長：不老安正 理事長)

① 一般財団法人日本 LCIF 名称変更について

不老理事長：課程については前回の役員会議でお話ししてきたが、LCIF の名称使用については国際財団と前に話が進んでいない。

鈴木理事：国際本部とは 2 年程やり取りを続けてきたが、LCIF の I (International) の部分に国際本部は抵抗感がある模様。それならば日本は独自の考えてやっつけようということで、後程候補の名前が出てくるかと思う。但し、国際本部との

協定書を交わすことで、今後の財団運営を問題無く進めていきたい。

【以下、一般財団法人日本 LCIF 理事会】

不老理事長：只今より、一般財団法人日本 LCIF 第 1 回理事会を開催する。議題は当財団の名称変更について。「一般財団法人日本ライオンズ」という名称変更を起案したい。皆さまからのご意見を賜りたい。現在、一般社団法人日本ライオンズがあるが、まずは登記の可否について、TMI 総合法律事務所の中井様よりご意見を伺いたい。

TMI 中井様：全く同じ名称で（一般社団法人）日本ライオンズという、所在地も同じ団体があるが登記は可能。

川島理事：一般会員から見て、一般社団法人日本ライオンズと一般財団法人日本ライオンズの両方が存在すると混同するのではないか、という懸念がある。

不老理事長：片方は「社団」、もう片方は「財団」ということを強調しながら、全く別個だという感覚の中で今回の名称変更を起案させていただいた。

識名理事：一般会員は混同するかもしれないが、「日本ライオンズ」という名称にはこだわらなければならないと思う。区別をつける為に、「一般財団法人日本ライオンズ財団」というように、後ろに「財団」をつけるのはどうか。ただ危惧するのは、公益財団法人ライオンズ日本財団という団体が既に東京に存在するという事。近い将来公益を目指すことで、「一般財団法人ライオンズ財団」というように日本という言葉も除いた名称はどうだろうか。

鈴木理事：今、国際協会では「Lions International」を銘打っている。「Clubs」という名称を抜いている。何故かというと、Clubs を入れるとランクが下がるという風潮が世界中である模様。ロータリーも「ロータリークラブ」と言わない。その状況の中で、同じ日本ライオンズという名称でも、お金を寄付する口座と協会を運営する団体（会費）と、後々の為にしっかり我々が作っていけば、新入会員にとっては一つの同じ名称の方が分かりやすいのではないかと。以上の観点から、「一般財団法人日本ライオンズ」が良い。

小野寺副理事長：同じ名前であっても法的には設立は認められる。ただ、何か問題点があった際に既存の団体から訴えることができる、というのが一つの形。4 月頃に既存の団体の方と接触して、将来的に日本ライオンズはきちんとした方向をつける時が来るだろう。については、日本ライオンズという公益性を持った名前にしたいと思うのでどうかと話をし、先方は 6 月 12 日に理事会を招集して回

答を出すとのことだった。お陰様で 23 日の早朝に電話を頂き、全員 OK が出たよということで今日皆さまにこの名称変更のお話をしている経緯。私は、ライオンズクラブは 1 つだと思うので、社団であっても財団であってもあまりこだわることではないのではないか。それぞれの目的をお互いに達成して、いつ何時でも一つだという形を取っていくことが一つの方法論だと思っている。

識名理事：一年間社団の理事長として、理事会の中では、日本 LCIF という法人は別組織ということだが、車の両輪であり協力しながら運営していく必要があることを話してきた。皆さんの中で区別するには別々の名前の方が分かりやすいのではないか、というのが率直な意見。

不老理事長：既存のライオンズ日本財団に対して、我々メンバーは違いを認識しているが、一般の方々にとっては違いが分かりづらいだろうということを考慮して、日本ライオンズという名称を起案していることをどうかご理解いただきたい。

城阪理事：やはり社団と財団で同じ日本ライオンズというのは分かりづらい気がする。前回の役員会での議事録の中に、LCIF という名称を国際協会側としては使わないでほしいという話が出ていたが、石原理事が発言されていた「LCJF」という名称は使用できないのか。一般会員はその方が分かりやすいと思う。

不老理事長：LCJF の名称使用は可能だが、一般会員にとってはむしろ混乱しないだろうかと検討した結果、日本ライオンズの名称が良いという話になった。

小野寺副理事長：特別支援学校の全国大会に関して、不老理事長と色々な行政機関を訪問して、ライオンズはこのような事業も手掛けているという話をしてきた。ライオンズクラブのメンバーなら日本 LCIF という名前でもピンと来るが、文科省や世間一般の方からすれば「LCIF」がライオンズの財団であることは誰も分からない。日本でライオンズクラブが 70 年間活動してきているのに、世間一般にはほとんど認知されていないというのが大きな問題という気がする。日本ライオンズという名称の方がシンプルだし分かりやすい。ライオンズクラブがこれからどのように社会的認知度を上げていくかが課題であり、若いメンバーが入会して汗をかいてアクティビティをやっていくのだという本来の原点に戻るような形で考えると、このネーミングが一番アピールできるのではないかというのが、不老理事長と私の見解。

TMI 中井様：(既存の)ライオンズ日本財団に対して、日本ライオンズ財団という名称変更は、使われている用語が全く一緒に配置が違うだけなので、先方からのクレームに対するリスクはある。但し、相手からの了承を得られているのであれ

ば、後は一般の方から分かりにくい分かり易いかという問題だけだと思う。
小野寺副理事長：登記上の正式名称は（一般財団法人）日本ライオンズとして、略称で「日本ライオンズ財団」という呼称表現はどうだろうか。

鈴木理事：メンバーから見れば違う名前にした方が区別はつきやすいかもしれないが、新聞紙面やテレビ放送になった場合、そこに「日本ライオンズ」と出れば、一本化していれば一般市民には分かりやすい。メンバー間では、財団でも LCIF でも良いが、世間には（日本）ライオンズ一本化の方が知名度は上がると思う。既存団体は認められていないが、我々の財団はライオンズ国際協会から認証を受けた一般財団であり、来年には公益財団法人日本ライオンズとなるというところでハッキリすると思う。

不老理事長：皆さまにも多くのご意見があると思うが、世間への PR の観点も含めて「日本ライオンズ」の名称で一本化していくことに、ぜひご賛同をいただきたい。
（理事会満場一致で「一般財団法人日本ライオンズ」への名称変更案は可決）

【以下、一般財団法人日本 LCIF 評議員会】

不老理事長：只今より評議員会を開催する。第一回理事会において当財団の名称変更について審議を行った。全員一致で一般財団法人日本 LCIF の名称を一般財団法人日本ライオンズに変更する旨、決定をした。これについて評議員会の議題としたい。この案件についてご審議を賜りたいと思うが、意見はあるか。

櫻井評議員：理事会において皆さまがしっかり議論をされて決定された。異議なし。

松岡評議員：理事の皆さまの素晴らしい議論で決定された。特に意見は無い。賛成。
（評議員会満場一致で「一般財団法人日本ライオンズ」への名称変更案は可決）

不老理事長：今回の理事会、評議員会の議事録には役員皆さまからの押印が必要になるが、事務局にて代印する承認を得たい。
（理事、評議員の満場一致で可決）

不老理事長：以上をもって理事会並びに評議員会を閉会する。ありがとうございました。

4. 報告事項

① 寄付金の入金状況について

伊賀事務局長：皆さまに配布済みの資料をご参照いただきたい。現在の残高は28,061,703円となっている。内1,000万円は山田實紘名誉顧問から頂いたお金であり、当財団の基金とする話になっているので、使えるお金は残りの1,800万円程。今期以降の事業資金獲得に向けて、役員皆さまのご協力が必要となる。8月7日～8日の福岡での役員会議にて議題になるかと思う。

②8月7日～8日 フットサル大会担当者会議について

不老理事長：児童養護施設、寺子屋事業を北海道で進めている。いずれ全国展開したい。

小野寺副理事長：北海道での寺子屋モデル事業の話をさせていただく。今年の1月からNPO法人カコタムと私の所属する自クラブ協同で、札幌市内4カ所の児童養護施設において、どのような形を取っていくべきかを役半年間模索し積み重ねてきた。ほとんどコロナ禍でリモート会議が中心。養護施設の児童数は全国で2万人と言われているが、想像以上に大変だという状況を目の当たりにした。最初は拒否反応を示す児童が多かったが、回を重ねる度に少しずつ子供達が心を開きはじめてきた。あと数ヶ月でレポートがまとまるので、皆さまを通じて全国に配布したい。ただ、想像以上に生易しいものではないことを実感している。もう一つは、レオクラブに精通されている奥山L(331-B地区元地区ガバナー)をお願いをして、オホーツクレオクラブから3名、4クラブから6名が参加をして、7月4日にリモートでセミナーを開催した。NPO法人カコタムの高橋様がセミナー講師。クラブメンバーからは「難しい」という声も上がったが、やはりライオンズクラブとして(寺子屋は)取り上げるべき事業という認識が4クラブ6メンバーの意見だったということをご報告しておきたい。

フットサル事業について。8月7日の福岡での会議には、地域担当者であるサッカー協会の方や特別支援学校の先生方全員に参加していただいて、11月開催予定の全国大会に向けて綿密な会議を行い、現在の進捗状況を共有していきたい。残念なことに、東北と四国が不参加ということで担当の方から連絡をいただいた。東北6県は、県外の移動がコロナ禍では難しいので今回は不参加だが、来年の全国大会では東北の代表校が活躍するという気持ちを持ちながら明日に向かって走って行きたい、という強いメッセージを頂いている。四国も同じ状況で、子供たちにまだワクチンが届いていないとのこと。来年は全国大会に出られるような予選大会を開きたいというメッセー

ジを頂いている。結論から言うと、9校のうち2校が欠席となると7校参加。北海道は20校が手を挙げているが、不老理事長と相談してお金の掛からない札幌から1校を抽選して決める予定。8月7日の会議までには決定する。特別支援学校のフットサル大会が全国規模で開催できるのはライオンズクラブのお陰だと感謝いただいているので、何とか成功させて継続していきたい。役員皆さまのご協力が無ければ実現できないのでよろしくお願いいたします。文科省にも我々の活動への理解は頂いており、3年間の実績を重ねた上で後援してもらえるとという内諾を頂いている。学校側からは全国校長会の後援を得たことで、特別支援学校は参加しやすい形になった。福岡の会議にてまた詳細をお伝えしたい。

5. その他 特になし

6. 閉会の挨拶 小野寺副理事長

本日はありがとうございました。フットサル事業にしても寺子屋事業にしても、どうやって一般の方にライオンズクラブを分かってもらえるか、ということが事業の目的になってくる。特に、若い人にどうやってライオンズクラブに興味を持ってもらえるのか。年々会員が減少しているのは、やはり若い人にとってライオンズクラブは面白いことをやっているんだとか、本当にお金だけではないのなんだとか、汗を流すことの面白さなんだな、ということも少しでも分かってもらえれば、自然体の中でそれぞれのクラブに若い人が入会して、なおかつ伸び伸びとしたクラブの構成ができていくことが、これからのライオンズクラブなのかなと思う。役員皆さまのご協力が無ければ財団が前に進まないの、どうぞよろしくお願いいたします。

以上

議事録作成人

事務局長 伊賀 保夫 (330-A)

一般財団法人日本ライオンズ

青少年に夢と希望を

日本ライオンズは、我が国の次代を担う青少年が「夢」や「希望」を失うことなく、高い志を抱き、思いやりの心を持って、自立して将来への道を歩むことができるよう、次の3事業に取り組んでまいります。



児童養護施設
の「寺子屋」事業

- 国内約600カ所の児童養護施設には約3万人の子どもがおり、そのうちの約2万人は児童虐待の経験者であるといわれています。
- 児童虐待の経験者の多くは、学ぶべき学年に応じた基礎学力が十分に身に付いていないと指摘されています。
- 当財団は、児童養護施設の小学生の指導に、公認NPO法人や国内135のレオクラブから学習支援員

を派遣して、学習の遅れがある子どもたちが基礎を身に付けられるよう支援します。

小学生の 薬物乱用防止事業

- 薬物の乱用は依存症を引き起こし、精神障害を発症させ、重大な犯罪の誘発、家庭や人間関係の崩壊、社会秩序の乱れ等の要因にもなります。
- 現在、スマートフォンの普及などに伴い、小学生が薬物の情報に触れることが容易になってきています。
- 当財団は、小学校での薬物乱用防止教室や薬物乱用防止ポスター展など、全国のライオンズクラブが積極的に取り組む活動が、より一層充実したものとなるよう支援します。



特別支援学校
フットサル大会事業

- 全国1,146校の特別支援学校には144,434名が在籍し、その9割は知的障がいの子供です。
- スポーツにより健康な体と社会性を身に付けることができます。フットサルはボール一つあれば、狭い屋内で仲間と一緒に楽しむことができます。人間関係を作ることもできます。
- 当財団は、特別支援学校の生徒のフットサル大会を全国9地域ごとに開催し、障がいのある子どもの夢を広げます。

(一財)日本ライオンズの社会貢献活動に寄付をお願いします。

クラブ寄付は1口5万円

企業寄付は1口5万円

第2回 一般財団法人日本ライオンズ 役員会議 式次第

2021年8月7日(土) 13:30-17:00

@ホテル日航福岡

司会：事務局 伊賀 保夫

1. 開会のご挨拶 不老 安正
2. 出席者の確認 伊賀 保夫
3. 配付資料の確認 伊賀 保夫
4. 事務連絡
 - ① 8/7-8/8 スケジュールについて
 - ・ 8/7 (土) 会議、懇親会
 - ・ 8/8 (日) 役員会議
 - ② 今回の旅費精算について
5. 報告事項
 - ① 8/2 (月) 一社) 日本ライオンズ社員総会について 不老 安正
 - ② 一財) 日本ライオンズ名称変更に伴う手続きについて 伊賀 保夫
 - ・ 登記について
 - ・ 代表印、銀行印、銀行口座、領収書、感謝状の変更に関して
 - ③ 寄付金の入金状況 伊賀 保夫
6. 審議事項 不老 安正
 - ① 国際財団との協定書について
 - ② 今期の事業運営について
 - ・ フットサル事業
 - ・ 寺子屋事業
 - ・ 薬物乱用防止事業
 - ・ その他
 - ③ 寄付金のお願いについて
7. その他
8. 閉会のご挨拶 小野寺 眞悟

以上



2021年～2022年度 336 複合地区臨時ガバナー協議会 議事録

日 時：2021年7月6日（火）15:00～17:00

場 所：福山商工会議所 3F「303号室」

出 欠：

役 職	氏 名	出欠
議 長	福永 栄一	○
副議長 (C 地区ガバナー)	三島 英揮	○
副議長 (D 地区ガバナー)	大野 美雄	○
幹 事 (A 地区ガバナー)	蔵本 守雄	○
会 計 (B 地区ガバナー)	平山 智雄	○
事務局運営委員会 委員長	森田 安芸彦	○
事務局運営委員会 委員 (A 地区幹事)	長尾 和彦	○
事務局運営委員会 委員 (B 地区幹事)	山田 隆嗣	○
事務局運営委員会 委員 (C 地区幹事)	高東 信男	○
事務局運営委員会 委員 (D 地区幹事)	山崎 敏弘	○

司会進行：事務局運営委員会 委員長 森田 安芸彦

開会挨拶：議長 福永 栄一

ようやく皆様と対面での会議を開催することが可能となった。8年前ガバナーに就任したが、時代を比較すると、昨今においてはコロナ禍の影響で社会全体が疲弊している。ライオンズクラブ組織としてもクラブ数、会員数ともに激減しており会員増強をはじめ、取り組むべき課題が多くあるが、ガバナーの皆様にはまず準地区の活性化をお願いし、そこから複合地区の活性化と運営に繋げていただきたい。皆様とつつがなく、そして楽しく1年間を過ごせることを期待している。

※出席者紹介と挨拶

※委嘱状交付式は時間の都合上割愛

協議事項 1 (持ち越し)	★要承認
組織図についての再確認	資料 P1-5

6/17 ガバナーエレクト会議(WEB)からの変更はなし

※IT・MC・ライオンズ情報委員会およびアラートチーム (文章にて説明済)

森田委員長より資料に基づいて説明があった。

補足として、どの委員会の担当ガバナーであるか再度確認をお願いしたいとの話があった。

大野ガバナーより下記話があった。

IT・MC ライオンズ情報委員会組織とアラート委員会[アラートチーム]組織は議長の下に存在しているのか。

⇒

福永議長より下記回答と補足説明があった。

両委員会は複合地区ガバナー協議会の下部組織となり、ガバナー協議会の運営の中で活動を行う。また、アラート委員会を開催する際の出席対象者は、旅費負担を考慮する必要もある為、委員長、副委員長までとする。

アラート委員会組織に関する不都合部分は1年後に検討。今期は現行組織で試みるが、第1回ガバナー協議会で今回の組織改編について高岡アラート委員長に補足説明をしていただく。

承 認

協議事項 2 (持ち越し)	★要承認
第 1 回～5 回ガバナー協議会日程と開催会場について	資料 P6-7

- ※6/17 ガバナーエレクト会議(WEB)以降の変更はなし
- ・開催時間の決定 (前年度より変更あり)
 - ・第 1 回～5 回担当地区などの確認
 - ・臨時ガバナー協議会終了後の事務局運営委員会にて役割分担

【協議会日程表】

開催回	開催年月日	担当地区 / 開催市 / 会場	宿泊
第 1 回	2021 年 8 月 26 日 (木)	A 岡山市 リーセントカルチャーホテル	ヴィアイン岡山
第 2 回	2021 年 10 月 28 日 (木)	B 岡山市 リーセントカルチャーホテル	リーセントカルチャーホテル
第 3 回	2022 年 1 月 27 日 (木)	C 岡山市 リーセントカルチャーホテル	リーセントカルチャーホテル
第 4 回	2022 年 3 月 24 日 (木) 25 日 (金)	D 岡山市 ホテルグランドヴィア岡山	ヴィアイン岡山
第 5 回	2022 年 6 月 16 日 (木)	C 広島市 リンクスホテル広島	未定

当日スケジュール	
第 1 回～第 3 回	①ガバナー協議会 13:00～14:00 ②役員連絡会議 14:30～16:30 ③懇親会 16:45～18:00
第 4 回	【1 日目】 ①ガバナー協議会 ②次期組織検討会 ③夕食会 【2 日目】 ①次期五役研修会 ②役員連絡会議 ③懇親会
第 5 回	①ガバナー協議会 13:00～14:00 ②役員連絡会議 14:30～16:30 ③懇親会 16:45～18:00

森田委員長より資料に基づいて説明があった。
 今期は開催時間を例年より圧縮している上、出席者数も多くなる見込みである為、事務局運営委員各位には会議の準備をサポートしていただけるようお願いしたい。
 ※役割分担については事務局運営委員会にて説明

議長：ガバナーご夫人についてもぜひ一度は出席いただくようお願いしたい。
 また、今期は国際大会がモントリオールにて必ず開催されるはずであるので、こちらもぜひ参加をしていただきたい。

承 認

協議事項 3	★要承認
日本レベルの会議出席時の旅費負担について (日本ライオンズ・OSEAL 調整事務局等)	資料 P8 (8-1.2) -9

- ※別添資料 8-1, 8-2 改正前・改正後 複合地区旅費規程参照
- ・複合地区組織図に含まれる役員に限り申請可能
 - ・準地区役員については準地にて負担いただく
 - ・複合地区役員の会議出席申請について(旅費申請)
 - ・LCIF からの会合出席要請に伴う旅費負担について

- ・議長の日本レベル等会議時の旅費負担について⇒複合地区旅費規程 7. を参照
- ・各種取り決め意見交換

森田委員長より資料に基づいて説明があった。

大野ガバナーより、アラート委員会開催時の旅費負担について質問があった。

⇒複合地区役員のみ複合地区費から負担される。(※複合地区全体組織図に氏名記載のある方)
 その他の方については準地区にてご負担いただく。

福永議長より、コーディネーター等複合地区役員が日本レベルの会議に出席する際は、今回から導入する旅費申請に基づいて複合地区費から支払いをするとの話があった。

大野ガバナーより準地区の負担が大きくなるのではないかとの話があった。

⇒

福永議長より、要請があり設立されたばかりの財団法人日本 LCIF の会議に前期の頃から出席しているが、旅費負担は一切ない。また、今期から初めて 336 複合地区組織図内に一般社団法人日本ライオンズ執行理事、理事の役職を追記載したが、日本ライオンズからの旅費負担のルールについても明確ではない。第 1 回社員総会の際に次期理事長へお尋ねする。

承認

協議事項 4

2022 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島への取り組みについて

資料 P10-14

主催：公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

日程：2022 年 11 月 4 日（金）～ 6 日（日）3 日間

2022 年 11 月 4 日（金）開会式

2022 年 11 月 5 日（土）競技予選（ディビジョニング）

2022 年 11 月 6 日（日）競技決勝 / 表彰 / 閉会式

開催地：広島県内各所（広島市、呉市、三原市、北広島町）

実施競技/会場：12 競技 8 会場（予定）

森田委員長より資料に基づいて説明があった。

福永議長より下記話しがあった。

- ・前期は SON Japan から日本ライオンズへの運営委託がないということで岡村前議長からは保留案件とされていたが、SON Japan から日本ライオンズへ正式文書が届いたことにより、期末に開催された日本ライオンズ理事会で広島大会がようやく承認された。
- ・愛知大会の際には既に広島大会については決定されていたが、LCIF からの具体的な話は昨年であった。
- ・日本ライオンズから MD336(336-C 地区：広島)への運営委託について正式な文書を作成してもらうよう依頼している。
- ・運営資金は LCIF から拠出される 30 万ドルと 8 複合地区で募る 1 クラブあたり 5000 円の寄付金のみ。これ以上は SON Japan にて拠出していただく。
- ・MD336 運営主体（※主催ではない）となるので出来れば各準地区内クラブからの協力を要請させていただきたい。
- ・SON 広島大会運営委員会の中に“ライオンズ委員会”を設置する。構成員は 336-C 地区三島ガバナー、弓場第一副地区ガバナー、三口第二副地区ガバナー、大会会場となる北広島や呉等のクラブ会長を予定しており、ライオンズに関わる部分について諮る委員会とする。
- ・MD336 としては下記 2 種の口座開設が必要となる。
 - ① LCIF から 30 万ドルを受ける為の口座
 - ② 8 複合地区各クラブから、1 クラブあたり 5000 円の協賛金を受ける為の口座
- ・出金については、この 2 口座から運用する。摘要としては、トーチ、ピン、フラッグ、T シャ（3000 枚予定）等の製作費が見込まれる。
- ・会計処理については、MD336 特別会計にする必要があると思われるが、再度確認する。今秋頃から口座開設を含めて準備を開始する。
- ・主催である SON Japan と一般社団法人日本ライオンズ間で 10 年間のパートナーシップ契約

を締結している。

大野ガバナーより、全体予算が不明瞭な状態では説得力に欠け、クラブへの寄付はお願いし難いとの話があった。

蔵本ガバナーより、パンフレット等があれば地区内で説明がしやすくなる、との話があった。福永議長より、大会の趣旨について述べた文書を作成したいが、現時点では運営資金となる LCIF からの 30 万ドルも準備されていない。準備が整い次第パンフレットも制作したいとの話があった。

承認

協議事項 5

複合事務局について

- ・給料計算・・・給料計算ソフトにて事務局で作業
 - ・労働保険の申請・・・岡山労働基準局
 - ・健康保険、厚生年金保険事業所関係変更・・・岡山西年金事務所 ※議長名変更
 - ・異動届・・・岡山西税務署 ※議長名変更
 - ・年末調整など申告書類・・・有限会社寺越コンピューター会計事務所
 - ・雇用契約書の作成・・・事務局運営委員長
 - ・勤務時間
9：00～17：00 とされておりますが、処理が追いつかずかなりの頻度にて残業が発生しており対策を講じる
 - ・電話対応業務
10：00～16：00 とし現状の残業を軽減させたい（留守番電話にて対応）※緊急時は対応可能
 - ・議事録作成人の指名、署名人、承認について
ガバナー協議会・連絡協議会 作成は事務局にて行い 署名人・承認を福永議長
各種委員会 作成は委員会にて行い 署名人・承認を委員長
(事務局にて議事録作成時は、委員長にて承認)
- ※各会議議事録については、ガバナー協議会メンバーは必ずご確認ください。
- ・事務局員の懇親会出席について

森田委員長より上記説明報告があった。

承認

福永議長より基準内賃金と基準外賃金、事務局員昇給について補足説明があった。1 年間かけて検討するべきであり、まず事務局運営委員会で話し合い、第 1 回ガバナー協議会で諮りたい。

その他

8 月 26 日 開催 第 1 回ガバナー協議会に向けて

進捗状況報告と意見交換

	※第 1 回ガバナー協議会での定例協議事項	★事前補足
○	①複合地区組織図および各役員の方任について	
○	②複合地区各規約について	
○	③複合地区、複合地区大会費振込銀行について	
○	④複合地区年次大会について	
	⑤複合地区会計報告	
	⑥前年度複合地区会計報告並びに監査報告	
	⑦今年度予算（案）について	
○	⑧ガバナー協議会・役員連絡会議日程について	
○	⑨ガバナー協議会・役員連絡会議出席対象者について	
	⑩次年度協議会議長選任について	資料 P16
	※国際会長訪問日程、前年度 YCE 委員長賞については、国際本部から通知があれば含める	

森田委員長より資料に基づいて説明があった。

○印部分：ガバナーエレクト会議と本会議にて確認済。

⑤⑥については、2020-2021 年度会計監査が 7/22、事前打ち合わせが 7/16 で決定している。

⑦については、ベースは出来ており、第 1 回ガバナー協議会時に再確認を行う。

⑩については時間の都合上割愛。

報告・送付事項	報告書提出者
2020-2021 年度 青少年・ライオンズクエスト委員会報告	池原 堅

引継ぎ事項⇒中林委員長ご逝去により池原が代理委員長で開催
第 1 回 336 複合地区 青少年・ライオンズクエスト委員会開催

日 時：2021 年 3 月 16 日(火) 13:30-15:30

出席者：岡村議長、B 地区金礪ガバナー、A 地区斎藤委員長、C 地区占部 GST コーディネーター、C 地区大西クエスト委員長、C 地区下中青少年委員長、D 地区末田青少年委員長

議 題：中林委員長ご逝去に伴い、岡村議長より説明と平和ポスター、薬物乱用防止、クエスト候補金について研修会の積極的参加の要請があった。

各地区薬物乱用防止認定講座の現状報告をした。B 地区は今年度中止

1.ライオンズクエストについて

- ・ A 地区 11 月にセミナーを愛媛、高知で開催次年度に向けた交付金の申請をする予定
- ・ B 地区 中止
- ・ C 地区 中止、次年度開催が決定している
- ・ D 地区 中止

2.平和ポスターについて

- ・ A 地区 応募が少ない。平和作文コンテストを積極的に取り組んでいる。
- ・ B 地区 平和ポスターコンテストが取り組みしている。件数については不明
- ・ C 地区 平和ポスターは積極的に取り組んでいる。今年度 3913 点の応募があった

3.各地区とも特色のある活動をされていますが、次年度引継ぎにあたり、青少年健全育成、ライオンズクエストの活発な活動をお願いします。

4. Lions Quest ライフスキル教育プログラム 2021 年 高知ワークショップのご案内

【主催】高知とさみずきライオンズクラブ・青少年育成支援フォーラム (JIYD)

2021 年 8 月 28 日 (土) 高知プリンスホテル

※LCIF 交付金を申請中

※文書は A 地区青少年・LCIF・ライオンズクエスト斎藤 明子委員長より (2021.6.28)

森田委員長より上記送付事項について報告があった。

送付事項	報告書提出者
336 複合地区第 67 回年次大会中止に伴う繰越金について	澤 辰水

336 複合地区第 67 回年次大会記念誌を拝見すると、第 67 回年次大会中止となった為、約 1,600 万の繰越金があると伺えます。

アラート委員会の発足により国内外に対応できる災害対策活動資金の新しい口座を新設、直ちに使用できる資金約 500 万(A～D地区は、アラート資金を今期設けております)

複合地区緊急援助資金、現在は 1,000 万。

もし、複合地区内で災害が発生した場合、1,000 万下ればまた会員の皆様をお願いしなければなりません。

約+500 万の増、複合地区緊急援助資金として 1,500 万確保のご検討お願い申し上げます。

なお、金額については今期決算の監査後で宜しいかと思えます。

上記事項、ご考慮の程、何卒宜しくお願い致します。

資料 P15

森田委員長より上記送付について報告があった。

福永議長より、複合地区年次大会費を緊急援助資金に移動させる案については検討が必要ではないかとの話があった。

大野ガバナーより、令和2年7月熊本鹿児島豪雨災害時、336複合地区緊急援助資金から支援金を拠出したのか、また、熱海市土砂災害への支援金は336複合地区緊急援助資金から拠出するのかとの質問があった。 ※熱海市災害支援については待機要請あり

⇒各準地より25万円ずつを拠出、計100万円をMD336分として、337-E地区キャビネット口座へ直接送金した経緯がある。
336複合地区緊急援助資金(2021年7月1日現在、10,030,281円)からの拠出はなかった。

【2020年7月23日開催第1回アラート委員会議事録より抜粋】

- 熊本337-E地区への支援金について
 - 各地区25万円ずつを337-E地区へ直接送金することで決定。
25万円の集め方は地区に一任。
 - 各クラブに対しても日本ライオンズアラート委員会から振込要請が入るはず。
8/4の全国ガバナー会での方針を待つ。
- 日本ライオンズアラート委員会で設定されている被害状況レベルの基準
 - ※被災地に対してライオンズクラブが行う直接支援の目安期間。
 - レベル1：ゾーンまたはリジョンで対応、発災後約3か月間
 - レベル2：準地区または複合地区で対応、発災後約6か月間
 - レベル3：東西各エリア、または、全日本で対応、発災後約1年

【336複合地区緊急援助資金規定より抜粋】

3. 援助の対象

“援助の対象は、災害救助法を適用された複合地区内の災害並びにこれに準ずる国内および国内の災害の内から、緊急援助資金委員会の決議により採択する。

余剰金となっている複合地区年次大会費を複合地区緊急援助資金へ移動させる件については継続審議とする。

報告事項	報告書提出者
ライオン誌日本語版委員会報告	玉浦 巖

3/9 第8回 (WEB会議) ライオン誌運営/3,4月号の出来/5,6月号台割り等審議
4/6 第9回 (WEB会議) 本誌関係/WEBマガジン関係/ライオン誌の方向性等審議
5/13 第10回 (WEB会議) 21-22年度予算/5,6月号の出来/7,8月号台割り等審議

森田委員長より上記報告があった。

報告事項	報告書提出者
会則および付則継続審議事項について	金礪 毅

継続審議内容

1. 各委員会の予算化を行い、委員会活動の活発化を図る。予算案は次期複合地区委員会委員長が提案し次期ガバナー協議会議長が当該複合地区年次大会において承認を得るものとする。
2. 複合地区各委員会の委員選任規約
複合地区各委員会の活性化を目的とし、ガバナー経験者だけでなく委員会委員に広く門戸を開き各準地区から有能な人材を登用することができる。
現在、長く同じ顔ぶれで組織組を行っているのが現状であり、広く各準地区から有能な人材登用を可能にしたい。人材登用に際しては各準地区のガバナーが推薦するものとする。

3. 《経 費》

【複合地区委員等が地区キャビネット構成員の場合】

現行通り複合地区協議会議長の要請により、地区ガバナーを通じて複合地区委員等に委員会等への参加出席要請をした場合の会議等の出席経費は、地区キャビネットが負担する。この場合は地区キャビネットから委員等に委員会等への参加出席を要請する。

【複合地区委員等が地区キャビネット構成員以外の者】

複合地区協議会議長が複合地区委員等に会議等への参加要請をし、その経費は複合地区ガバナー協議会が負担する。ただし次期役員分は準地区で負担する。

4. 《招 集》

各委員会は会議を WEB 会議で行うことを可能とする。WEB 会議の映像記録は保存し、複合事務局に 5 年間保存義務とする。議事録は委員会委員の中から議事録作成人、議事録署名人を選出し、事務局員の協力を得て作成する。

MD336 安田会則および付則・運営マニュアル編集委員会委員長へ送付。

その他

- ・次期 336 複合地区業務担当者 My LCI 登録について
前期と同様に大木 IT 委員長と事務局員 2 名を登録。
当初、複合地区業務担当者登録について今期は太平洋アジア課で許可されなかったが、大木 IT 委員長が必要性的について OSEAL 調整事務局と折衝、8 複合地区ともに利用が可能となった。
- ・複合地区役員を終える方へのお礼（商品券 10000 円）贈呈について
**過去受け取った方を確認して贈呈は 1 度に限ることとする。（※役員年表にて確認可能）
今期第 1 回ガバナー協議会では前ガバナー 4 名へ贈呈することとする。**
- ・次期役員への委嘱状（印字は 7/1 付）の各地区キャビネット事務局到着日について
⇒各クラブ宛で 7/1 に発送済み。
- ・OSEAL フォーラム開催に関して
⇒2021 年 3 月に OSEAL 元国際会長が集まったの会議が開催されるはずであったが、本日現在 OSEAL 調整事務局からの進捗情報はない。
- ・大野ガバナーより FWT コーディネーターは男性でも可能であるのかとの質問があった。
⇒昨年度は C 地区副コーディネーターは男性であった。
- ・蔵本ガバナーより FWT コーディネーターの役職名称について確認があった。
⇒6/18 に OSEAL 調整事務局より配信された GAT コーディネーター研修資料内「スペシャルティクラブ・コーディネーターの役割と責務」の文書内に、“スペシャルティクラブ・プログラム・コーディネーター”と記載されていたが、“スペシャルティクラブ・FWT コーディネーター”の名称で今期より使われている。
- ・ヘッドネーションについて、長さ 15 cm～30 cm未満のものは回収不可。準地区宛で連絡済み。
2 年程前から倉庫で山積となっていた旨情報について平山ガバナーより話があった。

閉会挨拶：議長 福永 栄一

短い時間でしたが内容の濃い会議となった。1 年間 4 人のガバナーと力を合わせて参りたいので、まず第 1 回ガバナー協議会をよろしく願いたい。

議事録署名人：336 複合地区ガバナー協議会 議長 福永 栄一
承認年月日：2021 年 7 月 12 日





336 複合地区 次期（2021-2022 年度）

LCIF コーディネーター・キャンペーンコーディネーター会議

日時：2021年5月11日（火）15:00～17:00

WEB 会議システム「Zoom」※MD336 事務局より接続

役 職	氏 名	出 欠
336 複合地区ガバナー協議会 議長	岡村 聖爾	ご挨拶のみ
LCIF キャンペーン 100 副エリアリーダー	大谷 博	○
336 複合地区 LCIF コーディネーター	橋本 充好	○
336-A 地区次期 LCIF コーディネーター（A 地区ガバナーエレクト）	蔵本 守雄	○
336-B 地区次期 LCIF コーディネーター（B 地区ガバナーエレクト）	平山 智雄	○
336-C 地区次期 LCIF コーディネーター（C 地区ガバナーエレクト）	三島 英揮	○
336-D 地区次期 LCIF コーディネーター（D 地区ガバナーエレクト）	大野 美雄	○
336-A 地区次期 LCIF キャンペーンコーディネーター	高岡 英治	○
336-B 地区次期 LCIF キャンペーンコーディネーター	片岡 秀憲	○
336-C 地区次期 LCIF キャンペーンコーディネーター	藤井 昌光	○
336-D 地区次期 LCIF キャンペーンコーディネーター	山崎 もとみ	○

次 第

司会進行：336 複合地区 LCIF コーディネーター 橋本 充好

1. 開会挨拶 LCIF キャンペーン 100 副エリアリーダー 大谷 博
2. 議長挨拶 336 複合地区ガバナー協議会 議長 岡村 聖爾
3. 自己紹介並びに次年度抱負
 - A 地区コーディネーター／キャンペーンコーディネーター
 - B 地区コーディネーター／キャンペーンコーディネーター
 - C 地区コーディネーター／キャンペーンコーディネーター
 - D 地区コーディネーター／キャンペーンコーディネーター
4. 意見交換
 - 目標達成の抱負
5. その他
 - 2022 年度スペシャルオリンピックス広島大会について
6. 閉会挨拶 LCIF キャンペーン 100 副エリアリーダー 大谷 博



2021-2022 年度 MD336 LCIF バーチャルセミナー

2021 年 7 月 9 日 午後 2 時～午後 4 時

司会進行：336 複合地区 LCIF コーディネーター

L. 橋本 充好

議題

1. 開会あいさつ LCIF 理事 L. 鈴木 誓男
2. キャンペーン 100 国際委員長のご挨拶 元国際会長 L. 山田 實紘
3. 国際理事のご挨拶 国際理事 L. 渡部 雅文
4. プレゼンテーション 世界に手を差し伸べる LCIF 交付金事業
LCIF 事務総長 レベッカ・ダウ
5. プレゼンテーション 楽しく寄付を集めるクリエイティブなファンドレイジング
LCIF 開発部長 クリス・プランケット
6. 2021-2022 年度の日本の取り組みについて
 - 日本の方針 LCIF 理事 L. 鈴木 誓男
 - MD336 の 21-22 年度目標と活動 MD コーディネーター L. 橋本 充好
7. LCIF の表彰制度 OSEAL 事務局
8. 交付金事業の計画と実施 OSEAL 事務局
9. 質疑応答
10. 閉会あいさつ LCIF エリアリーダー L. 丸山 正芳

FY21-22以降の地区別目標額

		キャンペーン100実績（2021年2月現在）						FY21-22目標額
地区	エリア	キャンペーン累計	キャンペーン目標	キャンペーン達成率	リード・マジギガ寄付累計	リード・マジギガの比率	キャンペーン残額	MDCの数字
330-A	東京	1,840,240	1,960,320	93.87%	392,290	21%	120,080	390,000
330-B	神奈川・山梨・東京	2,537,249	2,531,840	100.21%	552,630	22%	0	490,000
330-C	埼玉	958,394	908,649	105.47%	146,047	15%	0	180,000
331-A	道央	1,618,896	1,226,278	132.02%	444,038	27%	0	200,000
331-B	道北・道東	903,108	909,905	99.25%	118,106	13%	6,797	150,000
331-C	道南	748,725	630,856	118.68%	193,325	26%	0	110,000
332-A	青森	473,263	673,128	70.31%	0	0%	199,865	140,000
332-B	岩手	512,307	609,266	84.09%	0	0%	96,959	120,000
332-C	宮城	502,849	561,005	89.63%	0	0%	58,157	110,000
332-D	福島	982,815	788,327	124.67%	37,965	4%	0	130,000
332-E	山形	512,166	624,040	82.07%	0	0%	111,874	130,000
332-F	秋田	284,636	386,503	73.64%	0	0%	101,867	80,000
333-A	新潟	796,087	1,082,178	73.56%	0	0%	286,091	220,000
333-B	栃木	439,914	523,384	84.05%	0	0%	83,470	100,000
333-C	千葉・東京	900,090	1,270,938	70.82%	118,520	13%	370,848	260,000
333-D	群馬	597,832	700,026	85.40%	0	0%	102,194	140,000
333-E	茨城	1,783,198	1,643,410	108.51%	345,002	19%	0	300,000
334-A	愛知	4,509,903	5,534,592	81.49%	580,771	13%	1,024,689	1,000,000
334-B	岐阜・三重	1,625,985	1,472,573	110.42%	139,369	9%	0	370,000
334-C	静岡	1,600,173	1,313,399	121.83%	117,318	7%	0	350,000
334-D	富山・石川・福井	1,893,736	2,200,053	86.08%	177,265	9%	306,316	500,000
334-E	長野	892,804	943,396	94.64%	141,589	16%	50,592	250,000
335-A	兵庫東(神戸)	790,882	958,673	82.50%	74,018	9%	167,791	200,000
335-B	大阪・和歌山	3,724,683	3,398,110	109.61%	520,273	14%	0	900,000
335-C	滋賀・京都・奈良	2,234,478	1,993,447	112.09%	329,427	15%	0	550,000
335-D	兵庫西(姫路)	1,045,962	826,868	126.50%	191,044	18%	0	250,000
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	1,816,957	2,076,094	87.52%	154,758	9%	259,137	456,000
336-B	岡山・鳥取	803,963	1,189,477	67.59%	84,726	11%	385,514	264,000
336-C	広島	1,091,327	1,284,228	84.98%	30,095	3%	192,901	280,000
336-D	山口・島根	907,917	1,214,900	74.73%	0	0%	306,983	280,000
337-A	福岡・長崎	2,398,501	2,306,904	103.97%	536,418	22%	0	500,000
337-B	大分・宮崎	766,276	922,272	83.09%	10,770	1%	155,996	300,000
337-C	佐賀・長崎	1,137,702	1,698,201	66.99%	128,310	11%	560,499	300,000
337-D	鹿児島・沖縄	859,366	945,214	90.92%	215,660	25%	85,847	300,000
337-E	熊本	583,259	669,015	87.18%	13,168	2%	85,756	150,000
全日本	全日本	45,075,642	48,002,462	93.90%	5,792,901	13%	2,926,820	10,450,000

来期の数字目標を達成するための数字の積み上げシミュレーション

準地区名：	336-A
来期目標額：	456000\$

来期の目標額：456000\$				寄付金額
		人数/件数	金額	小計
ファンドレイジングの手法	1人100ドル	500	100	50000
	MJF - 1口 (ライオン像)	150	1000	150000
	MJF - 3口 (LCIF理事長感謝状)	10	3000	30000
	MJF - 5口 (国際会長感謝状)	5	5000	25000
	MJF - 15口 (Lion of Empowerment盾)	1	15000	15000
	メジャーギフト (誓約の集金と新規開拓)			
	リードギフト (誓約の集金と新規開拓)			
	ヒューマニタリアン・パートナー			
	その他の個人寄付		186000	186000
	企業寄付		1000	0
	チャリティーゴルフ等その他ファンドレイジング			
計 (0になるように) :				0

目標モデルクラブ数：	
目標100%MJFイエローフラッグクラブ数：	
目標ブルーフラッグクラブ数：	

準地区名：	336-B地区
来期目標額：	264000

来期の目標額：264000				寄付金額
		人数/件数	金額	小計
ファンドレイジングの手法	1人100ドル	30	100	3000
	MJF - 1口 (ライオン像)	30	1000	30000
	MJF - 3口 (LCIF理事長感謝状)	5	3000	15000
	MJF - 5口 (国際会長感謝状)	2	5000	10000
	MJF - 15口 (Lion of Empowerment盾)	0	15000	0
	メジャーギフト (誓約の集金と新規開拓)			
	リードギフト (誓約の集金と新規開拓)			
	ヒューマニタリアン・パートナー			
	その他の個人寄付			
	企業寄付		1000	206000
	チャリティーゴルフ等その他ファンドレイジング			
計 (0になるように) :				0

目標モデルクラブ数：	
目標100%MJFイエローフラッグクラブ数：	
目標ブルーフラッグクラブ数：	

来期の数字目標を達成するための数字の積み上げシミュレーション

準地区名：	336-C地区
来期目標額：	280000

		寄付金額		
来期の目標額：		280000		
		人数/件数	金額	小計
ファンドレイジングの手法	1人100ドル	100	100	10000
	MJF - 1口 (ライオン像)	100	1000	100000
	MJF - 3口 (LCIF理事長感謝状)	5	3000	15000
	MJF - 5口 (国際会長感謝状)	3	5000	15000
	MJF - 15口 (Lion of Empowerment盾)	1	15000	0
	メジャーギフト (誓約の集金と新規開拓)			
	リードギフト (誓約の集金と新規開拓)			
	ヒューマニタリアン・パートナー			
	その他の個人寄付			140000
	企業寄付		1000	0
	チャリティーゴルフ等その他ファンドレイジング			
計 (0になるように)：				0

目標モデルクラブ数：	
目標100%MJFイエローフラッグクラブ数：	
目標ブルーフラッグクラブ数：	

準地区名：	336-D地区
来期目標額：	280000

		寄付金額		
来期の目標額：		280000		
		人数/件数	金額	小計
ファンドレイジングの手法	1人100ドル	30	100	3000
	MJF - 1口 (ライオン像)	30	1000	30000
	MJF - 3口 (LCIF理事長感謝状)	2	3000	6000
	MJF - 5口 (国際会長感謝状)	2	5000	10000
	MJF - 15口 (Lion of Empowerment盾)	0	15000	0
	メジャーギフト (誓約の集金と新規開拓)			
	リードギフト (誓約の集金と新規開拓)			
	ヒューマニタリアン・パートナー		231000	231000
	その他の個人寄付			
	企業寄付		1000	0
	チャリティーゴルフ等その他ファンドレイジング			
計 (0になるように)：				0

目標モデルクラブ数：	
目標100%MJFイエローフラッグクラブ数：	
目標ブルーフラッグクラブ数：	



2020~2021年度 ライオンズクラブ国際協会
第6回複合地区 GLT コーディネーター会議

議事録

日時：2021年3月8日（月）13:30～15:00

場所：Zoom

進行：GLT8MD コーディネーター世話人 L. 濱野雅司

出席者： 城阪 GAT エリアリーダー

MD330 濱野、MD331 若林、MD332 竹下、MD333 小高、MD334 加藤、MD335 吉村

MD336 矢野、MD337 乗田、OSEAL 調整事務局 マーズ局長、畠山

1. 開会

2. ご挨拶とご報告

- コロナを言い訳にせずに、GLT がライオンズを引っ張ってほしい。
- 来期より6つの地区でGMAがスタートするために、すでに準備がスタートしているの、ぜひGLTとして支援してほしい。
- 来期の国際理事として MD334 の蔵さんと MD335 の永田さんが立候補しているの、ぜひとも応援してほしい。

3. 議事

(1) 各複合地区の現状報告および計画について

MD330：複合地区次世代リーダーシップセミナー（RULL）はやむなく中止。

5月にベテランメンバーのためのシンポジウム開催予定

6月に次期ゾーン・チェアパーソン研修を開催予定

MD331：新会員は入会しているが、それを上回る退会者が続出しており、会員増強に苦戦している。LCIFについては、目標通りに順調に進んでいる。

次期ゾーン・チェアパーソン研修を5月～6月で準備している。

新しい役職が増え組織が肥大化しているの、もつとシンプルにならないか検討してほしい。

MD332：2月にリモートでGLTと第二副地区ガバナーの研修会を実施

5月または6月に次期ゾーン・チェアパーソン研修を企画したい。

FDIに1名の参加を申し込み済

MD333：各地区でリモートで会議を行っているが、GLTがこれからも積極的にオンラインでの会議の進め方を指導するように要請した。

次期ゾーン・チェアパーソン研修については、各地区で温度差があるので、

333-C地区で行っている1泊2日のゾーン・チェアパーソン研修の方法を披露して参考にしてみたい。

FDIには、2名の申し込みをした。地区にて理解度が違い、いつも同じ地

区からの申し込みになっている。

MD334：コロナの影響で、各地区でのセミナーがうまく開催できていない。
複合地区の次世代リーダーシップセミナーを5月29-30日に実施予定。

FDIには、3名の申し込みをする。

欠席であった334-B地区の第一副地区ガバナーに対しての研修会を実施
会員の減少は見られない。

MD335：335-B地区が昨年度1000名の入会者がいたので、今期はその反動で100名の減少になっている。複合地区全体では微減。

GoToLion キャンペーンという名称でライオンズメンバー自身がメンバーの飲食店を利用して地区内のメンバーの仕事を応援する。

各地区ではコロナ禍のために研修会を開くことができていない。

FDIには、7名を申し込みをしている。

6/1に次期ゾーン・チェアパーソン研修を開催予定。

MD336：2/24に複合地区のGLT会議を実施し、各地区で対面でのZCセミナーを開催することを決めた。

FDIには3名の申し込みをした。

MD336は、会員増強についてはこれといって大きな変動は見られない。

MD337：会員増強は、大きな減少等は見られないので、会員維持に尽力するようにゾーン・チェアパーソンに要請している。

5月～6月に次期ゾーン・チェアパーソン研修を開催予定。

337-C地区では、次期ゾーン・チェアパーソン研修を複数回に分けて実施。

FDIには、3名を申し込みしているが、できればもつと申し込みしたい。

新会員の研修が思うように開催できていない。

(2) GMA (グローバル・メンバーシップ・アプローチ) について

OSEAL 調整事務局の畠山さんより説明がある。

330-A,331-A,332-A,334-A,335-B,335-C がパイロット地区として会員増強を目標とするGMAに取り組んでいる。

GLTとして協力する場面もあるかと思うので協力してください。

(3) 全日本・次世代リーダーシップセミナーについて

日程：2021年5月18日～19日、2泊3日6食

場所：名古屋 ウィンクあいち

募集人数：各地区2名（できれば男女1名ずつ）

参加費：約35000円、別途（一社）日本ライオンズから補助あり

地区への案内：3月中旬（首都圏緊急事態宣言解除後）

ローカルコーディネーター：MD334の加藤GLTコーディネーター

講師：FDI以上の資格を持つGLTコーディネーター

内容：別紙を参照

(4) 各種研修会の日程について

- ① 第一副地区ガバナナー／ガバナエレクトセミナー
DGEセミナー事前課題第3弾 (LLC) 5/15まで
地区目標と行動計画の提出：4月9日～
1日目～3日目セミナー：4/24～5/29 毎週土曜日（6週間）午前8時～10時
地区行事との日程重複のため欠席者あり
バーチャル・セミナー：リモートで実施＝Zoom Meeting
4日目セミナーおよび就任式：6月末（バーチャルで実施）

② 講師育成研究会 (FDI)

日程：5月11日～13日 場所：東京
募集人数：20名（ゾーンチェアパーソン以上の職位の経験者）
講師：川野PDG (335-B)、吉村PDG (335-B)
ローカルコーディネーター：嶋村 (330-B)

③ 第103回年次国際大会について

モントリオール国際大会の中止から完全オンラインのバーチャル国際大会へ
6/25～28 バーチャルで開催
登録料：3/31まで＝50ドル、4/1以降＝75ドル
モントリオール国際大会 in 沖縄・JAPAN について (6/30-7/1)

(5) ライオンズ学習センター (LLC) の活用

- 国際協会のウェブサイトを、個人やクラブで自ら研修できるツール
- ライオンアカウンティングが必要
会員ログイン→会員ポータル→Learn→ライオンズ学習センター
主な学習コース

クラブ会長の責任	クラブ会計の責任	クラブ幹事の責任	クラブ役員研修
効果的なチーム	チームの編成	チームの意欲	イノベーションの推進
効果的な傾聴	時間管理	目標設定	SWOT分析入門
対立の解決	委任	コーチング	他

(6) 地域の研修の報告について

GLT地区コーディネーター、GLT複合地区コーディネーターの役割
研修会を企画したら、必ず登録し、実施したら報告をお願いします。
リモートで開催でも報告をお願いします。
地域の研修報告について、レポートという機能が利用可能になりました。

(7) バーチャル・セミナーについて

- バーチャル・セミナー（リモートでの研修）の活用方法と準備について
- カリキュラム
新会員オリエンテーション、ゾーン・チェアパーソン研修、
公認ガイドディングライオン研修、その他
- バーチャル・セミナー資料

(8) その他

- OSEAL 調整事務局マーズ佐子局長より
クラブ事務局向けの LCIF に関するウェビナーを3回開催した。
今後、MyLCI や MyLION、Insights、各種事務的なこと、手続きについてのウェビ
ナーを予定。現在申し込みが少ないので、バーチャル国際大会の参加の申し込みをお
願いします。その他、投票についての説明がある。
- Insights の活用方法について

4. 次回開催日の確認（日時、場所）

4月中旬予定。

5. 閉会



2021~2022 年度 ライオンズクラブ国際協会

8 複合地区GLT コーディネーター会議 議事録

日時：2021 年 7 月 27 日 (火) 13:30~15:00

場所：ZOOM meeting

進行：GLT330MD コーディネーター L. 濱野雅司

【出席者】 GAT 日本全域リーダーL. 中村泰久

GAT エリアリーダーL. 城阪勝喜

【GLT-MD コーディネーター】

MD330 : L. 濱野雅司 (世話人)

MD331 : L. 若林輝彦

MD332 : L. 竹下直義

MD334 L. 加藤史典

MD335 L. 吉村弘吉

MD336 L. 池原 堅

MD337 L. 乗田 泰

1. 開会

2. ご挨拶

- GAT 日本全域リーダー L. 中村泰久

全日本の次世代リーダーシップセミナーを参加者が参加しやすい、理解しやすいように、ライオンズのカリキュラムに加えて日本独自のカリキュラムを作成して実施してほしい。GATの他のコーディネーターに協力して ONE チームでライオンズに尽力してほしい。

- GAT エリアリーダー L. 城阪勝喜

ワクチン接種が進んでいることから今後は対面でも会議を開催する事を検討してほしい。今後のライオンズのために日本独自の次世代リーダーシップセミナーのカリキュラム作成に協力してほしい。

第二副地区ガバナーを対象として ALLI が開催されますので、困っている人のために奉仕するライオンズのために、GLT として協力してほしい。

日本ライオンズ大学校のモデルケースとして 335-B 地区でクラブの活性化を支援するための地区内講師の組織と派遣への取り組みを始めたので注目してほしい。

3. 議事録作成人の指名 (濱野) 4.

議事

(1) 自己紹介及び各複合地区の現況、予定について各 MD

コーディネーターより自己紹介がある。

新任は、336 複合地区の L. 池原 堅。 それ以外は継続して就任

(2) GLT 複合地区/地区コーディネーターの役割 (2021 日本 GAT)

- GLT は、地区が目標を達成するための、指導力育成におけるエキスパート

- 会員一人一人の資質向上

- 組織を成長させるためのリーダーの育成

- GLT リーダー、メンバーの役割

- ◆ 研修の質を高める

- ◆ 研修後のフォローアップ、検証

- ◆ リーダーの発掘育成

- ◆ 講師の発掘・育成と講師の機会の提供

- ◆ Learn での地域の研修報告率アップ

- ◆ ライオンズ学習センター活用推進

- ◆ GAT の各チームとの連携

(3) GLT コーディネーターの行動計画

- ガバナー協議会議長と協力し、指導力育成、会員増加、人道奉仕に取り組む

- 年間の複合地区指導力育成計画書を策定・実施し、研修について報告する

- 指導力育成の目標を達成するため、地区GLT コーディネーターと定期的に連絡を取り、継続的に意欲喚起し、進捗状況を確認する

各複合地区、準地区の GLT コーディネーターの組織内の位置付けがあいまいなところが多く、GAT の情報が、複合地区、地区コーディネーターから、委員会やキャビネット、メンバーに伝わりにくい現状がある。

複合地区GLT会議に地区の指導力系の委員長も参加を促してみても良いのでは。

- 国際協会の指導力育成の機会を宣伝する

- 複合地区 GMT および GST コーディネーターと協力し地区に会員維持戦略を提供する

- 新たなリーダー候補を発掘し、奉仕、会員増強、指導力育成の機会に参加させる

- 講師による研修およびウェブベースの研修を企画・進行する

- 指導力育成研修行事に参加したライオンズの総数を 10%増やす

- (4) 複合地区GLTコーディネーターの取り組みについて
- ライオンアカウントとライオンズ学習センター (Learn) について

GST と協力してライオンアカウントの取得をすすめ、ライオンズ学習センターの活用を広める。地区コーディネーターに要請してほしい。
 - 地域の研修の報告について

GLT コーディネーターの役目として Learn による報告があるが、指導力以外の他の研修が行われた場合も、報告をお願いします。(薬物乱用防止認定講師、会員増強、ライオンズクエスト等)
 - 新会員オリエンテーションについて

地区において、すでにある新会員オリエンテーションのガイドブックとパワーポイントを活用して、未受講の入会 3 年以内のメンバーを対象にオリエンテーションを複数回の実施をお願いしてください。
 - 各地区次世代リーダーシップセミナーについて

クラブ会長予定者(クラブ第一副会長)に対する研修会の資料を複合地区GLTで作成し、各準地区で実施するようにお願いします。
 - 複合地区次世代リーダーシップセミナーについて

複合独自の次世代リーダーへの研修、または、国際協会プログラム (ELLI) を活用したセミナーを検討する。
 - 公認ガイディングライオンセミナーについて

クラブの活性化のために、将来のゾーンチェアパーソンやゾーンチェアパーソンに対して各準地区で公認ガイディングライオン研修の実施をお願いします。
 - 第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナー複合地区研修

今期は例年より早い時期に資料が国際協会より準備されるので、各複合地区で開催をお願いします。その際、グループリーダーが第一副地区ガバナーと顔合わせしたいので、出席を希望します。そのため、8 複合地区の開催スケジュールが重複しないようにお願いします。
 - **研修の質の向上**

新たな研修の開発＝講師の育成の機会

- | | | |
|--|---|--|
| 入会 3 年以内メンバー | ← | 新会員オリエンテーション (地区) |
| メンバー | ← | 既存のガイドブックとパワーポイントを活用中堅
クラブ会長予定者研修 (地区)
新たなカリキュラムを作成し、全ての準地区で活用 |
| 新会員オリエンテーションとクラブ会長予定者研修について、それらの講師を複合地区で育成する。
会長経験者 | ← | ゾーンチェアパーソン研修 (地区または複合地区) |
| ライオンズリーダー | ← | 公認ガイディングライオン研修 (地区または複合地区) 次代の
← 次世代リーダーシップ研修 セミナー (全日本)
国際協会プログラムに日本独自のカリキュラムを加えて 新たなカリキュラムを作成する。 |
| 第二副地区ガバナー | → | 上級ライオンズリーダーシップ研究会 (ALLI) |

- **講師の発掘・育成と講師の機会の提供 (複合地区GLTにて講習)** 講師としての意欲のある FDI 取得者のリストアップと再教育
新たな研修方法の学習 (バーチャル研修の方法)

- (5) 全日本次世代リーダーシップセミナーについて (2021 年 4 月) 各地区 2 名 (男女) 国際協会プログラムに日本独自のカリキュラムを加えて、新たなカリキュラムを作成する
- (6) 各種研究会の日程について
- ① 上級ライオンズリーダーシップ研究会 (ALLI) 名古屋
2021 年 10 月 21 日 (木) ～23 日 (土) 申込締切: 10 月初旬募集人数: 35 名 (原則として、第二副地区ガバナー対象)
 - ② 講師育成研究会 (FDI) 日本にて独自開催計画 20 名を上限として募集
 - ③ ライオンズ認定講師プログラム (LCIP) 中国・上海
2022 年 5 月 13 日～16 日 申込締切: 2 月初旬 募集人数: 10 名
- (7) その他
講師育成研究会 (FDI) への参加の要望が多いので、ぜひとも日本での開催を実現する

4. 次回開催日

日時: 2021 年 9 月 6 日 (月) 14:00～16:00
場所: 名古屋 334-A 地区キャビネット事務局

5. 閉会



2021～2022 年度

第 1 回 336 複合地区 GLT コーディネーター会議(WEB)

日 時：2021 年 8 月 24 日 (火) 10:30～12:00

使用プラットフォーム：Zoom ※議事録録画配信

出 欠

336 複合地区 GLT 担当ガバナー	三島 英揮	○
336 複合地区 GLT コーディネーター	池原 堅	○
336 複合地区 GLT メンバー (336-A 地区第二副地区ガバナー)	山崎 勝彦	○
336 複合地区 GLT メンバー (336-B 地区第二副地区ガバナー)	藤井 信英	○
336 複合地区 GLT メンバー (336-C 地区第二副地区ガバナー)	三口 巖	○
336 複合地区 GLT メンバー (336-D 地区第二副地区ガバナー)	山崎もとみ	○
336 複合地区 GMT コーディネーター	真鍋 隆	○
336-A 地区 GLT コーディネーター		
336-B 地区 GLT コーディネーター		
336-C 地区 GLT コーディネーター		
336-D 地区 GLT コーディネーター	椎木 一三	○
336 複合地区ガバナー協議会 議長 ※オブザーバー	福永 栄一	欠
336 複合地区ガバナー協議会 事務局運営委員長 ※オブザーバー	森田 安芸彦	○

司会進行：336 複合地区 GLT コーディネーター 池原 堅

次 第

開会挨拶 336 複合地区 GLT 担当ガバナー 三島 英揮

出席者紹介

議 題 ①「2021-2022 年度 MD336 内各準地区 GLT コーディネーター各位の
研修計画と行動計画について」

※今期の各準地区、地区ガバナー方針と併せて発表をお願いいたします。

②「今年度の複合地区研修計画予定について」

- ・複合地区新会員オリエンテーション
- ・複合地区、各地区次世代リーダーシップセミナー
- ・第一副地区、第二副地区ガバナー研修会
- ・RC、ZC 研修会

③「その他要望事項について」

質疑応答

閉会挨拶 336 複合地区 GMT コーディネーター/336-A 地区 GLT コーディネーター 真鍋 隆

※各準地区 GLT コーディネーター各位は、研修計画を国際協会 HP 会員ポータルサイト Learn
へ必ずご入力ください。



第 6 回 8 複合 GMT コーディネーター会議録

開催日時：2021 年 6 月 11 日（金） 15：00～17：05

開催場所：Web 会議

参加者	：GAT 日本全域リーダー	L 中村泰久
	GAT エリアリーダー	L 不老安正
	GAT エリアリーダー	L 長澤千鶴子
	MD330GMT コーディネーター	L 伊賀保夫
	MD331GMT コーディネーター	L 鈴木善一
	MD333GMT コーディネーター	L 高橋克文
	MD334GMT コーディネーター	L 山岸博之
	MD335GMT コーディネーター	L 川野浩史
	MD336GMT コーディネーター	L 真鍋 隆
	MD337GMT コーディネーター	L 佐藤武史

欠席者：MD332GMT コーディネーター L 佐藤義則

進行:MD333GMT コーディネーターL 高橋克文

挨拶

GAT 日本全域リーダー L 中村泰久

残念ながら 434 名の純減、クラブの解散については朝起きるとオセアル調整事務局よりどさっとメールが入っている。

コロナウィルスは全世界の問題であるが、全世界の会員が減少しているかというところではない。インドは 3 万 4・5 千人の純増であり台湾と韓国も増えている。これから 6 月末を迎えるにあたり、マイナスを最小限に抑える為に知恵を集めて努力をして頂きたい。

GAT エリアリーダー L 不老安正

今期はコロナで始まり、コロナの最中に終わるということで、1 年間苦しい状況でした。皆さんは非常に厳しい状況下に頑張って活動して頂いたと承知している。しかし、中村日本全域リーダーが言ったように、会員の減少を最小限に抑えられるように残りの日々を送って欲しい。また、全国の準地区の中で純増で終わられる地区があれば前向きにアワードについても考えたい。

GAT エリアリーダー L 長澤千鶴子

今期残すところ 20 日、一年がとても早かったと思います。コロナ禍の中で活動がしづらかったと思いますが、MD コーディネーターの皆さん一年お疲れ様でした。この会議の前に GAT 会議があり、クラブ解散が 50 クラブ近いと聞いて驚



いています。支部は現在 31 支部の結成です。6 月末までに 40 支部に近づいてくれると思いますが、これからは会員維持に取り組んで頂きたい。

来期は、ワクチン接種も進み活動も出来るようになると思いますので、次期へつながる会員の維持をお願いします。

議 題

途中退席の予定があり議事の順番を変えてMD334の報告を行った。

MD334GMTコーディネーターL山岸博之

第4回コーディネーター会議を開催する前に5地区のガバナーとコーディネーターから一年の振り返りと、残りの四半期へのコメントを頂き、6月に退会者が増える事をよしとしない為に、ガバナー協議会の承諾を得て、1ヶ月間の退会防止キャンペーンを行う事にした。コーディネーター会議は、次期のコーディネーター予定者と合同で開催することにした事で、年度をまたぐアワードについても第1回キャビネット会議にて授与できる。

1年を振り返ると4回のGMTコーディネーターWeb会議の開催。第1回はGAT並びにGMTの一年間の目標を報告した。空白地域の調査依頼をして完了している。2回3回は、8複合GMTコーディネーター会議の報告と各地区の現状と課題を議題とした。

新型コロナウイルスのパンデミックが世界中で起こった事で、ライオンズも奉仕事業に影響を与え、会員にフラストレーションがたまった。

次期GMAが導入され334-A地区がチャレンジする。支部を作る事が会員増強の一翼を担うと自覚している。長澤エリアリーダーがこの会議に参加しているが、次期はFWTやGLTと協力して行きたいと反省から抱負としたい。GMAの準備段階として重要な時期だと思うので次期も頑張りたい。

1.2020-2021年度GMT会議報告について

MD333GMTコーディネーター L 高橋克文

5月末日現在の会員数・クラブ数についてMD330-262、MD331-61、MD332-68、MD333-5、MD334-135、MD335-179、MD336+31、MD337-76と例年に比べて残念な経過になっている。また、クラブ支部の第3四半期、3月末現在のまとめも配布した。3月末の全会員数が-285名、クラブ支部会員数は、+167名となり、支部プログラムは長澤エリアリーダーの推進のもと、有効であると判断して良いのでは無いか。

次に、複合コーディネーターからの報告内容が詳しくなった。支部プログラムへの理解が深まった表れだと思う。それから、全会員の内クラブ支部会員は2%まで達していない。まだ伸びる分野だと思うので、8複合として今後もクラブ支部を推進して行く事が確認されれば、クラブ支部の少ない準地区へ、クラブ支部作りのサポートも重要なポイントになるのでは無いか。



今期は私が所属するMD333の事務局が全力でとりまとめをしてくれたが、世話人の事務局がそれを引き継ぐとなると大変になるので、次期もこの調査を継続していくのであれば、ライオン誌日本語版に調査を依頼してデータを共有出来ると良いと思う。

ここで、全域リーダーとエリアリーダーにお伺いとお願ひとして、5月末日現在、35準地区の内、純増が11準地区です。このまま今期末を純増で来期に引き継げた準地区があれば、GATか、国際協会より今期地区ガバナーにアワードを送れるように出来ないか。

不老安正GATエリアリーダー

高橋世話人と気持ちは同じであり、こんな大変な状況の中でも会員増強で成果を上げた地区があればアワードを出したいが、中村全域リーダーの意見も聞きたい。

中村泰久GATエリアリーダー

純増した地区のガバナーを表彰する事は重要だと思う。国際会長感謝状であればすぐに出せるが、本部のカジット達に交渉をしてみたい。

2. 各複合地区の総括

MD330GMT コーディネーター L 伊賀保夫

今期 330GMT の運営は 8 複合 GMT 会議を受けて、MDGMT 会議を経て各準地区に情報共有をしてもらう形で進めてきた。主な内容は、空白地域の現状を把握して、新クラブや新クラブ支部の結成とその地域へのアクティビティの模索をしよう。2 点目は国際協会が推奨しているスペシャルティクラブ・支部の設立。3 点目は、家族会員の活用や、重要性を見直していこう。この 3 点を準地区へ伝えてきた。

結果として、330-A は退会者数は例年並みであるが、コロナ禍で入会者が少なく推移している事から大きなマイナスになってしまっている。しかし、現在までに 1 クラブの結成と 6 支部の結成を成し遂げている。更に今期中にもう 1 クラブの結成と 1 支部の結成も目指している。330-B と 330-C は入会者も少ないが、退会者も少ない事から大きな会員の動きにはなっていない。今後も退会者を食い止める努力をして行く。

今期の課題は大きく 3 つある。1 つは、複合の GMT 役員と準地区の GMT 役員の動きに一体感が欠けていた。準地区の GMT 役員が、複合地区の役員になっていないことがあり、情報の共有に課題があった。原因の一つは、複合コーディネーターが複合 GMT 人事に関わっておらず、準地区のガバナー人事で複合委員が選ばれる。今年度は、会員増強の功績のある方達であるが、高齢な方も多く、対面会議や Web 会議の出席率が低かった。2 つ目は、地区ガバナーの思いがうまくクラブに伝わらなかった。今期は地区年会費を減額して新入会員が入りやすくしたり、個人の負担を軽減して退会防止につなげて欲しかったが、クラブの年会費は変わっていないクラブが多かった。地区ガバナーからは、何のために地区会費を減免したのかとの声があった。3 つ目



にせつかく空白地域でのアクティビティの模索や元々クラブが過去にあった地域に新クラブを結成しようとする、地域の元クラブの重鎮との問題が出てきたり、コロナで自分の地域の立て直しに重点を置きたい等、うまく進まなかった。

次に、会員が退会するには理由があるが、なぜ退会したのかが、クラブ運営に生かされていない上に会員が減っていく事は仕方が無いという文化になろうとしている。例えば、亡くなってしまった会員の家族が家族会員として入会していれば会員を続けてくれるだろうし、人間関係が理由の退会でシニアと若手がうまくいかない場合など、どうしたら改善できるのかを改善しないと、いくら新入会員を獲得してもすぐ辞められてしまう。

その他、例会の頻度と例会開催時間や、アクティビティの内容の見直しと年会費の設定など若手から魅力のある設定に見直していく事も求められる。そして、地区ガバナーの思いが最も重要であり、誰がやっても同じだよとの元地区ガバナーからのお声もあるが、地区ガバナーの思いによって会員増強・LCIFの実績は大きく変わってくる。最後に新型コロナウイルスの感染状況を活動出来ない言い訳にしている。中村 PID のお話のようにコロナ禍でも会員を増やしている国や地域がある。コロナ禍の状況でも、みんなでライオンズを盛り上げていく事が必要で、ZOOMの活用であったりメンバーのモチベーションを上げていく工夫を地区ガバナーがしっかりクラブに語りかけていく事が大切だと思う。地区ガバナーやエレクトの中には家族会員不要論が根強い方がいる。しかし、家族会員も国際協会費を支払ってしっかり貢献している。もっと家族会員を巻き込み、参加しやすい例会とアクティビティの見直しをエレクトには伝えている。

MD331GMT コーディネーター L 鈴木善一

コロナ禍の中で出来る事を早い段階で伝える事が出来なかった。クラブ数・会員数や支部報告が示す数字に対して、地区の温度差が激しかった。6月末に向けて何らかの発信をして行く。クラブ間の温度差でも、地区役員を出す、地区ガバナーを出すというクラブは勢いを感じるが、それ以外は地方と都市部の差が大きい。また、支部を作れるクラブもあるし、準備まで出来ているクラブもあるが、クラブの重鎮から止められているクラブもある。反省ばかりだが、私自身も8複合の会議後に議事録を作成して情報共有に努めたが、その情報をもとにどう進めるのかの発信が出来なかった。次期は現ガバナーが GMT を拝命の予定であるから、資料を引き継いで行く。また、退会に関しては、入会して3年5年で、もう良いよねと退会する会員がいて、ライオンズに魅力を感じられなかったかと問うと、そんな事は無く魅力的な事は多いが、地元でも会えるし、別の会合でも顔を合わせるので、あえてライオンズの会員としてクラブにいる必要を感じないとの事であった。マイナス点ばかりの現状報告になったが、今期このまま引き継げれば来期につながると思う。

MD333GMT コーディネーター L 高橋克文

どの複合地区も同様かも知れないが、ガバナー協議会がこの一年間対面で出来ていない。MD333 は、ガバナー協議会の数日後に合同会議を開催してガバナーやコーディネーター、委員長など大所帯な会議が開かれる。しかし、今年は全てリモートで開催された事で、人同士の関係性が薄いままであった事が残念だった。複合 GMT 委員会もクラブ数・会員数の情報は提供して



きたが準地区の各クラブまでは浸透していかなかった。しかし、B地区は2つエクステンションがなされ、E地区はエクステンションに加えて5月末現在で100人を超える純増を成し遂げている。

MD335GMT コーディネーター L 川野浩史

アクティビティの中止が続く中、子ども食堂に送るお米を育てるために、久しぶりに田植えのアクティビティがあった。青空の下、たくさんのメンバーと汗を流し、楽しい思い出が出来ました。新入会員も参加していてライオンズクラブの魅力を満喫していた。

昨年度376名のプラスを誇り現在216のマイナスという状態である。それに危機感を持ったエレクトが2月のアワード以降に退会防止や家族会員入会などのキャンペーンを張り、対象となったクラブ会長には、メンバーが経営している産物を届けているということである。このことから、4・5・6月は次期と共同で繋いでいく事が重要では無いかと感じている。現地区ガバナーはどうかクラブキャンセルをとどめて、エレクトはその結果が自分の年に花開く。

当初の計画である空白地域のリストアップでは、有馬、城崎、十津川と温泉地域が空白地域になっている事から、任務上現地に入りたかったが、コロナの影響で大阪から出られなかった事が心残りである。そして、クラブキャンセルや合併の話に加えてリジョンの再編成も耳にしている。対面の例会が開催できない事からWebでの例会などで対応しているが、高齢な会員がなじめていないという現状もあるようだ。また、若手がアクティビティに特化した支部を結成する準備に入っているという報告も寄せられている。

MD336GMT コーディネーター L 真鍋 隆

地区ガバナーを終えてから4年間GMTコーディネーターをさせて頂いた。自分の会員増強や退会防止の経験を準地区で話してきているが、コロナの影響で今年は、A地区とC地区の2地区は回れたが他地区は回れなかった。準地区のコーディネーターには、会員種別を使った増強と家族会員の増強をお願いした。

現在A地区はプラス21、B地区がマイナス53、C地区はプラス54、D地区がプラス9ということで複合では唯一プラス31となっている。特にA地区には、古いクラブが多くあり変化に時間が掛かる。

コロナ禍で退会した居酒屋の女将、旅館の女将、レストランのマスターなど残念だが地区のクラブが、会員の事を良く理解して助け合ってくれた事が現在の結果につながっていると思う。私も飲食業で8割減の状態だが、近隣のクラブ会員が会議だけしてお弁当を持ち帰ってくれるというような嬉しい事が多かった。この経験も9県に伝えて行く。

大阪では飲食業の名簿を作ったという事だがその通りで、皆さんのライオンズ愛が出たと思っている。

支部については、長澤エリアリーダーのお陰もあり6つ結成した。支部会員数もプラス61とFWTとの共同がうまくいった。

マイナスが大きいB地区もガバナーが1クラブ結成して盛り返したいと進めている。

私はシカゴで閉会式を迎えたが、出国時はプラス200。帰国してみるとプラス66と1ヶ月で



140以上が減った。ガバナーの為、コーディネーターの為では無く、自分のクラブの為に会員増強、会員維持をもう一踏ん張りしてくれと伝えている。

MD337GMT コーディネーター L 佐藤武史

各地区のコーディネーターを集めての飲み会が一度も出来なかった。顔も分からないままでは進められず、福岡の事務局に集まりリモート会議の準備をした。その際、85歳くらいの GMT コーディネーターが秘書を連れてリモートの接続をしていた。次に高齢だったのは私。いざ、リモート会議を開催してみると参加者がいなかった。また、8 複合会議の報告も毎回行ってきたが反応は無かった。一番困ったのが空白地域の地図を作るときにやり方を電話で伝えながら依頼したが面倒くさいが多く時間がかかった。

今期難しかったのは、鹿児島でも沖縄でも長崎でも出かけていく事が好きだが、熊本県から出てはいけないと言われて全く出られなかった。

各地区のコーディネーターにどういう方法で計画するかと問い合わせたところ、C 地区と E 地区は報告があったが、他地区は頑張るという事だけであった。今月 E 地区だけがプラスに転じたのは、家族会員の見直しを進めた事が要因と考えられる。

昨年レオクラブ 4 つと支部クラブも多く出来た。この支部を次期は正クラブにして行きたい。

私の地区では、会員増強ビデオを制作して、高評価を得て浸透をし始めている。ぜひメディアにアクティビティの様子をメディアに提供して広報して行って欲しい。

3.その他

MD330GMT コーディネーター L 伊賀保夫

地区を越えてぜひ皆さんと共有したい事がある。

日本ライオンズの社員総会で、ここ数年会員増強の投げかけや会員数の推移などの情報が無いように思う。各地区各クラブが会員増強で頑張っている事について評価されているように思えない。社員総会で、ガバナーチームに対して強いメッセージを發して欲しい。

もう一つ、量と質の問題が語られるが、少ない会費のクラブでも、国際会費を払って活動している会員は同じではないか。入会の際に質の高いメンバーを入れるために会費を高く設定しているクラブがある。私は、先ず入って頂きやすい状況も必要である事を、社員総会で取り上げてもらいたい。

また、複合地区の中でも GAT 会議を頻繁に開催するように日本ライオンズの社員総会で言って欲しい。

次に、複合 GMT 委員会の構成について、準地区の GMT コーディネーターと委員会を開いてきたが、GMT と LCIF はハッキリと数字として表れるところなので、功労のあった方というよりは、今頑張れる人を指名する様に社員総会で言って欲しい。

3 点目は、自分の地区で次期の為の会員セミナーで講師をしたが、他の地区のセミナー内容なり、資料なりを情報共有出来るようにして行って欲しい。今後リモートや対面で開催される場合は、オブザーバー参加が出来たり、8 複合 GMT で情報を共有して来期の会員増強に役立てられ



るようにして行って欲しい。

MD333GMT コーディネーター L 高橋克文

私は 2018-2019 年度、一般社団法人日本ライオンズの専務理事だった。伊賀コーディネーターが感じているように、日本ライオンズの社員総会に現地区ガバナーが参加している訳であり、第一副地区ガバナーもエレクトとして参加するのだから、その機会を利用してしっかり情報提供なり情報共有なりして欲しいという事だと思う。私も専務理事をしていて歯がゆく感じていた事がそのことだった。

国際協会の組織の中にこの GAT は入っています。一般社団法人日本ライオンズの組織に GAT に関する事は含める事が出来ない。社員総会に GAT に関わる事はふれられないという事である。複合地区と国際協会の間に、一般社団法人日本ライオンズがどう入り込み、国際協会に認知してもらおうのかを考えてきたが、進展しないままに現在まで来てしまっている。

GAT 日本全域リーダー L 中村泰久

社団の中に GAT という国際協会のプログラムは存在しない。日本ライオンズという名称は国際協会からの使用許可は取っているが、ライオンズクラブ国際協会とは無関係です。

高橋コーディネーターが専務理事だったとき、総会時に国際協会の GAT から報告があるからと報告する時間を用意してくれていた。しかし、最近は十分な報告時間を頂けていない。理事会の中でも GAT に関連する議題も提案できない。なので、社団とは別に GAT 会議を開催して、地区ガバナーへ発信していく事を重ねていく。次期も機会を頂き総会の中で GAT に付いての報告が出来るように重ねて依頼をして行く。

次期は複合地区単位で GAT 会議を開催する予定であり、地区ガバナーを始めとして、準地区のコーディネーターやリジョン・ゾーンチェアパーソンも参加して開催する。

MD333GMT コーディネーター L 高橋克文

8 複合地区で GMT のセミナーなどの資料や情報を共有することについては、ライオン誌日本語版の協力を得てホームページに一部 GMT のコーナーを頂いている。

また、各複合コーディネーターから寄せられた資料はその都度、8 複合 GMT コーディネーターへメール配信もしている。昨年と今年の資料は私が保管しているので情報をお探しの時は声をかけて欲しい。

MD336GMT コーディネーター L 真鍋 隆

数年前にレオクラブの会員がライオンズの会員に含まれるようになるとの話があったが、その後進展はあるのか。

GAT 日本全域リーダー L 中村泰久

4 月の国際理事会の議題に上がった。結論はレオクラブの会員は国際協会費を納入していないので会員数には含めないという事であった。



畠山直子オセアル調整事務局員

インサイトを確認すると、本日現在 333-E 地区が 92 名の純増という実績で全国一です。この会員増強のノウハウと新入会員のケアを共有する事でコロナ禍でも各地区が会員増強へのヒントになるのでは無いか。

MD333GMT コーディネーター L 高橋克文

次期第 1 回 GMT 会議に、山川地区ガバナーにオブザーバー参加頂き、会員増強についての報告などしてもらおう事を検討されてはいかがか。

総括

GAT エリアリーダー L 長澤千鶴子

FWT は年度当初の 7 月 9 日に東京プリンスで対面会議を行う予定。GMT は経験豊かな地区ガバナー経験者で構成されている。FWT も発足当初 3 年は地区ガバナー経験者を入れていたが、今は地区ガバナー経験者は構成員に入れていない。これから地区ガバナーを目指す人達で構成させて頂いている。次期は目標の設定を含めて経験豊かな GMT と地区ガバナーを目指す FWT とを一緒に活動して行く事を提案したい。

FWT は地区に 1 つのエクステンションとエクステンションにつながるクラブ支部作り、そして、既存クラブを元気にするクラブ支部作りと目標を定めた。

GMT の目標が定まりましたら、ぜひ共同で会議を開催して進めていきたい。

GAT エリアリーダー L 不老安正

コーディネーターの皆さん一年間ご苦労様でした。今期の状況では、プラスに持って行く事は不可能に近いと思うが、ここ何年も続いている会員減をなんとか打破して行かなくてはならない。そこで、準地区のクラブで 10 名以下のクラブに状況を聞いてみると、会員増強についてはそっとしておいてくれと、増強する元気がなくなっている。10 名から 20 名のクラブは、家族会員を入れない。20 名から 30 名のクラブには家族会員が入っていて、会員維持もしているが、増強はしていない。40 名から 55、56 名のクラブは、会員増強に成果を上げている。地区ガバナーとゾーンチェアパーソンが一体となって、各クラブの状況を把握して、フォローする。そして情報を各クラブと共有して、クラブ運営に活力を与えていく事が求められている。

GAT 日本全域リーダー L 中村泰久

本当に一年間ありがとうございました。不老安正 GAT エリアリーダーは、日本 LCIF の立ち上げに尽力され、来期は日本 LCIF に専念されるために今期で GAT エリアリーダーを降りられます。複合コーディネーターも来期 3 人交代するという事です。今までありがとうございます。

来期の事については、国際協会に GAT の行動計画を作成し提出し、エリアリーダーとは



情報を共有した。地区ガバナーエレクトが国際協会に提出している地区目標を意識していくためにも、年に3回地区ガバナー地区目標進捗会議を開催する。

GMAプログラムについては6パイロット地区でスタートする。2022年7月からは、全ての会則地域、全準地区で一斉スタートするので、来期の第一副地区ガバナーと第一副地区ガバナーが選任した人との研修を8月から開催する。来期アレクサンダー国際会長のテーマは、WeServe、メッセージとして、心からの奉仕、グローバル重点目標も示された。

次期残るコーディネーターの皆さんも宜しくお願いします。

議事録作成 MD333GMT コーディネーターL 高橋克文

2020～2021 年度
第 2 回 336 複合地区 GMT コーディネーター会議(REAL/WEB)

日 時：2021 年 4 月 6 日（火）13:30～15:00

場 所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F

出欠：

役 職	氏 名	REAL	WEB
336 複合地区ガバナー協議会 議長	岡村 聖爾		欠
336 複合地区ガバナー協議会副議長(担当ガバナー)	酒井 公一	○	
336 複合地区 GMT コーディネーター	真鍋 隆	○	
336-A 地区 GMT コーディネーター	橋本 充好		欠
336-B 地区 GMT コーディネーター 336-B 地区 FWT コーディネーター(正)	上田 裕子		○
336-C 地区 GMT コーディネーター	夜船 博	○	
336-D 地区 GMT コーディネーター	金田 寛治	○	
336 複合地区ガバナー協議会 会計 (C 地区ガバナー) オブザーバー	池原 堅	○	



次 第

司会：336 複合地区 GMT コーディネーター 真鍋 隆

1. 担当ガバナー挨拶 (GMT・FWT 担当)

336 複合地区ガバナー協議会副議長

酒井 公一

2. 出席者紹介

3. 議 事

- (1) 地区ガバナー目標達成に向けて (下半期)
- (2) 本年度 GAT (GMT 分) 感謝状について
- (3) その他

4. 閉 会

336複合地区 GMT 報告書 (2021年6月末現在)

336複合地区GMTコーデイネーター 真鍋 隆
(単位：人)

会員数 ※6月末計	A地区		B地区		C地区		D地区		336複合地区	
	酒井 公一	金礪 毅	池原 堅	澤 辰水	酒井 公一	金礪 毅	池原 堅	澤 辰水	酒井 公一	金礪 毅
2015-2016年度	6,105	3,392	3,442	3,391	16,330					
2016-2017年度	6,171	3,143	3,376	3,200	15,890					
2017-2018年度	6,013	3,069	3,340	3,042	15,464					
2018-2019年度	5,793	2,921	3,212	2,918	14,844					
2019-2020年度	5,518	2,775	3,069	2,820	14,182					
2020-2021年度	5,414	2,630	3,003	2,753	13,800					
前年度期首比	-104	-145	-66	-67	-382					

(単位：人)

四半期会員増強計画 期間：2020年7月1日～2021年6月30日

	A地区		B地区		C地区		D地区		336複合地区	
	酒井 公一	金礪 毅	池原 堅	澤 辰水	酒井 公一	金礪 毅	池原 堅	澤 辰水	酒井 公一	金礪 毅
7月～9月	50	95	100	57	91	107	40	77	281	336
退会見込み者数	40	109	29	51	77	59	50	51	196	270
10月～12月	50	92	100	29	91	49	50	47	291	217
退会見込み者数	40	70	29	60	77	40	45	39	191	209
1月～3月	50	77	100	29	91	26	50	27	291	159
退会見込み者数	40	88	29	54	77	33	40	54	186	229
4月～6月	40	131	100	50	93	29	40	37	273	247
退会見込み者数	60	232	29	145	79	145	44	111	212	633
会員増強計画 計	190	395	400	165	366	211	180	188	1,136	959
退会見込み者数 計	180	499	116	310	310	277	179	255	785	1,341
会員純増目標 合計	10	284	※101	1	396					

※チャーター45人を含む

会員増強計画に対する方法

A地区ガバナー 酒井 公一	今年度の会員増強は190人、退会者数180人と考えています。コロナの影響もあり苦戦しておりますが、GMT,FWT委員長及びコーデイネーターと共に年度未迄、総力で頑張りを、なんとしても6月末にはプラス10名を達成します。
B地区ガバナー 金礪 毅	ASKI運動の徹底、新会員キットの配布、会員増強セミナーを実施し、正会員・クラブ支部増強を促し、退会防止のお願いをする。
C地区ガバナー 池原 堅	地区会員増強について今年度366名、退会者見込310名として、内訳は新クラブ (ポ・シムテイツ) 3、支部クラブ 3、各クラブ 期首代議員の新会員、女性会員50名) を四半期ごとに目標を設定GATコーディネーター、RC、ZC中心で諮問委員会に参加し周知徹底を図っている。
D地区ガバナー 澤 辰水	今年度はコロナの影響で退会者が増えるかもしれないが、各クラブのご意見を聞き、1人でも多く会員増強できるようにアクティビティを通じて一般の方にもライオンズクラブをもっと知っていただければと考えております。
336複合地区 GMTコーデイネーター 真鍋 隆	各ガバナーの目標を達成する為に支部作りや女性会員増強にチャレンジして下さい。又、退会防止には「会員種別」を活用し、ガバナー・地区役員・地区委員・クラブ会長・クラブ委員長が責任をもって、クラブの為に会員増強・維持に真剣に取り組んで下さい。

第4回8複合地区GSTコーディネーター会議 議事録

- 開催場所 ZOOMによるWEB開催
 - 開催日時 2021年2月26日(金) 13:00~15:00
 - 出席者 別表の通り
 - 開会挨拶 世話人 L.浜島清美(MD334)よりご挨拶
 - 第3回8複合地区GSTコーディネーター会議議事録の確認
(議事録作成者 L.江草長史(MD335))
 - 第4回8複合地区GSTコーディネーター会議議事録作成人の指名
(議事録作成者 L.大西宏治(MD337))
 - GATEエリアリーダー挨拶と報告(L.鈴木警男LCIF理事)
 - 日本LCIFとして7ブロックに分かれた障がい者フットサル大会を5~6月予選、11月決勝の開催⇒GSTとして声かけ
 - 各クラブから支援をいただく。
 - 議長・ガバナーにGSTからお願ひする。
- GAT日本全域リーダー挨拶と報告(中村泰久PID)
- MyLionの更なる推進
 - アクティビティが滞っている中での奉仕の提案
- ### 7.協議事項
- 1) [現在・過去・未来 ライオンズのアクティビティ]
 - ・今までに感動したアクティビティ
 - ・コロナ禍で行っているアクティビティ
 - ・これからのアクティビティ提案
- L.井田渉 (MD330)
- ・2月までのアクティビティ実績率⇒日本47%、オセアラル64.4%前年並み
 - ・全世界68.2%前年以上
 - ・例会偏重による弊害
 - ・例会のやり方の検証が必要
- L.松浦淳一 (MD331)
- ・感動したアクティビティ⇒災害支援 1日アクティビティとして焼鳥を1500名×3本ずつ提供
 - ・薬物乱用セミナー 5月開催
 - ・アクティビティ提案 フォローアップによる退会防止
- L.浜島清美 (MD334)
- ・ライオンズクラブというブランドの確立
 - ・ALL日本でアクティビティを提案、推進する
 - ・ベトナムに信号機を贈る⇒子供たちの目の輝きが忘れられない
 - ・ピアノ発表会の代わりにはピアノ演奏
 - ・アクティビティの共有⇒GSTの中で出来れば……………
- L.藤本幸嗣 (MD336)
- ・島根・鳥取の県ぐるみでコロナ対策
 - ・子供たちへのアピール
 - ・糖尿病研修の啓発
- L.江草長史 (MD335)
- ・4人の地区コーディネーターにアンケート
 - ⇒献血以外は出来ない
 - ⇒金銭アクティビティが増えている⇒小児がんに寄付
 - ⇒コロナ病床増加の為⇒姫路市に寄付
 - ・市民と一緒に出来るアクティビティ
 - ・中古メガネの回収アクティビティ
 - 前任者のL.団の流れで甲南大学と協力
 - ・和田山LCは6月に医療従事者と市民に対して、花火を打ち上げる。
- L.大西宏治 (MD337)
- ・感動した奉仕活動⇒災害支援の泥かき活動により、若手・中堅会員の感動に繋がり、ライオンズクラブの素晴らしさを体感でき、意識向上に繋がった
- L.大高宣靖 (MD333)
- ・ライオンズクラブで感動
 - ⇒白い杖プレゼント→アメリカハナイー全世界に拡大
 - ⇒北里大学大村智教授のメクザン無料配布→LCIF
 - ⇒ハワイ国際大会における山田国際会長の就任
 - 宇田敏彦ヤマトのBGMの中に重態マーチを流す→日本人の能力を発揮出来る様に
- 浜島世話人からの発表

- ①ALL日本で出来るアクティビティをGSTから発信したい
 - ②感動のストーリーの発表⇒GSTとして啓蒙
- ・WEB会議を活用した例会やアクティビティの実践
- L.井田渉
- ・上からやらされる
 - ・奉仕のストーリー⇒GSTとしてライオン誌に特集として掲載してもらえないか？
- L.大高宣靖
- ・GSTはコーディネートするのが仕事
 - ・次期に指針を伝える
 - ・マーズ局長
- ・ALL日本で出来る奉仕のアイデア
 - ・国際レベルの5つの枠組みの中の提案
 - ・GSTの活動として、ニュースレターみたいに出す
- 中村PID
- ・情報提供
 - ・GATの役割⇒地区をサポート
 - ・フットサル大会⇒GATからの指示ではなく、地区で判断を
- L.浜島清美
- ・1つのクラブで出来ないアクティビティをみんなでやろう！⇒ALL日本
- 中村PID
- ・GSTが日本LCIFにサポートは慎重に

2) MyLionのアカウントと報告状況

- L.井田渉
- ・A・Bは50%前後 Cは90%以上
 - ・難しいクラブは個別のフォロー
- L.松浦淳一
- ・後日
- L.大高宣靖
- ・後日
- L.浜島清美
- ・資料にて報告
- L.江草長史
- ・A-93% B-75% C-65% D-74% 全体で75%
- L.大西宏治
- ・福岡-48% 大分・宮崎-61% 長崎・佐賀-61% 鹿児島・沖縄-43% 熊本-45% 全体で52%

○浜島世話人

- ・MyLionの推進を今一度アプローチ
 - ・Insightsの活用
- 岡山事務局
- ・複合・地区の役員・コーディネーターを対象に、Insightsの活用のセミナーを開催
- 3) グローバル会員増強プログラム(GMA)について
中村PIDより画面上のパワーポイントを用いて説明
- 8.その他
- マーズ局長
 - ・環境保全⇒グローバル・ニーズ評価フォーカスグループについての説明⇒GSTへのお願ひ
 - ・アシリテーター任命⇒メイン:井田 サブ:浜島・江草・大西
 - ・フォーカスグループデイスカッション参加者の募集(100名)
 - ⇒GSTから声かけ⇒各MD15~20名ずつセレクト(レオを含めて)
 - 3/15までに参加者リスト(名前、地区、クラブ名、メールアドレス)をMD334事務局・浜島世話人宛ての送る

9.各コーディネーター報告

- L.井田渉⇒ZC活用
- L.松浦淳一
- L.大高宣靖
- L.浜島清美
- L.江草長史⇒地域ニーズ調査完結とアドボカシー
- L.大西宏治⇒献血と献血の推進
- 中村PID⇒各クラブに情報発信とMyLionでの報告を更なる推進を

議事録

会議名	2020-2021年度ライオンズクラブ国際協会 第5回全日本FWT会議		
開催日時	2021年5月26日(水) 13:00~15:30	開催方法	Zoom会議
出席者	GATエリアリーダー(FWT担当) L長澤 千鶴子 顧問(特別アドバイザー) L高橋 かず子		
	複合地区FWTコーディネーター	複合地区FWT副コーディネーター	
330	L阿部 かな子	330	L鳥居 真弓
331	L奥山 久美子	331	L設楽 幸子
332	L吉方 裕子		
333	L伊藤 和子【東日本世話人】	333	L若柳 綾子
334	L村木 峰子		
335	L笹部 美千代【西日本世話人】	335	L秋本 久美子
336	L有本 みどり	336	L鶴岡 恵美
337	L末松 久子		
作成者	332 複合地区FWTコーディネーター L吉方 裕子		
司会進行	L伊藤 和子【東日本世話人】		
会議概要 (次第一号変更あり)	<p>1. 開会</p> <p>2. 開会挨拶 (L伊藤 和子)</p> <ul style="list-style-type: none"> GATエリアリーダーよりご挨拶 (L長澤 千鶴子) 顧問よりご挨拶 (L高橋 かず子) <p>3. 複合地区副コーディネーターによる現況報告</p> <p>4. 複合地区副コーディネーターによる補足や感想など</p> <p>5. GATエリアリーダー報告 (L長澤 千鶴子)</p> <p>6. 質疑応答など</p> <p>7. 閉会挨拶 (L笹部 美千代)</p> <p>※ 会議内容の詳細についてはp.2~8の通り。</p>		

議事録署名人：333 複合地区FWTコーディネーター/FWT東日本世話人

伊藤 和子

会議内容

1. 開会	* 司会による出席者の読み上げと定足数の確認、議事録署名人と作成人の指名。	
2. 開会挨拶	<ul style="list-style-type: none"> GATエリアリーダーよりご挨拶 顧問よりご挨拶 <p>東日本世話人 L伊藤 和子</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年の7/13に行われた名古屋での第1回全日本FWT会議で顔合わせをしたことが懐かしく思い出される。その際に役割分担として奥山LにWeb会議を担当して頂いた。コロナ禍により、その後ずっとZoomでの会議となっている。 本日、各コーディネーターには現況報告とFWTへの想いを語って頂きたい。 今期は笹部Lと共に初めて東西の世話を拝命したが、行動力のある笹部Lにも引っぱり張って頂き、長澤エリアリーダーのご指導の下、コロナ禍にも関わらず成果が出たことに感謝したい。 各コーディネーターとは画面上での対話が主だったが、この体験も懐かし思い出になるのではないかと思う。 本日の会議には、来期もお世話になるOSEAL調整事務局の奥山直子さんにも参加頂いている。 ※奥山さんより自己紹介あり。 330-A地区から阿部かな子コーディネーターが第二副地区ガバナリー予定者となった。おめでとうございます。 これまでに阿部Lを含めて20名の女性ガバナリーが誕生することとなり、女性リーダーが育っていると思う。 コロナ禍の中で成果を出して下さった各コーディネーターの皆様にご挨拶。 来期の複合地区のFWTはスペシャルクラブを兼任し、名称も「スペシャルクラブ・FWTコーディネーター」となる。その旨は5/7付で各複合地区の協議会議長宛に送付済み。 今期の進捗状況を伺ってから、後ほど来期の話をしたい。 阿部かな子コーディネーター、おめでとうございます。 335地区は333地区と共に支部の数が多いが、今期はあまり結成できず残念だった。もっとガバナリーの協力を頂ければよかったという反省がある。 今期で任期を終えるコーディネーターの皆様、引き継がれる皆様、今後ともFWTの活動へのご協力をお願いしたい。 	
GATエリアリーダー L長澤 千鶴子	<ul style="list-style-type: none"> 330-A地区から阿部かな子コーディネーターが第二副地区ガバナリー予定者となった。おめでとうございます。 これまでに阿部Lを含めて20名の女性ガバナリーが誕生することとなり、女性リーダーが育っていると思う。 コロナ禍の中で成果を出して下さった各コーディネーターの皆様にご挨拶。 来期の複合地区のFWTはスペシャルクラブを兼任し、名称も「スペシャルクラブ・FWTコーディネーター」となる。その旨は5/7付で各複合地区の協議会議長宛に送付済み。 今期の進捗状況を伺ってから、後ほど来期の話をしたい。 阿部かな子コーディネーター、おめでとうございます。 335地区は333地区と共に支部の数が多いが、今期はあまり結成できず残念だった。もっとガバナリーの協力を頂ければよかったという反省がある。 今期で任期を終えるコーディネーターの皆様、引き継がれる皆様、今後ともFWTの活動へのご協力をお願いしたい。 	
顧問 L高橋 かず子	<ul style="list-style-type: none"> 阿部かな子コーディネーター、おめでとうございます。 335地区は333地区と共に支部の数が多いが、今期はあまり結成できず残念だった。もっとガバナリーの協力を頂ければよかったという反省がある。 今期で任期を終えるコーディネーターの皆様、引き継がれる皆様、今後ともFWTの活動へのご協力をお願いしたい。 	
334	複合地区コーディネーターによる現況報告	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により色々なことが中止となる中、リモート会議を6回行った。6/19に第7回を計画しているが、感染拡大状況

		<p>よっては、これもリモート会議となる予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部は1つ結成したが、古本募金が振るわなかった。 ・古本は安すぎるとの男性会員の声があった。女性会員は小さな事にこつこつ取り組むのが得意分野だと思うので、もう少しがんばってほしい。 ・外貨の換金が難しい地域が多いため、副コーディネーターの弓矢Lが取りまとめで換金し、昨年同様に寄付した。 ・ヘアドネーション(以下HD)について、提供者はいるが髪を受け入れが禁止されており、来期に移行する可能性がある。 ・この1年では、少人数で小回りがきくため支部が活躍した。 ・今期結成した支部は2つで、さらに幾つか結成する予定。 ・古本募金については、各クラブへの浸透が足りない。 ・コロナ禍でも取り組める活動として、地域の各小学校へのアプローチをしている。来期にかけて増えることに期待。 ・発売にHDを取り組んでいる。小児がんへの認識も深まっている。 ・D地区ではシャンプーやリンスを購入してウィッグ作成の費用とする、新たな小児がんへの取り組みが始まった。 ・草の根セミナーを各地区で予定していたが、コロナ禍により開催は難しい。 ・地区によりWebの活用の仕方に差がある。これからの活動のキーポイントになると思う。
335	L笹部 美千代	<ul style="list-style-type: none"> ・今期は支部を7つ結成した。来期持ち越しの支部もある。 ・古本募金は色々なところで協力して頂き、今後は自主的に活動して頂けるよう、情報を伝えることを念頭に活動した。クラブ以上に一般の方から多く本が集まった。 ・外貨の両替が困難な地域があり、協力を得られない場合がある。協力を得ても、コロナ禍で地域をまたぐ移動ができず、一部が換金されていない。 ・HDの受け入れが禁止されたため、一部は報告されずに保管してある。 ・草の根セミナーはA・C地区で行ったが、B地区はコロナ禍で開催できなかった。
336	L有本 みどり	<ul style="list-style-type: none"> ・長澤エリアリーダーの「立ち止まらず前進」という言葉が心げ、活動に取り組んだ。 ・コロナ禍により地区コーディネーターと対面でコンタクトできないことが大変だった。Web会議を行い、ある程度は伝えられたが、会うことが一番良いと感じた。 ・目標には達しなかったが支部を4つ結成し、来期も2つは結成できる見込み。 ・古本募金がなかなかクラブに浸透しなかった。 ・コロナ禍により海外旅行の機会が減り、外貨の獲得が難しく

330	L阿部 かな子	<p>い。換金できない地域の分を預かり換金した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HDの取り組みが遅れていたが、ガバナーの方たちの協力により、リジョンの合同事業として小児がんの支援のための本が作成されるなど、FWTの活動が浸透してきて嬉しい。 ・FWTのことを知って頂きたいと、草の根セミナーは色々タイプアップして行った。 ・支部を5つ結成し、今後さらに2つ結成予定。 ・古本募金について、前回たくさん協力して頂いたため今回は控えめだが、また増えていくと思う。 ・外貨は6月にA地区が取りまとめで換金する予定。 ・コロナ禍の影響、特に緊急事態宣言により、セミナーを開催することは困難であった。 ・各地区のガバナーの方と同じ情報を共有し、協力して頂けると、活動しやすくなると思った。 ・顔を合わせて話をするのが一番良いが、コロナ禍にはオンラインを活用して情報共有するのも良いと感じている。 ・コロナ禍を会えないことの理由としてはダメだと考え、Zoom会議の開催を援助したいと伊藤世話人に申し出て、役を与えて頂いたが、皆様のご協力により無事に第5回まで行うことができた。感謝している。 ・「クラブ支部の手引き」を渡したり、会則の相談に乗ったり活動した結果、3つの支部が結成された。地区コーディネーターが知らないところで結成されるなど、予定を上回る成果となり、コロナ禍でもやる気になれば結果が出ると感じた。 ・元FWT副コーディネーターの方が熱心にPRして下さり、C地区を中心に古本募金が集まった。 ・少額ながら外貨も集まり、ライオンズらしく小さな数字を積み重ねていく第一歩だと感じている。 ・HDが増えてきて、活動が浸透してきたと実感している。 ・草の根セミナーを3回行った。今期から女性会長を集めたセミナーを開催しており、これからZoomによる最終報告のためのミーティングも計画している。 ・女性会長の会を今後も継続していきたい。活動をふくらませて女性のリーダーを作っていきたい。 ・全ての活動をまんべんなくできて良かった。 ・クラブ支部は結成できず残念。 ・古本募金については活動が浸透してきており、各地区から均等に集まっている。B・D地区ではポスターを作成して、クラブだけではなく地域を巻き込んで取り組んでいる。 ・外貨を換金できる場所が限られるため、換金できない地域は地区のFWTコーディネーターが換金できる場所まで直接足を運んだり、紙幣のみを集めたりするなど多種多様な形で
331	L奥山 久美子	
332	L吉方 裕子	

		<p>活動に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HDについても各地区でがんばって取り組めたとする。 ・F地区でも髪が集まっているようだが、報告として上がってこなかったため、6月までもう少し増えようと思う。 ・草の根セミナーは地区で小さく開催しているが、今後はもっと広げていきたい。 ・今期はZoomで5回、FWT会議を開催した。6/9には新旧のFWTコーディネーターに参加して頂き、初めて引き継ぎ会を行う予定。次期への準備をしたいと思う。 ・複合地区の中期改革委員会に参加し、意見交換する予定。 ・HDをきっかけにがんへの関心が高まり、髪の抜けた方へ帽子を作るなど新たな活動が始まっている。 ・332複合地区は特に組織作りが遅れているが、この度頂いた組織図を使ったところ良い手応えが返ってきているので、今後の組織作りに活かしたい。
333	L伊藤 和子	<ul style="list-style-type: none"> ・今期は13支部の結成を目標としていたが、4月末までに10支部が結成された。 ・「クラブ支部からエクステンション」ということで、E地区の支部から新クラブが結成された。 ・これまでに結成できなかつた地区で多くの支部が結成され、理想的な形になってきたと思う。 ・古本募金については、コロナ禍により例会が開催されない時期が長かったため、理解して頂く機会が少なかった。成果の出ている地区の活動を参考にさせて頂きたい。 ・今年、海外に行けないので持っていた外貨を寄付しようという地区もあり、多くの外貨が集まった。 ・コロナ禍により恒例となっていた一泊研修会を開催できず、FWTの4つの目標の浸透がなかなか進まなかった。 ・草の根セミナーについては、A地区では開催できた。その他の地区でも予定していたが、コロナ禍により中止となった。来期も計画を早めにしていきたい。 ・支部の結成は目標に至らなかったものの、コロナ禍ということとを踏まえ、よい結果だと考えている。
4. 複合地区副コーディネーターによる補足や感想など		
335	L秋本 久美子	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にできるアクティビティを各地域で見つけているように、335複合地区でも継続している活動がクラブに浸透してきている。さらに盛り上げていくためがんばりたい。
336	L鶴飼 恵美	<ul style="list-style-type: none"> ・複合地区は準地区に支えられていると実感した年となった。ガバナーの理解が深い地区は活発に活動し、熱意がある。理解が得られないと連絡が停滞してしまう。FWTへの理解を持ってコーディネーターを選んで頂けるとありがたい。

330	L鳥居 真弓	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年の11月にスペシャルオリンピックスが広島で開催されるが、レモネードスタンドなど、そちらに協力したい。 ・332-E地区のHDのポスターが可愛くて良いと思った。 ・FWTの皆様と相談し、アイデアを頂きながら、今後の活動に取り組んでいきたい。 ・B地区ではFWTの活動が全く浸透していなかったのが初めは不安だったが、長澤エリアリーダーの熱意などに感動したことで活動に取り組めた。 ・活動するに当たっては、地区ガバナーや複合地区でのご理解が中々得られない中で、コーディネーター阿部Lのご援助や励ましにより、HDや古本募金の呼びかけができるようになった。 ・支部をもう1つ、6月までに結成できそうなので、いい報告がしたい。
331	L設楽 幸子	<ul style="list-style-type: none"> ・複合地区の活動はコーディネーターの奥山Lに多くを頼り1年間で過ぎてしまった。地区のGSTコーディネーターを兼務したため、地区の活動について実情は理解している。 ・支部の結成を1つ予定していたが、コロナ禍により打ち合わせなどが難しかった。地区では来期には結成したいという気持ちがある。 ・地区では委員会の有無など、その年の意向によって体制が異なるが、A地区ではGLT・GMT・GSTが一緒に動くことで活動が強化されているように、特に動きづらさという点はないと思う。 ・ジェンダーフリーで、男女の別にこだわらず協力していきたいから、FWTはとて良い活動になると思う。
333	L若柳 綾子	<ul style="list-style-type: none"> ・E地区ではエキスポと称する活動を10月に開催した。これはGATに含まれるGLT・GMT・GST・FWTが同日に報告や活動の方針などを伝えるという企画で、理解を深める意味で大変評判が良かった。来期も計画されている。連携して活動することについて冊子を配布し、見える化を図った地区があった。クラブ、支部結成の一助となったように感じた。
5. GATエリアリーダー報告		
GATエリアリーダー L長澤 千鶴子		<ul style="list-style-type: none"> ・8複合地区それぞれの報告を聞き、コロナ禍においては十分な成果が出たと感じた。 ・年度内に支部を作りたいという話があったが、慌てても良い結果は付いてこないで、来期があることも踏まえ、急がずに取り組んでほしい。 ・FWTの活動は全日本から複合地区、地区へと情報が伝わるが、地区の活動はガバナーと共有することを認識し、一緒に

	<p>やっていくということを周知してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今期で役割を終えるコーディネーターもいるが、これまでのお力添えに感謝している。 ・「目指すのは全てのジェンダー、全ての世代による We Serve」 ・来期も GAT4 チームは協力していく。特に GMT とは会員増強について上手に連携できそうなので、大きな目標に向かって頑張っていけると信じている。 ・クラブで1つの支部作りという目標を5年前に掲げたとき、達成は難しいと思われていたが、それから240支部が誕生した。年数を重ねて取り組みれば、1クラブ1エクステンションもできると信じている。 ・支部作りには、クラブ会員増強とクラブエクステンションの2つの方向性がある。 ・アクティビティについては、HD や古本募金など、提案してきた活動が定着してきたので、引き続き取り組みたいと思いたい。各クラブが全てを行う必要は無く、それぞれがやれそうなことをして頂きたい。 ・クラブも支部も家族会員も、数合わせになっってはならないと思う。大変だとは思いますが、しっかりと時間をかけて、確実な会員増強をして頂きたい。
6. 質疑応答など	
L 吉方 裕子	<p>Q：レモネードスタンド活動は継続されるのか教えてほしい。</p> <p>Q：古本募金について、申し込む際に2010年以前の本は送らない旨をホームページで確認されるようになったが、逐次複合地区から各地区にご案内しなくてもよいのか。</p>
東日本世話人 L 伊藤 和子	<p>A：レモネードスタンドは全日本ではなく各地区で行っている活動なので、その地区で取り組んで頂けたらと思う。</p> <p>A：古本募金については、資料を配布してあるので、そちらを参照してほしい。</p>
L 吉方 裕子	<p>・以前の資料とは内容が変わっているため、案内の必要性の有無を確認したかった。</p>
L 奥山 久美子	<p>・古本は送るときに画面を確認して頂ければよいと思う。</p>
GAT エリアリーダー L 長澤 千鶴子 L 有本 みどり	<p>・336複合地区は古本募金に関して素晴らしい取り組みをしているので、お手本となるよう説明してほしい。</p> <p>・私立の幼稚園や小中高校、大学へ説明に行き協力を得た。</p> <p>・公立の学校は教育委員会などを通す必要があるため、時間がかかると思う。</p> <p>・会員だけではなく、社会全体で子どもを支援するという主旨だと思ふ。内閣や証券会社がSDGsとして古本募金に取り組んでいるので、それらを参考にするのも良いと思う。</p> <p>・「ボックス」を地区コーディネーターに渡し、キャビネット</p>

L 村木 峰子	<p>会議で活動のアピールをお願いしたいと考えている。</p> <p>Q：来期から FWT の名称が変わることについて、もう一度教えてほしい。</p>
GAT エリアリーダー L 長澤 千鶴子	<p>A：「スペースチャリティクラブ・FWT コーディネーター」となり、その旨は各複合地区の協議会議長宛に送付済み。できれば地区でも統一してほしいという気持ちもあるが、ガバナナーの皆様のお考えもあるため無理は言えない。</p> <p>※奥山さんより事務連絡等あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/6に17名のライオネス支部が結成されたことを補足。
L 阿部 かな子	<ul style="list-style-type: none"> ・奥山さんからの連絡にあった、クラブ申請と MyLCI 情報の再確認を各コーディネーターにはお願いする。 ・来期は各地区のガバナナーにやる気を出して頂けるよう、9月いっぱいまでに8複合地区を訪問しようと考えている。 ・1クラブ1エクステンションを目指し、これまでに失った会員を5年かけて取り戻していきたい。 ・クラブや支部を数合わせのように慌てて作っても、すぐ人数が減ってしまうことがあるので、焦らずに、しっかりと時間をかけて確実な活動をしようと思う。
7. 閉会挨拶	
西日本世話人 L 笹部 美千代	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも Zoom 会議を設定して下さる奥山 L に感謝している。 ・OSEAL 調整事務局の奥山さんから色々な情報と今後の課題を頂き、嬉しく思った。 ・今期の初めに長澤エリアリーダーから発された4つの目標を目指し、全日本がひとつになって走ってきた。コロナ禍の中で、各複合地区、各地区が事情を抱えながらも、委員会などの協力もあって成果が出ていると思う。 ・FWT にいたからこそ、たくさんの学び機会があり、友愛が生まれ、チーム力の素晴らしさを感じることができた。 ・両輪として活動した伊藤世話人に感謝する。 ・来期要職を務める阿部 L に仲間としてエールを送る。 ・一年間、FWT の皆様と共に活動できたことに感謝する。

議事録

会議名	ライオンズクラブ国際協会 2021-2022 年度 第1回全日本スペシャルティクラブ・FWT 会議		
開催日時	2021年7月9日(金) 12:00-15:30		
場所	東京プリンスホテル		
出席者	GAT 日本全域リーダー/元国際理事	L 中村 泰久	
	GAT エリアリーダー(SPC・FWT 担当)	L 長澤 千鶴子	
SPC・FWT 顧問(特別アドバイザー)	L 高橋 かず子		
	OSEAL 調整事務局 GAT 担当	島山 直子	
作成者	複合地区	複合地区	
	SPC・FWT コーディネーター	SPC・FWT 副コーディネーター	
	330 L 小川 晶子	330 L 島居 真弓	
	331 L 設楽 幸子	331 L 小野内 雅子(欠席)	
	332 L 吉方 裕子	332 L 渡辺 エリ (欠席)	
	333 L 伊藤 和子【世話人】	333 L 若柳 綾子	
	334 L 村木 峰子	334 L 弓矢 直美	
	335 L 鮎江 敏子	335 L 秋本 久美子	
	336 L 有本 みどり【世話人】	336 L 鶴飼 惠美	
	337 L 古賀 京子	337 L 窪田 光子	
	336 複合地区 SPC・FWT コーディネーター	L 有本 みどり	
336 複合地区 SPC・FWT 副コーディネーター	L 鶴飼 惠美		
司会進行	L 伊藤 和子【東日本世話人】		
会議概要	1. 開会		
	2. 挨拶		
	3. 2021-2022 年度 GAT 活動方針		
	4. 2021-2022 年度 SPC・FWT 活動方針 ◇スペシャルティクラブ・プログラムとは		
	5. 330-337 複合地区コーディネーター、副コーディネーターの自己紹介		
	6. 質疑応答、意見交換		
	7. まとめ		
	8. 閉会挨拶		

※ 会議内容の詳細については P2 への通り

議事録署名人：333 複合地区 SPC・FWT コーディネーター/東日本世話人

伊藤 和子

会議内容

(1)開会

※ 司会による出席者読み上げ。

議事録署名人・L 伊藤和子と作成人の指名・MD336。完成時期 10 日後の確認。

(2)ご挨拶

◆GMT 日本全域リーダー/元国際理事 L 中村 泰久
今期から、スペシャルティクラブ・FWT と名称変更しました。
スペシャルティクラブは 2017 年に開始されたプログラムで、これまで 4 年間存在した
が非常に弱い。

前期の状況は会員数が 4,690 名減、66 クラブが解散という大変厳しい状況であった。
これは、コロナ禍のみが原因とは考えられない。

インドでは、コロナ禍の中でも 30,000 人増加している。

今期は、GAT として本気であるので協力をお願いしたい。

◆GAT エリアリーダー(SPC・FWT 担当) L 長澤 千鶴子
東京では緊急事態宣言が 12 日から発令されるが、どうしても熱意を伝えたいので
今回は対面でのリアル会議とした。

東の世話人は引き続き L 伊藤に、西の世話人は新たに L 有本をお願いしたい。
L 小川に 330 のコーディネーターをお願いし、受話いただいた。

◆SPC・FWT 顧問(特別アドバイザー) L 高橋 かず子
介護の日々の中出席でき、皆さんとお会いできて嬉しく思う。

◆全日本 SPC・FWT 東日本世話人 L 伊藤 和子
世話人とは、情報の伝達係りでもとめ役と認識している。
昨年 7 月にコーディネーターの皆さんと名古屋で会い、纏まって行こうと誓い合った
が、以後はずつと ZOOM で会議を続けてきた。
この度新任の西の有本世話人と一緒に務めて参りたい。

◆全日本 SPC・FWT 西日本世話人 L 有本 みどり
昨年 1 年間は世話世話人の指示に従っていたが、言われた事をひっくり返せば皆さん
にお伝えする事が出来ると思う。
伊藤世話人と共に、1 年間頑張ります。

(3)2021-2129GAT 活動方針 GAT 日本全域リーダー L 中村 泰久

GATの役割は、地区目標達成のためのサポート役である。
MD コーディネーターは、協会・GATの方針を十分理解し、地区コーディネーターと情報共有する事が大きな役目である。

【GATの大きな目標】

- ① 会員増強 ② 会員の維持 ③ 新クラブの結成 ④ インパクトの高い奉仕活動
- ⑤ リーダーの発掘と育成 ⑥ キャンペーンに向けたLCIFの支援 である。

地区目標について

- ① ガバナナーの掲げる会員増強数・退会者の目標数
- ② MyLionにおけるクラブ奉仕報告率%
- ③ 地区における研修報告
- ④ LCIF100 キャンペーン目標達成の方策

上記、ガバナナーの掲げる地区目標の達成をサポートするのが、我々GAT チームの大きな役目である。

その為には、

- ① 先ず、MD議長・地区ガバナナーと良好な関係を維持する
- ② 地区コーディネーターとの連携を、しっかり図る
- ③ MD・準地区レベルで、GAT会議を最低年4回実施する
- ④ 年3回の進捗状況報告を、必ずMD会議を実施の上で提出する

【各チームの役割】

<GLTコーディネーター>の大きな役割は、セミナー講師の発掘と育成、リーダーの発掘と育成である。

<GMTコーディネーター>の大きな役割は、会員増強、新クラブの結成である。
地区コーディネーター・ZCと密な関係を作り、クラブに寄り添った活動をしていただきたい。

ガバナナー・ZC・キャビネットと連携を取り、解散クラブ・クラブ員のフォローアップ。

<GSTコーディネーター>の大きな役割は、協会が掲げている奉仕の中心、糖尿病・視力保護・食糧支援・環境保護・小児がんの奉仕活動を進める。

MyLionの奉仕報告率をアップする。

LCIF交付金を使用して、質の高い奉仕活動を行う。

<SPC・FWTコーディネーター>の大きな役割は、先ずインパクトの高い奉仕活動からの会員増強。

毎年退会者の多い家族会員に、奉仕活動に参加していただく。

今期、スベシヤルティクラブ・FWTに名称を変更→準地区(ガバナナー)にも名称変更を依頼済み。

同時に、スベシヤルティクラブ・コーディネーターの任命も依頼済み。

MD コーディネーターは、準地区コーディネーターと共に必ず複合議長・ガバナナーの了解のもとに動き、尽力する。

支部結成は大きな成果を出しているが、新クラブの結成に尽力していただきたい。
11-12月にかけて、中村リーダーと長澤リーダーが各MDを訪問し、各地区リーダーと本音で語り合い会員純減を防ぎたい。

(4) 2021-2022年度SPC・FWT活動方針 GAT エリアリーダー L 長澤 千鶴子

※添付PP資料有り

今期の目標は「クラブ支部制度を利用した健全なクラブ運営」と「地区に一つのクラブエクステンション」とする。

前期66クラブが解散、8クラブがエクステンション、これが逆にならなくてはいいくないと考える。

2015年にスタートしたFWTは、2020年2月に実施した全日本セミナーで第1期を終え、2020年7月より日本独自のプログラムとして第2期が開始した。

重点施策FWTの展開！！4つの目標は基本であり、変わらない。

- ① 優れた奉仕を通して行う会員増強
- ② 家族と共に奉仕の拡大
- ③ 4人に1人は女性会員/4年に一度は女性ガバナナー誕生
- ④ 支部クラブ結成目標 クラブに1つの支部作り

【5年間の活動成果】女性中心の支部作り

2020-2021 年度国際協会承認済み結成支部数=42 支部 支部会員数=360 人

2017-2021 年度では、239 支部結成 支部会員は1,638 人である

1クラブ20人と考えると、81クラブのエクステンションに等しい。

【5年間の活動成果】女性リーダーの育成

2020-2021 年度地区大会にて、3名の女性第二副地区ガバナナーが承認された。

全員FWT経験者である。日本で20人目の女性ガバナナーが誕生する予定である。

5年前は5名であったが、FWTスタート後は15名の誕生で確実に女性リーダーが育っている。

【5年間の活動成果】魅力ある奉仕の提案

子どもの貧困=子ども食堂・子どものみらい古本募金、小児がん=へアドネーション たんずる外貨の活用など、魅力ある奉仕を継続して来た。

これらの魅力ある奉仕活動を通じて、会員増強に繋がってほしい。

FWTは「奉仕」と「会員増強」の両輪がかみ合っていて、進んでいる。

各クラブに伝えて、それぞれのクラブが1つでも奉仕を選び活動して行く。

FWTの方針が7月には複合から地区へ、遅くとも8月には各クラブに伝わるように。

<p>我々がやりたい奉仕活動ではなく、地域社会が求める奉仕活動を行うことが出来るメリットが有る。</p> <p>例えば、シニアライオンズクラブなどの既存のクラブもスペシヤルクラブであるが、単に置き換えるのではなく、今期は新たなスペシヤルクラブをガバナーと共に結成していただきたい。</p> <p>そして、スペシヤルクラブの登録を MyLCI で行っていただきたい。</p> <p>【スペシヤルクラブ・コーディネーターの推薦、登録方法】</p> <p>現在世界では、267 名のスペシヤルクラブ・コーディネーターが登録されているが、日本では登録者がゼロである。</p> <p>オプジョン1(三つ以上のクラブ/100 人以上の会員を実現するスペシヤルクラブ・プログラム・補助金 2,000\$以内)</p> <p>オプジョン2(二つのクラブ/40 人の会員を実現するスペシヤルクラブ・プログラム・補助金 1,000\$以内)</p> <p>地区ガバナーは、スペシヤルクラブ・プログラム・コーディネーターを選び、何れかのオプジョンの計画書を作成し、ガバナーと地区 GMT コーディネーターがサインの上、協会に届け出ていただきたい。</p> <p>準地区スペシヤルクラブ・コーディネーターが選ばれるのが望ましい。</p> <p>MD コーディネーターには、スペシヤルクラブ・プログラム・コーディネーターの推薦登録依頼の件を、地区ガバナーと地区コーディネーターへ説明をお願いしたい。</p>	<p>◇スペシヤルクラブ・プログラム・実務に関して OSEAL 調整事務局 島山 直子</p> <p>※添付資料として、後日 PP の送付あり</p> <p>スペシヤルクラブ・プログラム・コーディネーターとして計画した物の実行に掛かった経費は、国際協会補助金とし今期より、オプジョン1は 1,000\$ 以内、オプジョン2は 2,000\$ 以内の払い戻しが可能である。</p> <p>ぜひ補助金を利用して活動していただきたい。</p> <p>今期より、スペシヤルクラブ・プログラム・コーディネーターも国際会長賞の対象となった。</p> <p>【登録時の注意】</p> <p>スペシヤルクラブは、従来のクラブと何ら変わりはない。</p> <p>一般のクラブ登録は、クラブのスペシヤルクラブの項目部分に何も記載しなくてよい。</p> <p>登録時に、スペシヤルクラブは何であるかを選び記載すると、スペシヤルクラブとして登録される。</p> <p>クラブ名は、自分達がスペシヤルクラブと言いか言わないかの違いである。</p> <p>スペシヤルクラブの方が集まり易く、人に伝え易い。 名乗った方が、PR し易い。</p>
---	---

<p>【2021+2022 会員増強計画・支部からクラブへ】</p> <p>クラブ支部を活用する。</p> <p>35 地区全ての地区が、必ず 1 クラブをエクステンションする。</p> <p>既存 239 支部は、クラブ会員の増加・会員増強が目的であった。</p> <p>今期は、クラブをエクステンション目標の支部作りを各地区に 1 つ作る。</p> <p>ゾーン・リジョン・キャピネットがスポンサーとなるなどバックアップをし、地区を挙げて最低 1 クラブをエクステンションする。</p> <p>既存のクラブ強化をする支部と、クラブ結成を目標とした支部を作る。</p> <p>【クラブ支部で日本活性化計画】</p> <p>第二副地区ガバナー時期にクラブ支部を結成→第一副地区ガバナー時期に支部会員の増強→地区ガバナー時期には支部からクラブ結成</p> <p>このサイクル(3 か年計画)が実現すると、毎年 35 の支部と 35 のクラブが結成される。</p> <p>【健全なクラブ運営とは・支部を介して永続的なクラブ作りの循環イメージ】</p> <p>健全なクラブ運営は 30 名からと考える(下限は 30 名)ので、既存のクラブを 30 名に増員する。</p> <p>例会、奉仕活動には、正会員・支部会員・家族会員全てが参加する。</p> <p>家族が家族会員として入会→支部会員に育てる→親クラブの運営に携わる。</p> <p>数合わせの為の会員では、成功へは結び付かない。</p> <p>5 年で失ったもの(15,000 人)を、5 年で取り戻したいと考える。</p> <p>※地区ガバナーと共に！ GMT と協力し合い、理解を得て、連動しながら活動する。</p>	<p>◇スペシヤルクラブ・プログラムとは GAT 日本全域リーダー 中村 泰久</p> <p>【スペシヤルクラブ・プログラム】は、4 年前に開始されたプログラムであり、正規のクラブである。</p> <p>何か共通点を持った会員が集まったクラブ、また何か一つの目的の奉仕活動に特化したクラブである。</p> <p>例えば、災害活動支援のみを行うなど特定の分野で奉仕を行うクラブ、医師など職業が同じクラブ、ゴルフなど趣味が同じ会員の集まるクラブ、退職者など年齢が同じクラブ、学校の先生や生徒などを中心としたキャンパスクラブ、会食不要で会費を安くし Web で例会を行い奉仕活動のみ集まって行うバーチャルクラブなどがある。</p> <p>バーチャルクラブは海外に多く、他地区からも参加し易く時間に縛られないメリットがある。</p> <p>スペシヤルクラブは、正規クラブであり呼び名が違うだけである。</p> <p>スペシヤルクラブは、クラブ結成の手段として人を集め易いと認識して欲しい。</p> <p>スペシヤルクラブのメリットは、共通点を持ち、志を同じくする人々が結び付いたネットワークで奉仕活動が行えること。</p>
---	---

<p>クラブ名を付ける時の注意点は、先ず自治体名を付ける。 次に、インターナショナルを付けてはいけない。 そして、固有名(人の名前・会社名など)を付けてはいけない。 スペシャルイクイティ支部の登録は、親クラブのページのペーじから支部のカテゴリの登録 をエクセルフォームに入力して提出する。 クラブ支部の登録は、基本英語・ローマ字で行う(翻訳の必要は無い)</p>
<p>(5) 330～337 複合地区コーディネーター、副コーディネーターの自己紹介</p>
<p>(6) 質疑応答</p> <p>1. 会員増強報告書について 毎月の報告ではありません。後日連絡をさせていただきます。</p> <p>2. 本日の SPC の説明はいつ届くか。 来週一杯待ってください。</p> <p>3. 長澤リーダーはいつ全国を回るのか。 後日、スケジュールが送られる。</p> <p>4. ヘアドネーションについて 事務局よりメールで送信済みですので、確認してください。本日、コピーを小川コーデ ィネーターが持参されていますので、必要な方はお持ちください。</p>
<p>◆中村日本全域リーダーよりお知らせ</p> <p>1. 国際協会理事会の声明文の一部改正について 2. 来年、国際大会開催国の変更について 3. 国際協会の大会の考え方が今後、対面とバーチャルに 4. 第2副地区ガバナーの空席補充の変更について 5. 第2副地区ガバナーの立候補の制限について 上記の変更点はご確認ください。</p>
<p>◆世話人より役割分担のお願い 東日本世話人 L伊藤 和子</p> <p>このたび、330の小川晶子コーディネーターに奉仕活動統括担当をお願いしたい。 本日、皆様はグループ LINE でつながりましたので奉仕に関しての問い合わせ等はグル ープLINEを通して小川統括担当にご相談ください。皆様に一齐に情報提供ができて 今期のウェーブ会議担当は333若柳綾子副コーディネーターにお願いいたします。</p>
<p>(7) まとめ 西日本世話人 L有本 みどり</p> <p>1. 7月中旬から8月初旬までに議長、担当ガバナーを通じて、MD、FWT 会議を開催 し、8月末までにキャビネットから、各クラブに今回、長澤リーダーのご説明にありまし た奉仕を伝達していただきますようお願いいたします。</p>

<p>2. 前期までは、既存のクラブを強くするために、支部を作ってきましたが、新たに3年 計画でクラブエクステンションをする第2副地区ガバナーのお手伝いをさせていただきます ます。しかし、今期、来期も各地区に一つのクラブエクステンションをお願いいたしま す。 3. GMT と密に連絡を取り合い、ガバナーに協力してエクステンションのお手伝いをし てください。進捗状況報告の際は詳しくお願いいたします。</p>
<p>(8) 閉会挨拶 SPC・FWT 顧問 L高橋 かず子</p> <p>本日は、長時間大変お疲れ様でした。今期も長澤リーダーの下で精一杯、力を発揮して ください。特に、会員減の今期のスタートは以前にも増して会員増強が大変だと思いま すが、FWT として、頑張れると思います。</p>

(2020-2021 年度)
第 4 回会則委員会WEB 会議議事録
2021 年 6 月 2 5 日(金)13:30-16:00(Zoom 開催)

出席者:

330 複合地区会則委員 佐藤 精一郎 (330-B 地区 山北 LC)
331 複合地区会則委員 奥山 幸一 (331-C 地区 函館みなと LC)
332 複合地区会則委員 金子 晴雄 (332-F 地区 本荘舞鶴 LC)「欠席」
333 複合地区会則委員 根本 昌卓 (333-E 地区 取手 LC)
334 複合地区会則委員 野村 善弘 (334-A 地区 岡崎中央 LC)
335 複合地区会則委員 小林 聡 (335-D 地区 姫路広陵 LC)
336 複合地区会則および付則・運営マニュアル編集委員会担当ガバナー
(336-B 地区ガバナー) 金礪 毅 (336-B 地区 岡山京山 LC)「代理出席」
337 複合地区会則委員 村中 尊裕亀 (337-E 地区 熊本第一 LC)「欠席」

委員長(MD336 議長) 岡村 聖爾 (336-D 地区 下関北 LC)

一般社団法人 日本ライオンズ 事務総長
菅原 雅雄 (330-A 地区 東京堀留 LC)

第 4 回会則委員会会議招集者の一般社団法人日本ライオンズ会則委員長 (MD336 協議会議長)岡村聖爾より開会の挨拶ののち、議事録作成者は MD333 根本委員長、MD334 野村委員長が指名された。

前回議事録の確認 資料 2

1. 米国/イリノイ州オークブルック国際理事会オンライン会議要録の確認
要録確認、岡村委員長から要点について説明があり。
2. 2020-2021 ライオンズ必携第 59 誤記載の伝達 確認。
3. その他
 - 来年 6 月開催予定日本ライオンズ全国大会、開催反対の地区あり、大会の目的等知らされていなく問題があるとの指摘あり。
 - 一般社団法人日本ライオンズ定款とライオンズクラブ会則に矛盾点が多く 各地区にて議論する場を作る必要があり、日本ライオンズ理事会に提言してはどうか。
 - 複合地区GAT コーディネーターの選任について
GAT 日本全域リーダーL 中村泰久より回答あり。
指名は GAT だが任命は議長との回答あり。
4. 次回会議
本委員会は、一般社団法人日本ライオンズの一委員会であるため今後は日本ライオンズからの諮問事項や会則等に問題が生じたときに開催する。また要請があれば開催することとする。

審議事項

1. 日本での推奨版プロトコールについて
ライオンズクラブ国際協会公認プロトコールは維持し、遵守する事とする。
必要に応じて複合地区・準地区において日本ライオンズ理事長、日本 LCIF 関係、アラート委員会のプロトコールの位置づけをする。
但し、一般愛団法人日本 LCIF に関しては、一度複合地区大会や準地区年次大会に事後報告として承認してもらい、その後各会員の理解を頂いた方が良いとの結論を得た。
2. 第 60 版ライオンズ必携について
ライオンズ必携は必要であり発行することとする。
会則の伝達、理解が一般会員に十分理解されていない現状を踏まえて引継事項等、次年度の会則委員会に検討事項を引き継ぐこととする。
又、第 60 版必携に関しましては、必携の前文 20 頁の項目が、全て削除されている件について、今後の為に審議案件として申し送るようにとの意見が多くあった。

報告事項

1. 一般財団法人日本 LCIF の件 資料 3 により委員長より説明あり
2. 日本ライオンズ大学校の件 資料 4 により委員長より説明あり。
3. スペシャルオリンピックス広島大会の件
スペシャルオリンピックス愛知大会・北海道大会・ライオンズクラブ国際協会と SON との協定により行われており、広島大会には全国のライオンズクラブの協賛によって実施される。
4. MD335 小林会則委員からの提案
役職の略称で非常に役立つものであり必携 60 版に掲載することとする。
オセアル調整事務局にチェックを受け第 60 版に記載する。

閉会の挨拶

岡村委員長の挨拶により閉会

議事録作成人 MD333 根本昌卓
議事録作成人 MD334 野村善弘

第3回国際大会委員会(WEB)会議 議事要録

◎日 時：2021年3月11日（水）13：30-15：30

◎場 所：各デバイスからの接続(Zoom)

◎出席者：複合地区国際大会委員長

- | | |
|--|--------------------------|
| 330 複合地区国際大会委員長 | 石井 征二(330-A地区 東京八王子陵東LC) |
| 331 複合地区国際大会委員長 | 本所 光男(331-C地区 室蘭東LC) |
| 332 複合地区前議長 2019-2020 年度国際大会委員長 [代理出席] | 菅野 文吉(332-D地区 川俣LC) |
| 333 複合地区国際大会委員長 | 植原 宏(333-D地区 高崎中央LC) |
| 334 複合地区国際大会委員長 | 田谷 正(334-D地区 小松中央LC) |
| 335 複合地区国際大会委員長 | 柿原 勝彦(335-B地区 高槻LC) |
| 336 複合地区国際大会委員長 | 福代 明正(336-D地区 出雲中央LC) |
| 337 複合地区国際大会委員長 | 吉見 章一(337-B地区 宮崎ひむかLC) |

ゲスト

国際理事(2018-2020) LCI 大会委員会 副委員長

安澤 莊一(332-D地区 白河小峰LC)

国際理事(2019-2021) LCI 大会委員会 委員

川島 正行(333-E地区 土浦北LC)

委員会主催者

一般社団法人 日本ライオンズ 理事長 (MD337 元議長)

識名 安信(337-D地区 八重山LC)

委員長 (MD331 議長)

中谷 宣巨(331-B地区 釧路LC)

オブザーバー

一般社団法人日本ライオンズ 事務総長

菅原 雅雄(330-A地区 東京堀留LC)

◎ 開会の挨拶

中谷委員長からご挨拶があり、一同で10年前同日の東日本震災犠牲者への黙とうを捧げた。

◎ 本日の出席者確認

◎ 議事録作成人の指名：MD333 植原国際大会委員長及びMD336 福代国際大会委員長

◎ 前回要録、案件資料の確認

◎ 議事

I. LCI 国際大会委員会ご所属国際理事からの最新情報

安澤国際理事:

LCI 理事会大会委員会が、10 日夜 10 時からウェブ開催され、以下発表があり。

- ・現在までの登録人数は、約 3000 人。
- ・国際理事候補者と第3副会長候補者はビデオメッセージを作成して本部に送る。
- ・パレードについては、バーチャル・パレードを予定、複合地区単位などで1分間程度の映像にして本部に送り、全世界1つに纏めて、放映予定。
- ・パレードコンテストもあるので、日本ならではのものを作成して本部に送ることが望ましい。
- ・インドは、国際理事候補が多めに出るという話があり、多くの代議員を出すことが見込まれ、日本の意見を表明するため多くの代議員投票が望まれる。
- ・グループ登録については、複合地区単位など500人以上のグループ登録は10%の値引きがあるとのことで、フランスがすでに行っているとのことである。
- ・グループ登録は、最低10人以上の登録。
- ・奉仕事業のビデオをハイライトで大会のセッションに出す予定なので、希望する場合自分たちがしている奉仕事業をビデオに纏めて LCI 担当へ送信する。

川島国際理事:

3/10LCI 大会委員会発表情報について以下の説明があり。

- ・大会については、6月25日～29日まで開催。
- 29日はDGE(ガバナー・エレクト)セミナーになります。一般会員の大会参加については、25日からweb上で展示やセミナーも開催され、皆さんにも是非見て頂きたい。
- ・また、バーチャル・ライブもあります。LCI 本部内にステージを2か所程、5月中に設置予定。
- ・大会の基調講演は、17才でノーベル賞を受賞されましたマララ・ユスフザイさんが女性問題・人権問題について話される予定。
- ・登録費の50ドルは、バーチャル大会において、インターネットにより、チャットによる会議や会話も可能にする見込であり、運営する関係業者のプロダクション費等、様々な係る費用に充てられる見込。
- ・イベントの開催時間は、全てがアメリカのシカゴ時間に合わせるのではなく、アジアに関係性が深いものについては、アジアの時間帯で開催、放映する形になっている。
- ・ライブセッションやセミナー等も、大会が終了した後1か月程は、アクセスしてみることが出来る様に予定している。
- ・各地区においては、奉仕事業はハイライトの映像を、是非提供して頂きたい。

・パレードの件、テーマの「多様性で団結」でパレードの参加をお願いしたい。

協会からの通達に則ってパレードの登録をして、ソーシャル・ディスタンスを考慮しながら、小規模で構わないので、実際にパレードしている姿を想像力を発揮して1分程度に纏めてほしい。

今回のパレードも通常通り審査があります。詳細については、今週中に配信予定。

・6月26日(土)ビジネスセッションがあり、国際理事の候補者は各自約2分の時間でアピールをする。国際第3副会長候補の映像ももちろん流れるようになっている。

・国際理事候補者は、インドから複数人出る見込。国際第3副会長についても何人か出ると聞いている。したがって日本の代議員数をたくさん登録し、日本からの国際理事候補者である藏、永田両ライオンに投票をお願いしたい。

・ビジネスセッションは、6月26日(土)終了後投票開始、48時間対応で受付、大会最終日6月29日(火)結果発表予定。

・大会登録および代議員登録についての情報は、すでにLCIからメール配信されているが、必ず代議員登録を投票に繋げるように日本のメンバーに協力を頂きたい。

・グループ(10名以上)登録には、是非スプレッドシート(オセアル調整事務局を通じて配信)を活用してほしい。

・今大会では、大会登録者に記念の書面が用意されるので、ウェブ上からダウンロードする。

・大会グッズは、大会記念ピンも含め頒布予定につき、希望の場合購入を申し込む。

・モンリオールは、2022年または2029年の大会開催地に立候補を希望している。

両国際理事からの発表の後、質疑応答があり。

・MD334 田谷委員長から、人数規模や映像の長さなどについて質問があり。安澤国際理事から、取りまとめの都合により、なるべく複合単位で、長さは1分以内に納めてほしいと回答があり。MD335 柿原委員長から、ビデオのLCIあて送信メ切的な質問があり、安澤国際理事から、今後確認予定との回答があり。

・MD337 吉見委員長、MD332 菅野元議長から、代議員登録の目標数について説明があり。中谷国際大会委員長から、全国的には1名ないし2名を出せるクラブが殆どであり、各MDでクラブ数以上の代議員登録数の目標とすれば、全国で約3,000名、全日本の代議員数の約6割となり、更に国際理事候補者を要するMD334,335などいくつかのMDからは更に多くの参加が期待できるとの説明があり、一同了承し申し合わせとした。

川島国際理事から、この度会費に関する重要な採決もあり、国際理事及び国際第3副会長候補の選挙もあるので、各クラブ1名の代議員の投票にとどまらず、是非全代議員登録および投票に努力いただきたいとのコメントがあり。

II. 第103回バーチャル国際大会【2021年6月25日(金)-6月29日(火)】

(1) LCI公式情報……………別紙1

3/4 マーズオセアル調整事務局長からメール配信された式ウェブサイトのバーチャル大会ページ掲載情報を確認した。

(2) 「モントリオール国際大会 in 沖縄について」(6月30日—7月1日予定)

川島国際理事から、以下の説明があり。

- 本部ホテル(800室超)、懇親会会場は恩納村に決定した。
- 大会会場は新規オープン会場(沖縄市)、1万人収容可能だが、コロナウイルス感染拡大状況の問題もあり、全体の参加数を検討中である。各地区へ参加割り当て数およびご案内を4月初めにお知らせする見込み。次回会議で詳細説明予定。
- MD335 柿原委員長から、ホテルおよび航空券手配について質問があり。川島国際理事から本部ホテルのホテルルームを仮押さえしており、沖縄のメンバー側にホテル担当の窓口を作る予定。航空券については、各自手配となる見込み。

III. 次回会議

第4回国際大会委員会WEB 4月13日(火) 13:30-15:30(Zoom)

主要議案:

- 1) バーチャル大会最新情報の確認(パレード情報など)
- 2) モントリオール国際大会 in 沖縄について
- 3) その他

From: Oseal <oseal@lionsclubs.org>

Sent: Thursday, March 4, 2021 1:46 PM

To: Hatayama, Naoko <Naoko.Hatayama@lionsclubs.org>; Honma, Junko <Junko.Honma@lionsclubs.org>; Kabasawa, Ikuko <Ikuko.Kabasawa@lionsclubs.org>; Tsukada, Kanako <Kanako.Tsukada@lionsclubs.org>; Merz, Yoshiko <Yoshiko.Merz@lionsclubs.org>; Minowa, Kinuko <kinuko.minowa@lionsclubs.org>; Kawabe, Nohara <Nohara.Kawabe@lionsclubs.org>; Tanaka, Fusako <Fusako.Tanaka@lionsclubs.org>

Subject: RE: 2021 年ライオンズクラブ国際協会バーチャル国際大会へのグループ登録について【重要】

個人情報保護のため BCC で発信しております。送付先: 国際理事会・LCIF 理事会メンバー、GAT エリアリーダー、DGE セミナーグループリーダー、ガバナー協議会事務局、地区キャビネット事務局、一般社団法人日本ライオンズ、大会登録についてお問い合わせをいただいた方々、太平洋アジア課

2021 年ライオンズクラブ国際協会バーチャル国際大会グループ登録について

お世話になっております。2月19日にご案内いたしました国際大会登録について、グループで登録いただく場合のご案内が可能となりましたのでお送りいたします。

先にご案内した国際協会ウェブサイトからのグループ登録で行っていただいても構いませんが、地区・クラブ口座をご使用になりたい場合や書式での登録をご希望の場合にはこちらをご利用ください。

10名以上まとめて登録される際に、こちらの書式をご使用ください。

添付登録手続きについての説明をご一読の上、ご登録の際には添付の登録書式と支払い書式を必ず同時にご送付いただきますよう、よろしくお願いいたします。

ライオンズクラブ国際協会
OSEAL 調整事務局

出席しよう

ライオンズの国際大会 LCICon 2021への登録について

大会登録アプリケーションは、参加者の氏名、住所、居住地の市町村名、都道府県名、国名、郵便番号、Eメールアドレス、電話番号等の特定の個人情報を使用します。ライオンズクラブ国際協会は、アプリケーションから取得した情報を、参加者の大会登録をおこなうためのみに使用します。ただしライオンズクラブ国際協会に対して、会員がさらなる個人情報を既に別途開示している場合は、その限りではありません。情報は個人体験改善のために利用される場合があります。同アプリケーションが参加者の情報をどのように利用するかについての詳細は、こちらの情報開示セクションをご確認ください。

登録は国際協会の登録ページで行う必要があります。オンラインで登録できない場合は、登録用紙をダウンロードし、必要事項をもれなく記入して oseal@lionsclubs.org宛てにEメールでお送りください。

特別割引となる早期登録料金を含め、大会登録料金は下記のとおりです。

登録料：

- 3月31日までの登録料金 \$50
- 4月1日以降の登録料金 \$75

レオの登録料：

- オメガレオ（18～30歳）の登録料金 \$30

支払いについて

LCICon2021登録料金は、小切手、クレジットカード（Visa®、MasterCard®、Discover®）または電信送金で支払うことができます。

ライオンズクラブ国際協会では、大会のためのお支払い方法として、米ドル外の現地通貨による銀行振込を受け付けておりません。

お支払い方法についての詳細は、こちらのページをご覧ください。

登録料金をお支払いいただきましたら、支払い証明のコピーと必要な情報がもれなく記入された大会登録用紙を、oseal@lionsclubs.orgまでご送付ください。国際協会でお支払いの受領が確認でき次第、登録確認書をお送りいたします。

登録後LCIConにアクセスする方法

登録が無事完了しましたら、確認メールが登録者のEメールアドレスに送信されます。

大会の約1～2週間前に、登録者はバーチャル大会にアクセスするためのリンクと認証情報を受け取ります。受け取った時点で、イベントへのリンクを試して問題なく接続できることを確認するべきです。技術的な問題がある場合は、convention@lionsclubs.org までご連絡いただけます。

LCICon 2021にアクセスするには、インターネット接続とインターネットブラウザが必要となります。システム要件に関する情報やヒントが近日常に掲載される予定ですので、バーチャル体験を最大限満喫できるようにするために、かならずご確認ください。

LCICon2021での投票

2021年国際大会ではバーチャル投票が行われます。クラブは、3月1日から MyLCI で代議員を登録することができます。以下は、投票に関する情報と、代議員として投票するための要件のリストです。

- 代議員は**大会登録**を済ませていなければならない
- 代議員は、**大会登録時**に自分の会員番号を提供しなければならない。代議員が会員番号を知らない場合は、所属クラブの幹事に尋ねるか、**会員サービスセンター**に連絡することができる。
- 代議員は、グッドスタンディングのライオンズクラブの正会員でなければならない
- 代議員は固有のEメールアドレスを持っている必要がある

投票に関する詳細は、まもなくお知らせします！

ご不明な点についてのお問い合わせ先：

大会に関する一般的なお問い合わせ先：convention@lionsclubs.org

登録に関するお問い合わせ先：registration@lionsclubs.org

第103回ライオンズクラブ国際大会
バーチャル大会・2021年6月25-29日
グループ・団体参加主催者手順書

別紙 1C (グループ
主催者手順書)

一般情報

グループ主催者(複合地区・地区・クラブおよび取扱業者)はライオンズ会員に
国際協会の登録手順と提出期限を周知いただきますようお願い致します。

- 全ての大会登録料は返金されません。
- 大会登録料は返金不可であり、別のライオン、レオ、ゲスト、子供に譲渡することも、今後の大会用に移すこともできませんので、予めご了承ください。
- 全ての登録には登録者ごとに**本人のみが使用するEメールアドレス**が必要となります。
- 会員番号は選挙で資格証明と投票を行うクラブ代議員であればご記入ください。

大会登録

グループ主催者は国際協会より提供される公式のグループ登録用紙ならびにグループ登録支払い用紙にご記入のうえ、振込控えと共にご返送ください。

登録料:	大人	オメガレオ (18歳以上)	アルファレオ/子供 (17歳以下)
通常:(2021年2月10日~3月31日)	US \$50.00	US \$30.00	US \$0.00
後期:(2021年4月1日~6月29日)	US \$75.00	US \$30.00	US \$0.00

支払い方法

- クレジットカード(ビザ、マスターカード、ディスカバー)
- 銀行振込:みずほ銀行の各クラブ・地区に割り振られた3つの口座のうち、「その他」の口座番号を使用してください。ご入金が入金月のライオンズレートに応じた金額にてご入金ください。
- クラブや地区に紐づかないグループとして登録の際には下記口座にお振込みください。

みずほ銀行東京営業部(支店コード001)普通口座1167859
口座名義:ライオンズクラブコクサイキョウカイオセアル(ド)

提出先・お問い合わせ

オセアル調整事務局(担当 川辺、箕輪)
電話:03-4589-5012
FAX:03-4589-5000
Eメール:oseal@lionsclubs.org

別紙1E (グループ 支払フォーム)

第103回ライオンズクラブ国際大会 2021年6月25日～29日

グループ登録支払い用紙

103rd Lions Clubs International Convention Group Payment Form

日付 (Date) :	グループ (Delegation) :		
人数/Quantity	参加登録/Registration	登録料/Fee	合計/Total
	大人 (Adults) x \$ 50 (2021年3月31日以前)	\$50	
	大人 (Adults) x \$75 (2021年4月1日 - 6月29日)	\$75	
	オメガ レオ (Omega Leo) x \$30 (18 - 30歳)	\$30	
	アルファ レオ (Alpha Leo) x \$0 (17歳以下)		
	登録料合計 (Total Registration Fees)		
	* 登録料は返金されません		

支払情報/Payment Information

①銀行口座振り込み又は②クレジットカード払いのいずれかを選択し、必要事項をご記入ください。
 ※銀行振込の場合 クラブ・地区でまとめて登録される場合には、みずほ銀行の各クラブ・地区に割り振られた専用口座のうち3番目の「その他」の口座番号をご使用いただき、その口座番号を下①にご記入ください。 また、振込控えを本支払い用紙と共にお送りください。
 取扱業者経由またはクラブや地区以外のグループでまとめて登録をされる場合には、以下のみずほ銀行口座にお振込みいただき、その口座お番号等を①にご記入ください。また、振り込み控えを本支払い用紙とともにお送りください。
 みずほ銀行 東京営業部 (001) 普通口座 1 1 6 9 8 5 3

①銀行口座振り込み/Payment by bank transfer

クラブ/地区名・または取り扱い業者名 / Agency/Group Name:	
連絡先 / Contact:	
振込口座番号 / Bank account number:	
振込日 / Date of payment:	

②クレジットカード払い/Payment by credit card

取扱業者/グループ名 / Agency/Group Name:	
連絡先 / Contact:	
クレジットカード番号 / Credit Card Number:	
有効期限 / Expiration Date:	
カード裏面にあるセキュリティ・コード (CCV) :	
カード所有者名 (カードの表記通り) / Name:	
クレジットカードの請求書送付先 / Billing address:	

提出先：オセアル調整事務局

Oseal@lionsclubs.org



投稿日 3月 9, 2021

ライオンズクラブ国際大会では100年前から、素晴らしいセミナー、娯楽イベント、親睦を深めるイベント、世界的に有名な方の講演など、ライオンズの意欲をかき立てる催しを提供しています。今年は光栄にも、一躍世界にその名が広まった方をバーチャル国際大会にお招きし、特別に講演していただく運びとなりました。

2021年バーチャル国際大会に、あのマララ・ユスフザイさんが基調講演者として参加していただきます。

マララ・ユスフザイ氏

基調講演

6月28日（月）

*講演の詳細は変更する可能性があります

マララ・ユスフザイ氏のご紹介

命が脅かされたほどの危機を切り抜け、やがてノーベル賞の最年少受賞者となった、稀有な経歴を持つ若い女性です。これほどの功績を残したにもかかわらず、マララさんは自らを特別な存在だとは考えていません。

活動家だった父親の姿に刺激を受け、マララさんは11歳のときに女子教育に関するキャンペーンを始めました。BBC（英国放送協会）が開設していたブログに匿名で「Diary of a Pakistani Schoolgirl」（パキスタン女子学童の日記）を寄稿し、タリバン支配下の生活をつづったのです。マララさんは間もなく、女子教育を支援する活動を表立って行うようになりました。近くの村を訪ねて回る父親に同行し、女性を学校に誘うのです。父親が男性と話をしている間に、マララさんは女性に話しかけます。こうした父と娘のキャンペーンは、2009年に米国のニューヨーク・タイムズ紙が短編のドキュメンタリー記事として取り上げました。

すると瞬く間にマララさんは世界中のメディアから注目されるようになり、数々の賞を受けました。彼女は地域社会の中で目立つ存在となったため、15歳のとき、公の場で口をきいたからという理由でタリバンに襲撃されました。マララさんは英国に運ばれて体調が回復し、以来、女性のための戦いを続けています。

2013年、彼女は父ジアウディンさんと共同で「マララ基金」を設立しました。その翌年、17歳になったマララさんは、女子が12年間の教育を安全な環境で無償で受けられるように働きかけたことが認められ、ノーベル賞を受賞しました。マララさんは現在オックスフォード大学に在学中で、哲学、政治、経済を中心に学び、近く学位を取得する見込みです。

マララさんは現在も変わらず、貧困、戦争、ジェンダー差別などの障壁と戦う活動の先頭に立っています。特にジェンダー差別に関しては、そのために今なお世界各地で1億3千万人もの少女が、学校に通えない状況が続いています。

2020-2021 一般社団法人日本ライオンズ
【緊急】国際大会委員会WEB 議事要録

◎日 時：2021年3月26日（金）13：30－15：00

◎出席者： 330 複合地区委員 石井 征二（330-A地区）
331 複合地区委員 本所 光男（331-C地区）
332 複合地区委員 平野 喜嗣（332-B地区）
333 複合地区委員 植原 宏（333-D地区）
334 複合地区委員 田谷 正（334-D地区）
335 複合地区委員 柿原 勝彦（335-B地区）
336 複合地区委員 福代 明正（336-D地区）
337 複合地区委員 吉見 章一（337-B地区）

ゲスト

国際理事（2018-2020）LCI大会委員会 副委員長
安澤 荘一（332-D地区）
国際理事（2019-2021）LCI大会委員会 委員
川島 正行（333-D地区）

委員会主催者

一般社団法人 日本ライオンズ 理事長
識名 安信（337-D地区）
委員長 中谷 宣巨（331-B地区）

オブザーバー

一般社団法人 日本ライオンズ 常務理事
森川 明治郎（330-C地区）
一般社団法人 日本ライオンズ 事務総長
菅原 雅雄（330-A地区）

◎開会の挨拶

識名理事長
安澤国際理事
川島国際理事

1. L C I 国際大会委員会国際理事からの最新情報

安澤国際理事

国際大会バーチャル・パレードへの参加資料が発表され、パレードの順番（35 番目）やパレードの動画は 20 秒以上 1 分以内とする。また申込締切が 4 月 15 日等日本語訳の項目（10 項目）の説明がなされた。

川島国際理事

パレードに関しては少人数でも構わないことやパレードの順番を国際理事候補者の所属 MD の MD 334. MD335 を先頭として MD330～MD337 のパレード順とすることを本部に伝えている。

また、元国際会長や現職の国際理事はバーチャル・パレード・ビデオの先頭に別撮り動画で参加予定につき、所属 MD のパレード動画には参加しない。

モントリオール国際大会 in 沖縄 JAPAN は（一社）日本ライオンズ共催として開催予定。沖縄恩納村のリザンシーパークホテルで参加者は 1000 人規模になる模様。

第 103 回バーチャル国際大会パレード参加について

国際理事候補者所属 MD から順次報告があり、撮影済の MD もあり各複合地区でも順調にパレード撮影予定の報告あり。桜をテーマにとの意見があったが地域差もあり各複合に任せることとなった。複合地区 1 チームとしてパレード参加となる。

その他

国際理事選挙また国際第 3 副会長の代議員投票の質問があり、国際理事より国際理事の投票方法の説明がなされた。また国際第 3 副会長候補者の推薦は後日案内する旨の説明がなされた。

代議員投票時間は現地時間なのか終日行われるのかの質問にはまだ国際本部からの指示がないとのこと
で後日案内される。

代議員登録は各クラブ 1 名は最低として 3 0 0 0 名の代議員登録を目指す要望した。

沖縄大会は各複合地区 1 0 0 名を予定（国際理事候補者所属 MD および開催地より遠隔の MD については別途人数予定）して旅行業者等の力をいただくこととする。

沖縄大会での各 MD の囲む会等も MD 3 3 7 沖縄が協力をする準備中である。

次回会議予定

4 月 1 3 日（火）13：30～15：30 WEB 会議にて開催

出席予定者：中谷国際大会委員長、8 MD 国際大会委員長、LCI 大会委員会所属国際理事

議事録作成人 MD332 平野 喜嗣

議事録作成人 MD337 吉見 章一

以上

(2020 - 2021) 一般社団法人日本ライオンズ
「第4回国際大会委員会 (WEB)」 議事要録

◎会議日時: 2021年4月13日(火)13:30-15:00

◎場 所: 各 PC から接続 (Zoom 開催)

◎出席者: 複合地区国際大会委員長

330 複合地区国際大会委員長 石井 征二 (330-A地区 東京八王子陵東LC)

331 複合地区国際大会委員長 本所 光男 (331-C地区 室蘭東LC)

332 複合地区国際大会委員長 平野 喜嗣 (332-B地区 盛岡LC)

333-E 地区ガバナー (333 複合地区副議長)

山川 洋 (333-E地区 牛久茎崎LC) [代理出席]

334 複合地区国際大会委員長 田谷 正 (334-D地区 小松中央LC)

335 複合地区国際大会委員長 柿原 勝彦 (335-B地区 高槻LC)

336-B 地区ガバナー (336 複合地区副議長)

金 礪 毅 (336-B地区 岡山京山LC) [代理出席]

337 複合地区国際大会委員長 吉見 章一 (337-B地区 宮崎ひむかLC)

ゲスト

国際理事 LCI 大会委員会 副委員長

安澤 莊一 (332-D地区 白河小峰LC)

国際理事 LCI 大会委員会 委員 川島 正行 (333-E地区 土浦北LC)

委員会主催者

一般社団法人 日本ライオンズ 理事長 (MD337 元議長)

識名 安信 (337-D地区 八重山LC)

委員長 (MD331 議長)

中谷 宣巨 (331-B地区 釧路LC)

オブザーバー

専務理事

藤川 清幸 (333-D地区 前橋中央 LC)

一般社団法人日本ライオンズ 事務総長

菅原 雅雄 (330-A地区 東京堀留LC) [欠席]

◎議事録作成人の指名

MD330 石井委員長

MD334 田谷委員長

◎開会の挨拶

中谷委員長からご挨拶があり、続いて日本ライオンズ識名理事長よりのご挨拶があり、過日 3/30 発表された「モンリオール国際大会 in 沖縄」の中止について説明があり。

◎議 事:

I. LCI 大会委員会ご所属国際理事からの最新情報

安澤国際理事:

バーチャル国際大会の大会登録について、目標は全世界で2万人だが、3月末現在で 8,000人と少ない。

早期登録を4月末まで(登録料: 50米ドル)に延長、オセアル調整事務所指定口座への登録料振り込みは、ゴールドenウィークを挟むため、5/6入金分まで早期登録分として認められる。是非各クラブ1名以上の代議員の登録をお願いしたい。

川島国際理事:

昨夜開催のオンライン国際理事会でチョイ国際会長からバーチャル大会は現地への移動なく地元で参加できるので、全会員の参加を希望されているとのメッセージが伝えられた。

また、「モンリオール国際大会 in 沖縄」中止の事情説明があった。

II. 第103回バーチャル国際大会【2021年6月25日(金)-6月29日(火)】

(1) 早期大会登録料の延長について

- 早期登録料 4月30日まで 50米ドル
- 5月1日以降 75米ドル

(2) 大会登録見込み数

以下4月13日現在の登録見込み数および努力目標数を確認した。

M D	大会 登録 見込 数	右の うち 投票 見込 数	大会登録見 込数内訳		代議員登録 見込数内訳		4/13会議時点 各MDからの 努力目標数
			一 般	代 議 員	済	未	
330	330	230	100	230	38	192	4月末までに未登録代議員 150名の登録を目指す。
331	200	100	100	100	40	60	MD内クラブ数にあたる約200名の代議員登録を目指す。
332	110	83	27	83	30	53	MDの代議員定数 332名分の9割にあたる300名の登録を目指す。
333	237	171	66	171	92	79	未登録の代議員 79名は登録させたい。
334	494	270	224	270	191	79	200名の登録増を目指す。
335	391	209	182	209	133	76	500名の登録を目指す。
336 *	9	8		9		8	400名の登録を目指す。
337	76	46	29	47	26	20	370-380名の登録を目指す。
計	1,847	1,117	728	1,119	550	567	(名)

* 4月13日現在336-B地区のみの報告数、A,C,Dは後日報告見込。

中谷国際大会委員長:

まだ登録数が少ない。日本のクラブ数は現時点で 2892 クラブと報告されており、各クラブ1名以上の代議員登録をお願いしたい。

識名理事長:

各クラブ1名以上の大会登録、代議員登録および投票を地区ガバナーのリーダーシップのもと具体的な目標数をもって必ず実現してほしい。

安澤国際理事:

各地区ガバナーからリジョン／ゾーンチェアパーソンに話をし、各クラブに目標や意図が届くようにしてほしい。

川島国際理事:

チョイ国際会長も非常に懸念している。選挙や会則改正など重要な議案についての投票に日本の意見を示すには、より多くの代議員が投票を行う必要がある。

III. 各 MD 委員の意見

- ・大会登録、代議員登録の詳細について、ガバナーおよびキャビネット事務局から積極的にゾーンチェアパーソンおよび各クラブに発信してほしいとの意見があり。
- ・これから行われる地区年次大会でガバナーから国際大会登録を勧めるべきとの意見複数。
- ・国際理事の選挙方法について説明してほしいとの意見があり、安澤、川島理事より説明があり、今後の国際協会からの情報を注視してほしいとのことだった。
- ・本委員会に各複合地区国際大会委員の参加を認めてほしいとの意見があり、委員のオブザーバー参加については、事前に MD 国際大会委員長を通じて、中谷国際大会委員長へ問い合わせしてほしいとのことだった。
- ・大会の記念品について質問があり、ID 川島から LCI 大会部へ検討の希望があることを伝えるとのことだった。

IV. バーチャル・パレードについて

各 MD 委員長より、パレードや各地区の特徴を生かしたビデオ撮影の様子の説明があり、8MD とも期日までに LCI 大会部へエントリーおよびビデオ送信予定。

V. 次回会議予定

第 5 回国際大会委員会 (WEB)

2021年 5 月 10 日 (月) 13:30-15:00 (ZOOM)

出席予定者: 中谷国際大会委員長、8MD 国際大会委員長、LCI 大会委員会ご所属の国際理事

議事録作成人 MD330 石井征二

議事録作成人 MD334 田谷 正

以上

※7/8 に各準地区へ発信した熱海市社会福祉協議会から依頼内容

各地区ガバナー各位
各地区キャビネット事務局御中

336 複合地区ガバナー協議会議長 福永 栄一
336-A 地区ガバナー 蔵本 守雄
336-B 地区ガバナー 平山 智雄
336-C 地区ガバナー 三島 英揮
336-D 地区ガバナー 大野 美雄
336 複合地区アラート委員長 高岡 英治
336 複合地区アラート班長 藤井 信英

お世話になっております。
下記、**熱海市社会福祉協議会からのご依頼文書**となっております。
貴地区クラブ様へご配信いただき、周知徹底を図って頂きますようお願い申し上げます。

☆現在の熱海市社協からの現状と、お願いです。
一般の方々や、クラブ独自の支援物資などが送られている現状から、現場の混乱が見えています。
各地区からの待機の伝達の徹底と、この先の支援の準備が大事です。又島根県松江市や広島県と
災害があちこちに拡大する事態になってます。

以下の文書は、熱海社協さんのお願いです。

土石流で大きな被害を受けた静岡県熱海市は 2021 年 7 月 7 日、寄せられる支援物資の受け入れを一時休止すると発表した。
市の観光建設部の担当者は「心苦しい」と吐露する。なぜ、苦渋の決断となったのか。背景には送り手が思う「必要そうなもの」と「実際に必要なもの」とのギャップがあった。
「食事の提供も、飲料の提供も...」
「大変心苦しいところではありますが、一度支援物資のご提供（ご支援）をご遠慮させていただきます」
「みなさまからのご厚意をこのような形でご不快の念をおかけいたしまして、大変申し訳ございません」
7月7日 11時20分、熱海市は公式サイト上で「支援物資についてのお知らせ」と題した文書を掲載。市に寄せられる支援物資について、受け入れを一時休止するとした。

理由の一つは「保管場所の確保困難」だ。熱海市の担当者によると、寄せられた物資は市役所の会議室に集めているものの、それが溜まっている状況にあるという。

市は7月5日、生鮮食品や消費期限の近い食料品、使用済みの日用・衣料品など、一部物品の受け入れを断る「お知らせ」を公式サイト上に掲載。理由として、「食料品用の温度・湿度管理が行えない保管場所である」「膨大な業務を限られたスタッフで実施している」などを挙げていた。

ただ、受け入れを制限しても、会議室内の物資はなかなか減らなかった。多くの避難者が、設備の整った市内のホテルに滞在し、物品が消費されなかったためだ。今回物資の受け入れ休止を決めた、もう一つの理由でもある。

「食事の提供も、飲料の提供も、ホテルでしていただいております。今の段階で避難された方が必要としている物資は、ほとんどありません」
(熱海市の担当者)
かさばるトイレトペーパー...保管スペースひっ迫

国内屈指の温泉観光地として知られる熱海市。市内にあるホテルが、被災者たちの受け皿となった。

学校の体育館や集会所で身を寄せ合い、炊き出しを待つ。東日本大震災（11年）や熊本地震（16年）などの大規模災害時、テレビのニュースで伝えられてきた、被災者たちの姿だ。プライバシーが確保され、飲食も提供される熱海の避難生活とは、大きく異なる。

そんな従来の避難生活とのギャップもあってか、支援物資が届けられても、うまく活用されないケースが熱海では生じた。

例えば7月5日に生鮮食品の受け入れ休止を発表する前には、ネギやじゃがいも、にんじんといった野菜類が寄せられていたという。

「『災害が起これば、避難所で炊き出しをやるだろう。ならば、野菜が必要かもしれない』ということで、

（野菜を）お送りいただいたのだと思います。

ただ、食事は（ホテル避難なので）心配がいらぬ。また、今は湿気も高く、野菜が傷みやすい時期です。

心苦しいんですけれども...処分させていただかざるを得ない状況です」（同担当者）

食品以外では、トイレトペーパー、ティッシュペーパー、マットレスや毛布などの寝具も多く寄せられた。

「お送りいただいた方は、（一般的な被災地の）『避難生活』をイメージされたのだと思います。

（これまでの被災地では）学校のトイレ、

仮設トイレで『トイレトペーパーがなくなっちゃった』というケースがあったと思うんですけれど...今回は（ホテル生活のため）

必要がありませんでした」（同担当者）

特に、大量に寄せられたトイレトペーパーやティッシュペーパーは他の物品と比べてかさばることもあり、

保管スペースをひっ迫。物資の受け入れ休止につながる一因になってしまったという。

「そのとき、そのときに必要なものが出てくる」

ただ、届けられたすべての物資が不必要だったわけではない。今は充足していて、新たな支援の必要はないが、水やお茶、機能性飲料など「飲み物」は助かったという。

「自衛隊や消防、警察など総勢 1000人以上の方々、行方不明者の捜索活動をしていただいている。非常に暑く、

湿度が高い状況ですので、そういう方々ののどを潤すために、飲料は非常に重宝しております」

今後は、避難者の生活再建も待っている。「家に戻ったとしても、（今度は）生活必需品の不足が想定されます。

（今は必要がない）トイレトペーパーも必要になるかもしれませんし、家の周りを片付けるのに、スコップであったり、

汚れたものを整理する雑巾、軍手など...もしかしたらそういうものが必要になってくるのかな、とは思っています」（市の担当者）。

市は今後の復旧・復興状況に応じ、新たな物資支援の呼びかけを検討しているという。

取材の最後、担当者はこんな思いを口にした。

「全国から、温かい励ましの言葉とともに、ご支援をしたいという声をいただいております。

現状では（物資が）充足しているということもあって、お気持ちだけはありがたくいただきたいなと思います。

熱海の街は観光地です。多くの方々を迎え入れる、賑わいのある街であることが、一番いいことでもあります。そのとき、

そのときに必要なものが出てくると思っております。我々のほうも、『今、何が足りないのか』を

（随時）発信させていただきたいと思います。その際にご協力いただき、熱海の復興に力をお貸し願えればと思います」

以上 宜しく申し上げます。



2021年7月15日

2021-2022年度

複合地区ガバナー協議会議長 各位

準地区ガバナー 各位

クラブ会長 各位

アラート関係者 各位

一般社団法人日本ライオンズ
理事長 識名 安信
アラート委員長 森川 明治郎
334-C 地区ガバナー 藤井 嗣也

静岡県熱海市における土砂災害被災者支援金口座開設のお知らせ

※注意：支援金を強制・要請する案内ではありません。

募金などにより得た支援金を送る場合の支援口座のお知らせです。

拝啓

向暑の候、各複合地区議長並びに各準地区ガバナー及びクラブ会長をはじめとしたライオンズリーダーの皆様には社団の運営に対しまして、日頃より誠意あるご対応を賜り深く感謝申し上げます。

さて、この度の熱海市における土石流による災害に心痛めております。心よりお見舞い申し上げます。

つきましては、現地よりの支接待機要請につきましてご理解いただいている事に心より感謝申し上げます。

334-C 地区 L. 藤井嗣也ガバナーにおかれましては、引き続き協定締結している静岡県社会福祉協議会並びに静岡県ボランティア協会とも密に連携して対応しております。

現地では自衛隊・消防・警察・行政による救助を優先している状況が続いています。

被災者の皆様はホテルにて衣食住の提供を受けており必要とする物資要請は現在のところございません。

この度、現地災害被災者支援金口座を334-C 地区 L. 藤井嗣也ガバナーが開設いたしましたので、皆様にお知らせいたします。募金などによる支援金は下記の口座までお願い致します。

静岡銀行駅南（えきなん）支店 普通口座 No.0969334

ライオンズ334-C 地区熱海土石流災害支援金会計河俣貴之（カワマタ タクユキ）

尚、支援金が適正に拠出された後の余剰金につきましては、一般社団法人日本ライオンズ災害被災者支援金口座へ繰入れることとし、今後の災害に備えますのでご了承の上送金願います。

また、現地への問い合わせなど含め対応に多忙を極める関係者の負担軽減のためにも、現地へ足を運ぶことや、問い合わせをするなどの行動は要請があるまで引き続きお控えください。ご理解のほどお願い申し上げます。

大変お忙しいところ恐縮ですが、複合地区においてはアラート関係役員へ、地区キャビネットにおかれましてはメンバー皆様にもご周知できますよう、各クラブ及びアラート関係役員へも転送いただけますようお願い申し上げます。

敬具

◎日時：2021 年 3 月 16 日 (火) 13:15 - 15:15

◎場所：Zoom ウェブ会議システム利用 (各 PC から接続)

◎出席者：

一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員長 (MD334 議長)

330 複合地区 YCE 委員長	仁科 良三	(334-E 地区)	長野みすず LC
331 複合地区 YCE 委員長	田中 雄一	(330-C 地区)	狭山 LC
332 複合地区 YCE 委員長	大澤 勝雄	(331-B 地区)	剣路ぬま LC
333 複合地区 YCE 委員長	佐藤 和幸	(332-E 地区)	寒河江臥龍 LC
334 複合地区 YCE 委員長	小吹 勇	(333-E 地区)	石岡 LC
335 複合地区 YCE 委員長	加藤 万寿夫	(334-B 地区)	土岐織部 LC
336 複合地区 YCE 委員長	吉川 二郎	(335-C 地区)	奈良 LC
337 複合地区 YCE 委員長	高橋 淳	(336-C 地区)	広島デルタ LC
337 複合地区 YCE 委員長	北 由美子	(337-D 地区)	鹿児島第一 LC

オブザーバー

333 複合地区 YCE 特別委員 大久保 雄司 (333-E 地区 水戸 LC)

一般社団法人 日本ライオンズ 事務総長

菅原 雅雄 (330-A 地区 東京堀留 LC)

➤ 開会の挨拶 (仁科委員長)

◆ 各複合地区、準地区も年次大会に向けてお忙しいことと思います。また各複合地区 YCE 委員会も開催されて、今年度の派遣・受入は中止になったが、今までの仕組みなどの見直しや将来の YCE 事業に向けて検討されているかと思えます。一般社団法人 日本ライオンズは 3 月 18 日に社員総会を開催予定です。そしてモントリオール国際大会も完全 WEB で 6 月 25 日から開催になります。参加希望者が現時点で 1,000 人を超える見込みで、開催会場選定もこれから考えていくそうです。本委員会委員の皆さんも是非ともご参加をお願いします。コロナウイルス感染症拡大防止にソーシャルディスタンスを始めいろいろな対策を講じながらの大会になろうかと思いますが、現各地区ガバナーも年度初めも年度末もコロナウイルス外しのリモートや引継ぎなどで年度を締めくくっていただきたいという想いで大会準備を進めておられるそうです。また、日本から二人国際理事に立候補いたしますので、各クラブは最大限の代議員を登録いただき、是非ともバーチャル国際大会にご投票いただきたい。

◆ 本委員会も第 5 回になります。各種確認事項や資料改訂など仕上げたいと思いますのでご協力をお願いしたい。

➤ 本日の出席者確認及び進行について

・仁科委員長は出席者の確認をした。

➤ 議事録作成人の指名

・仁科委員長は MD330 田中委員と MD334 加藤委員を議事録作成人に指名した。

➤ 前回要録の確認

・前回要録の確認をした。

◎ 議案

1. 派遣生の出発前オリエンテーション資料改訂版の確認

- ◆ 仁科委員長は MD334 加藤委員に「派遣生の出発前オリエンテーション資料改訂の確認」について説明を求めた。
- ◆ MD334 加藤委員は「ユースキャンプ及び交換 (YCE) 憲章」の英文最終行の英語「Conclusion」を「Conclusion」に訂正したと説明した。
- ◆ MD334 加藤委員は第 4 回委員会において MD336 高橋委員が提案した「3.IT 機器持参の注意」にて「緊急時連絡のためのみ」を削除したとの説明があり。
- ◆ MD336 高橋委員は「3.IT 機器持参の注意」と「スマート」と「フォン」の間のスペースを削除し、MD334 加藤委員はスペースを削除し修正するとした。
- ◆ 以上をもって派遣生の出発前オリエンテーション資料改訂を一同了承した。
- ◆ MD334 加藤委員は「YCE 不測事態によるキャンセル時の規定と緊急時連絡方法」改訂について委員の意見を求めた。
- ◆ MD336 高橋委員より「II. 現地で派遣生が不測事態に遭遇した時の連絡方法」の「※不測事態とは」の後に「新型コロナウイルス」の文言を付け加えてはどうかとの提案があり、付け加えることとした。
- ◆ MD334 加藤委員より施行日について本日「2021 年 3 月 16 日」もしくは年度末の「2021 年 6 月 30 日」のどちらかにしたいと提案があり、全会一致で施行日は「2021 年 3 月 16 日」とした。
- ◆ MD334 加藤委員より今年度本委員会にて改訂をした各資料の改訂日を本日 2021 年 3 月 16 日にしてはどうかとの提案があり、一同了承した。3.

日本ライオンズ全国大会 (仮称) における YCE 委員会イベント企画について

- ◆ MD334 加藤委員は同企画について、仁科委員長に詳細を尋ねた。
- ◆ 仁科委員長より日本ライオンズはコロナ禍により、当初 YCE イベントの実施を予定していた「日本ライオンズ全国大会 (仮称)」の開催を見合わせた。6/30-7/1 開催予定「モントリオール国際大会 in 沖縄」については、コロナの状況により役員を中心に各地区からの参加数がある程度限定される見込みであることから、YCE 委員会イベントを開催することは非常に難しいとの説明があり、見合わせることを一同申し合わせた。

4. その他

- ◆ MD334 加藤委員より 2021 年冬期交換実施について今年度の委員会の方向性を審議してはどうかとの提案があり、仁科委員長は次回委員会において 2021 年冬期交換実施の方向性を審議することとした。
- ◆ 本委員会委員の留任について MD330 田中委員、MD332 佐藤委員は留任せず、MD334 加藤委員、MD335 吉川委員は留任する予定であると報告があった。

次回委員会：

◆ 2021 年 6 月 2 日 (水)

◆ オンライ開催もしくは集合開催予定

◆ オンライ開催の場合…13 時 15 分～15 時 15 分 (予定)

Zoom オンライ会議システム (WEB) を使用

◆ 集合開催の場合…開催場所および開催時刻とも詳細は追って決定

2021 年 3 月 22 日

議事要録作成人：

MD330YCE 委員 田中 雄一

MD334YCE 委員 加藤 万寿夫

◎日時：2021 年 6 月 2 日（火）13:15～15:15

◎場所：Zoom ウェブ会議システム利用（各 PC から接続）

◎出席者：

一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員長 (MD334 議長)

仁科 良三	(334-E 地区)	長野みすず LC
田中 雄一	(330-C 地区)	狭山 LC
大澤 勝雄	(331-B 地区)	剣路ぬさまい LC
佐藤 和幸	(332-E 地区)	寒河江助龍 LC
小吹 勇	(333-E 地区)	石岡 LC
加藤 万寿夫	(334-B 地区)	土岐織部 LC
吉川 二郎	(335-C 地区)	奈良 LC
高橋 淳	(336-C 地区)	広島デルタ LC
北 由美子	(337-D 地区)	鹿児島第一 LC

オブザーバー

333 複合地区 YCE 特別委員 大久保 雄司 (333-E 地区 水戸 LC)

一般社団法人日本ライオンズ 事務総長

菅原 雅雄 (330-A 地区 東京堀留 LC)

➤ 開会の挨拶 (仁科委員長)

◇ 各地区コロナ禍で大変な時期を過ごされているとは思いますが、コロナウイルスが感染症である限りは人の流れを止めなければならぬということと本委員会も実際に集まることを自粛し、ウェブを使い 2 カ月に一度の頻度で開催し 6 回を数えました。これにつきましては皆様のご協力に感謝いたします。

➤ 本日の出席者確認及び進行について

・仁科委員長は出席者の確認をした。

➤ 議事録作成人の指名

・仁科委員長は MD330 田中委員と MD334 加藤委員を議事録作成人に指名した。

➤ 前回要録の確認

・前回要録の確認をした。

◎ 議案

1. 情報および意見交換 次年度冬期交換について

◇ 仁科委員長は 2021 年冬期交換について各委員の意見を求めた。
◇ 各委員とも 2021 年冬期交換の実施は困難であるとの回答をした。
◇ 仁科委員長は 2021 年冬期交換について「中止」もしくは「開催可否の決定を少し先延ばしにする」の 2 択にて採決を採り、「中止」への賛成多数により、「2021 年冬期交換を中止する」ことを次年度に申し送ることとした。

2. そのほか

(1) 確認 YCE 関連資料について

◇ MD330 田中委員より今回改訂した「YCE 関連資料」を一つにまとめたことと要望があり、MD334 加藤委員は目次を付けワーード版と PDF 版を作成し、配布するとした。
◇ MD336 高橋委員より国際協会の「ユースキャンプに関する方針」について日本においては「青少年交換に関する方針」にて「ユースキャンプ」も網羅しているので、この「ユースキャンプに関する方針」はユースキャンプのみを行う場合の方針のように考えられるがどのように解釈したらいかがとの質問があり、MD334 加藤委員は国際理事会が YCE「一般方針」「ユースキャンプに関する方針」「青少年交換に関する方針」を出して、その方針を資料としており、実際の実施とは多少の齟齬があると感じると回答した。

(2) 意見交換 本年度の感想及び次年度への申し送り事項

◇ MD334 加藤委員より MD334 YCE 委員会は将来 YCE 委員による交渉通信業務を行うにあたり、現在の交渉通信窓口ヨーロッパ 29 カ国との通信業務が過多であるため、縮小せざるを得ない状況である。その場合ヨーロッパとの交換数が激減する可能性があるため、下記のとおりについて次年度への申し送りを要望した。

- i. 次年度の本委員会にて現行の「YCE 海外交渉通信窓口」制度について協議をしたい。
- ii. 「YCE 海外交渉通信窓口」制度を協議するにあたり、次年度は月 1 回の委員会会議の開催を要望したい。

◇ 仁科委員長は MD334 加藤委員から提案の次年度申し送り事項について採決を取り、賛成多数により申し送ることとした。

◇ MD335 吉川委員は次年度、クラブ会長と兼務するため、本委員会開催日をクラブ例会と重ならない水曜日以外にて事前に開催日程を決めたいと要望した。

◇ MD335 吉川委員は MD334 加藤委員の提案を協議するため、ウェブも可能であるが、可能であれば集まって協議したいと要望した。

◇ 仁科委員長は 6 月 20 日以降にもう 1 度、本委員会開催を計画したいとの意向を述べた。その場合は集合とウェブのハイブリッド開催もあり得るとした。

◇ MD334 加藤委員より次年度 7 月中に今年度委員と次年度委員の引継ぎも兼ねて委員会会議開催を要望し、仁科委員長は菅原事務総長と検討したいと回答した。

◇ 仁科委員長より YCE 事業、LEO クラブそして YCE-OB 会の活動が青少年を中心に置き水平展開が出来るよう本委員会の名称を「YLO 委員会 (YCE・LEO・YCE・QB)」とし、全日本レベル、MD レベル、準地区レベルにおいて青少年育成事業を総合的に推進できる体制を整えたいとの提案があり、全員賛成により次年度に申し送ることとした。

2021 年 6 月 5 日

議事要録作成人：田中 雄一 (MD330) ・加藤万寿夫 (MD334)



一般社団法人日本ライオンズ 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-15 JOTO ビル 9 階
Phone: (03) 6262-1263 Fax (03) 3241-4388 E-mail: jlo@jade.plala.or.jp

(Eメール)

2021年8月4日

2021-22年度

各複合地区協議会議長様

各複合地区国際理事候補者推薦委員様

一般社団法人日本ライオンズ
理事長 仁科 良三
国際理事候補者推薦委員会
委員長 下間 俊悦

国際理事候補者推薦委員会の開催について

急啓 昨日の第1回総会後に開催されました新執行理事会で申し合わせ致しました8月10日の標記委員会の開催ですが、現時点では2022-2024年の日本からの国際理事の枠がございません。

したがって、同委員会の開催を延期致しまして、必要な時が参りましたら開催させていただきます。

以上何卒宜しくご了解の程お願い申し上げます。

敬具

2020-21年度ライオン誌日本語版委員会 第9回会議(ウェブ)報告書

日時：2021年4月6日(火) 13:30～15:30

場所：一般社団法人日本ライオンズウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	安澤 莊一 (福島県・白河小峰ライオンズ?)
国際理事	川島 正行 (茨城県・土浦北ライオンズ?)
国際理事	渡部 雅文 (岡山県・倉敷西ライオンズ?)
委員長	団 英男 (335複合地区/兵庫県・神戸みなとライオンズ?)
副委員長	稲岡 敬弘 (332複合地区/秋田ライオンズ?)
編集長	荒井 喜和 (331複合地区/北海道・札幌清田ライオンズ?)
委員	大屋 保 (330複合地区/埼玉県・川越ライオンズ?)
委員	星野 勝美 (333複合地区/群馬県・太田ライオンズ?)
委員	山邊 正重 (334複合地区/長野県・上田城南ライオンズ?)
委員	玉浦 巖 (336複合地区/広島県・三原浮城ライオンズ?)
委員	吉田 勲 (337複合地区/福岡県・北九州紫水ライオンズ?)
一般社団法人専務理事	藤川 清幸 (群馬県・前橋中央ライオンズ?)
一般社団法人常務理事	石橋 貞 (333複合地区議長/栃木県・足利西ライオンズ?)
事務総長	菅原 雅雄 (東京編留ライオンズ?)
ITアドバイザー	莊 英 隆 (東京恵比寿ライオンズ?)
オブザーバー：一般社団法人常務理事	森川 明治郎 (330複合地区議長/埼玉県・坂戸ライオンズ?)

団委員長の開会あいさつの後、各国国際事からあいさつがあった。安澤国際理事からバーチャル国際大会の現在の登録状況、川島国際理事からコロナ禍の現況を鑑みて「モントリオール国際大会 in 沖縄 Japan」中止が決定した件、渡部国際理事からは4月12～21日開催のバーチャル国際理事会に向けた準備態勢について情報が提供された。続いて一般社団法人日本ライオンズの藤川専務理事、石橋常務理事からあいさつがあり、団委員長、荒井編集長の進んで議事に入った。

【議事】

- ライオン誌日本語版の運営
 - 2020-21年度2月度ライオン誌日本語版月次決算
2月は印刷版ライオン誌を発行したため、ライオン誌送料の収支、及び直接出版費が発生

した。ほぼ通常通りの動きだが、支出ではコロナの影響で取材が減った分、経費も少なくなっている。また全国クラブあてに2020年度下半期請求書を発送した送料として通信費約20万円が発生した。2月の収支差額は1,008,627円の赤字、累計では1,077,796円の赤字、半期ごとに精算する一部費用の予算額を差し引いた参考値では約115万円の赤字だった。

2. 本誌関係

- 2021年5・6月号(4月20日発行)台割
台割に従って編集された記事を確認した。「国際理事だより：渡部理事」「編集室：山邊委員/玉浦委員」。取材記事の「奉仕活動」はコロナ禍の影響で本来は6本のところ4本。特別記事「コロナ禍での奉仕活動」(6ページ)は、これまでの取材・投稿で集まった情報を基に工夫を凝らして実施された奉仕活動の事例をまとめた。「OSEAL地域の仲間たち」第2回はグアム。委員担当のシリーズ「クラブ支部」は330複合地区・大屋委員と335複合地区・団委員長の担当。
- 2021年7・8月号(6月18日発行)台割(案)
「国際理事だより：安澤理事」「編集室：団委員長/荒井編集長」。[OSEAL地域の仲間たち]第3回はサイパン・マーシャル諸島で、第2回のグアムに続き204地区ガバナーに情報提供を依頼する。委員担当のシリーズ「クラブ支部」の最終回は331複合地区・荒井編集長と337複合地区・吉田委員の担当。毎年7・8月号に掲載している「2021-22年度地区ガバナー紹介」(4ページ)は、前年度と同様に就任予定者に原稿と顔写真の提供を依頼し記事をとまとめる。「LCIF年次報告」(3ページ)は例年、国際ニュース交換センターからライオン誌用の数ページ分の指定記事が配信されるが、現時点で配信があったのは2019-20年度LCIF年次報告の冊子版(50ページ)のみであるため、今後ライオン誌LINE公式アカウントの登録呼びかけを確認する。また、表4に掲載しているライオン誌LINE公式アカウントの登録呼びかけについて、LINEの情報管理の問題を踏まえて意見を交換。LINEによる対応策が発表されていることや、発信する情報に機密性がないこと、同等の利便性を持つ代替アプリケーションがないことから、LINEの活用や登録呼びかけには問題がないと判断した。

3. ウェブマガジン関係

- 2021年4月号(4月1日更新)出来
ウェブマガジン4月号の出来を確認した。
- 2021年5月号台割(案)
5月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され、承認した。

4. 主要記事予定

- 2020-21年度主要記事予定
現在までに決まっている主要記事予定を確認した。

2020-21年度ライオン誌日本語版委員会 第10回会議(ウェブ) 報告書

日時：2021年5月13日(木) 13:30～15:30

場所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事 安澤 莊一 (福島県・白河小峰ライオンズ?)
 国際理事 川島 正行 (茨城県・土浦北ライオンズ?)
 委員長 団 英男 (335複合地区/兵庫県・神戸みなとライオンズ?)
 副委員長 稲岡 敬弘 (332複合地区/秋田ライオンズ?)
 編集長 荒井 喜和 (331複合地区/北海道・札幌清田ライオンズ?)
 委員 大屋 保 (330複合地区/埼玉県・川越ライオンズ?)
 委員 星野 勝美 (333複合地区/群馬県・太田ライオンズ?)
 委員 山邊 正重 (334複合地区/長野県・上田城南ライオンズ?)
 委員 玉浦 巖 (336複合地区/広島県・三原浮城ライオンズ?)
 委員 吉田 勲 (337複合地区/福岡県・北九州紫水ライオンズ?)

一般社団法人専務理事 藤川 清幸 (群馬県・前橋中央ライオンズ?)

一般社団法人常務理事 石橋 貞 (333複合地区議長/栃木県・足利西ライオンズ?)

事務総長 菅原 雅雄 (東京堀留ライオンズ?)

欠席：国際理事 渡部 雅文 (岡山県・倉敷西ライオンズ?)

ITアドバイザー 荘 英隆 (東京恵比寿ライオンズ?)

オブザーバー：一般社団法人常務理事 森川 明治郎 (330複合地区議長/埼玉県・坂戸ライオンズ?)



団委員長の開会あいさつの後、安澤、川島両国際理事から国際関係の報告とあいさつがあった。安澤国際理事からバーチャル国際大会の登録状況と最新情報、川島国際理事からはコロナ後のライオンズ活動を見据え、メンバーが道に迷うことのないようライオン誌を通じて道筋を示してほしいとの発言があった。続いて、一般社団法人日本ライオンズの藤川専務理事、石橋常務理事からあいさつがあり、団委員長、荒井編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

- 2020-21年度3月度ライオン誌日本語版月次決算

3月は印刷版の発行がないため、ライオン誌送料の収支、及び主な直接出版費は発生しな

●2021年2月取材経費

2月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。

●2021年4月取材経費概算

4月の取材予定経費概算が提出され、承認した。4月中旬から5月上旬に取材を行うウェブマガジン6月号の取材対象が確定していないため、今後、取材候補が決まり次第、経費概算と共に委員会に提出して承認を得る。

5. ライオン誌日本語版の方向性

●ライオン誌意識調査アンケート

前回会議で4～5月の実施を決めた意識調査アンケートの進捗状況が、PR小委員会委員長の星野委員から報告された。各地区から無作為抽出した70クラブに対し、3月26日に協力依頼のEメールを送信し、現在までに93件が提出されている。アンケート提出期限は5月末日までで、6月の第11回委員会で集計結果を検討する。

●ライオン誌ウェブマガジンPRパンフレット

編集部で制作したPRパンフレット案について星野委員から説明があり、内容を検討した。いくつか修正を加えて完成版とし、PDFで配布出来るようにする。前回委員会後、団委員長から濱野雅司グループ・リーダーに第1副地区ガバナー/DGEセミナーでライオン誌とウェブマガジンについて説明して頂けるよう依頼したところ、セミナーではなく4月17日の予備ミーティングの中で時間を提供して頂き、団委員長と星野委員がオンラインで説明することになった。説明資料として事前にPRパンフレットを配付出来るよう準備する。

6. その他

●ライオン誌サポーター・アンケート

ライオン誌3・4月号発行後、ライオン誌サポーターを対象に実施した読後アンケートの回答を確認した。

議案審議の後、一般社団法人日本ライオンズの藤川専務理事から社団及びライオン誌発行に関する業務の見直しに関する提案があり、意見を交換した。

閉会あいさつ 団委員長

【次回以降委員会開催予定】

5月13日(木) 13:30～15:30 第10回会議(ウェブ) *集合会議の予定をウェブに変更

6月8日(火) 13:30～15:30 第11回会議(ウェブ) *状況によって集合会議に変更

かった。ほぼ通常通りの動きだが、新型コロナウイルスの影響でウェブマガジン3月号の取材記事・奉仕活動が通常より1本少なくなり、デジタル版関連費が抑えられた。3月の収支差額は2,836,631円、累計では3,914,427円の黒字で、半期ごとに精算する一部費用の予算額を差し引いた参考値では約57万円の黒字だった。

● 2021-22年度予算案

日本ライオンズの藤川専務理事から、社団で検討中の2021-22年度一般社団法人日本ライオンズ収支予算案が提示された。ライオン誌部門は印刷版年6回発行(36ページ建て)、ウェブマガジン年12回発行、集合委員会は年2回開催とする予算案について説明を受けた。

2. 本誌関係

● 2021年5・6月号(4月20日発行/85,800部)出来

発行済みの5・6月号の出来を確認した。

● 2021年7・8月号(6月18日発行)台割(案)

「国際理事だより：安澤理事」「編集室：団委員長／荒井編集長」。「2021-22年度地区ガバナー紹介」(4ページ)、「2019-20年度LCIF年次報告」(2ページ)を掲載。「OSEAL地域の仲間たち」第3回はサイパン・マーシャル諸島、委員担当のシリーズ「クラブ支部」最終回は331複合地区・荒井編集長と337複合地区・吉田委員の担当で、両複合地区内のクラブ支部を取り上げる。

荒井編集長から掲載に慎重な考慮を要する投稿2件に関する説明があった。原稿の採否は荒井編集長に一任する。

3. ウェブマガジン関係

● 2021年5月号(5月1日更新)出来

公開済みのウェブマガジン5月号の出来を確認した。

● 2021年6月号、7月号台割(案)

6、7月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され、承認した。6月号「奉仕活動」は予定していた取材1件が中止になり2本になった。7月号の未定分は取材対象が固まり次第、資料を提出する。

4. 主要記事予定

● 2020-21年度主要記事予定

現在までに決まっている主要記事予定を確認した。本年度委員会の担当は7・8月号(6月20日発行)までだが、次の9・10月号(8月20日発行)は6月中に主要記事や進行スケジュールを確定して編集作業に入るため、次回委員会(9・10月号台割案(40ページ建て)を検討する。

● 2021年4月取材経費

4月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。

5. ライオン誌日本語版の方向性

● ライオン誌ウェブマガジンの普及

PR小委員会の星野委員長から、4月17日にオンラインで行われた第1副地区ガバナー／DGEセミナー予備ミーティングにおいて、団委員長と共にウェブマガジンの普及推進への協力を依頼したことが報告された。また、前回委員会後に開始し5月末を回答期限として実施中のライオン誌意識調査アンケートの回答数が現時点で337人であること、ライオン誌LINE公式アカウントの登録者数は緩やかに増加しているとの報告があった。

6. その他

● 新型コロナウイルス流行下の取材態勢

コロナ禍の中で実施するクラブ奉仕活動の取材態勢について確認。引き続き、クラブ側で受け入れ可能な場合は感染対策を取った上で取材を行い、必要な場合にはライオン誌負担で事前に取材担当者がPCR検査を受ける。

● ライオン誌サポーター・アンケート

ライオン誌サポーターを対象に実施した、印刷版5・6月号とウェブマガジンの読後アンケートの回答を確認した。

● 『ライオン誌』定期購読継続の案内と請求

現在ライオン誌を定期購読している約200クラブに対して、2021-22年度継続購読の案内と、中止・変更がある場合の届け出を求める案内文を確認した。案内はメールで送付し、中止の届け出がなかったクラブには、7月1日に次年度分の請求書を発送する。

閉会あいさつ 団委員長

【次回委員会開催予定】

6月 8日(火) 13:30～15:30 第11回会議(ウェブ)

2020-21年度ライオン誌日本語版委員会 第11回会議(ウェブ)報告書

日時：2021年6月8日(火)13:30～15:30

場所：一般社団法人日本ライオンズウェブ会議システム・Zoom

- 出席者：国際理事 安澤 莊一 (福島県・白河小峰ライオンズ?)
 国際理事 渡部 雅文 (岡山県・倉敷西ライオンズ?)
 委員長 岡 英男 (335複合地区/兵庫県・神戸みみなとライオンズ?)
 副委員長 福岡 敬弘 (332複合地区/秋田ライオンズ?)
 編集長 荒井 喜和 (331複合地区/北海道・札幌清田ライオンズ?)
 委員 大屋 保 (330複合地区/埼玉県・川越ライオンズ?)
 委員 星野 勝美 (333複合地区/群馬県・太田ライオンズ?)
 委員 山邊 正重 (334複合地区/長野県・上田城南ライオンズ?)
 委員 玉浦 巖 (336複合地区/広島県・三原浮城ライオンズ?)
 一般社団法人専務理事 藤川 清幸 (群馬県・前橋中央ライオンズ?)
 一般社団法人常務理事 石橋 貞 (333複合地区議長/栃木県・足利西ライオンズ?)
 事務総長 菅原 雅雄 (東京残留ライオンズ?)
 ITアドバイザー 莊 英隆 (東京恵比寿ライオンズ?)
 欠席：国際理事 川島 正行 (茨城県・土浦北ライオンズ?)
 委員 吉田 勲 (337複合地区/福岡県・北九州紫水ライオンズ?)



団委員長の開会あいさつの後、安澤、渡部両国際理事からのあいさつと国際関係の情報提供に続いて、一般社団法人日本ライオンズの藤川専務理事、石橋常務理事からあいさつがあり、団委員長、荒井編集長の進行で議事に入った。

【議事】

- ライオン誌日本語版の運営
 - 2020-21年度4月度ライオン誌日本語版月次決算
 - 4月は印刷版を発行したため、ライオン誌送料の収支、及び直接出版費が発生した。ほぼ通常通りの動きで、収入では国際協会から2020年度下半期分の翻訳料補助金76,371円が入金された。支出ではコロナの影響で取材が減った分、経費も少なくなっている。4月の収支差額は69,5148円の赤字、累計では3,219,279円の黒字、半期ごとに精算する一部費用の予算額を差し引いた参考値では約125万円の赤字だった。

- 2021-22年度予算
前回会議で委員会に提示された2021-22年度予算案は、5月17日開催の日本ライオンズ第5回理事会で承認されたとの報告が、藤川専務理事からあった。

委員会から社団理事会に提出した事務所統合時にライオン誌が有していた剰余金をライオン誌発行の指定正味財産とする要望に関して、藤川専務理事から第5回理事会での審議結果の報告を受けた。理事会では委員会が提案する印刷版年6回発行の継続が賛成多数で承認されたこと、正味財産は現状通り無指定のままにすること、今後国際協会補助金がゼロになった場合を含め発行費用に不足が生じた場合は正味財産を活用すること、の説明があった。

団委員長が委員会の要望を取りまとめた財務小委員会メンバーに意見を求めた後、読者であるメンバーのためにより良いライオン誌を発行したいというのがライオン誌委員の総意であり、委員会が実施したアンケートで印刷版を必要とするメンバーが多いという結果が出ていることを踏まえつつ、今後の方向性を打ち出していきたいと述べた。

2. 本誌関係

- 2021年7-8月号(6月18日発行)台割
前回検討した台割案に従って編集された記事を確認した。「国際理事だより：安澤理事」「編集室：団委員長／荒井編集長」。「奉仕活動」記事は通常より1本少ない5本、「2021-22年度地区ガバナー紹介」「2019-20年度ICIF年次報告」を掲載。「OSEAL地域の仲間たち」第3回はサイパン・マーシャル諸島を紹介する。委員担当のシリーズ「クラブ支部」は331複合地区・荒井編集長と337複合地区・吉田委員の担当でこの号が最終回となる。

- 2021年9-10月号(8月20日発行)台割(案)
9-10月号からは次年度委員会の担当号となるが、6月末から編集作業に入る必要があるため今期委員会で40ページの台割案を検討した。新年度に入って最初の発行号で、表紙は国際本部から配信される新国際会長の写真に掲載。同じく本部配信の「21-22年度国際会長テーマ」と、バーチャル国際大会の取材記事を掲載する。国際大会は編集担当職員1人が大会登録を行って取材しウェブマガジン「ニュース」に随時記事を書き、印刷版にはそれらを1本にまとめて掲載する。「国際理事だより」は新任理事2人に原稿を依頼、「編集室」は留任する委員の中から委員長・編集長が担当を指名する。

3. ウェブマガジン関係

- 2021年6月号(6月1日更新)出来
ウェブマガジン6月号の出来を確認した。
- 2021年7月号(7月1日更新)台割(案)
7月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され、承認した。「奉仕活動」は通常3本のところ、取材対象に挙げたクラブの活動の実施日が予定より遅れ次号以降の掲載となることから、この号の記事は2本となる。

4. 主要記事予定

- 2020-21年度主要記事予定
現在までに決まっている主要記事予定を確認した。
- 2021年5月取材経費
5月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。
- 2021年6月取材経費概算
6月の取材予定経費概算が提出され、承認した。6月中旬から7月上旬に取材を行うウェブマガジン8月号の取材候補が決まっていないため、今後候補が決まり次第、経費概算と共に委員会に提出して承認を得る。

5. ライオン誌日本語版の方向性

- ライオン誌意識調査アンケート
ウェブマガジンの普及促進に向け、メンバーの需要度を把握するために実施したライオン誌意識調査アンケートの結果について、集計を担当したPR小委員会の星野委員長が報告した。アンケートは各地区から2クラブを無作為抽出して協力を依頼し、4～5月にかけて実施。482人の回答を得た。

【星野小委員長報告】

- 印刷版は回答者の92%が程度の差はあっても目を通し、72%がライオンズ活動に役立っていると評価
- ウェブマガジンの認知度は「定期的に見ている」「見たことがある」は合わせて52%、「見たことがない」48%で、現在は認知度が低い
- ウェブマガジン活用について「既に活用」は28%、「今後は閲覧したい」「利用法を教えてもらえれば閲覧したい」は合わせて42%で今後の対策によって活用者になる可能性大。一方で、30%はウェブ閲覧に否定的だった
- パソコン利用者は76%、スマートフォン利用者は86%、SNSではLINE利用者が62%と最多。ウェブマガジン閲覧に必要な電子機器や、SNSは十分普及している
- 約3割がウェブマガジンの読者になるのは困難と回答している現状では、印刷版の継続は必要である。ウェブマガジン活用に肯定的な約7割がウェブマガジンに親しむようになれば、印刷版は年4回発行にすることも可能ではないか。そのためには来期も継続し、ウェブマガジンのプロモーションに努める必要がある。私見だが、それに加えてウェブマガジンの内容を奉仕活動だけでなく印刷版並みに充実させることも必要と考える。

報告を受けた後、団委員長が出席者に順次発言を求めて意見を交換した。

【出席者意見】

- パソコンやスマートフォン利用者の比率が高い割にEメール利用者が少なく、メールだけに頼らない方法を模索する必要がある

- スマートフォンでのウェブマガジン閲覧は見出しを読み流すだけになってしまふ
- 電子機器を使いこなせていないメンバーも多く、ウェブマガジンの活用方法を知らず講習などを開いてはどうか
- ライオン誌の記事は過去の報告など古い情報ばかりなので、ウェブマガジンには即時性のある記事や新しい情報を載せていくべき
- 国内のLINE利用率は非常に高くクラブでの活用も進んでおり、これを活用していくことが有効
- アンケートと併せてPR小委員会から提案され、作成したウェブマガジンPRパンフレットの活用を各複数地区で進めていくことも重要

調査報告と意見交換を踏まえて、現状では印刷版の発行継続が必要であることを確認すると共に、将来的なウェブマガジン移行を見据えて中長期的な方向性を打ち出していくこと、パンフレットを活用したウェブマガジンのPR推進を次期に申し送る。

6. その他

- ライオン誌掲載記念品
印刷版「獅子吼」に掲載されたメンバーに記念品として社会福祉法人神戸福祉会クッキー工房マミーのクッキーを贈呈している。7月1日からマミーの商品が値上げされるため、年間約8,000円の経費増となる。値上げ後も同商品を記念品とすることを決定した。

議案審議の後、今年度第12回委員会について検討。7月8日にウェブ会議で開催し、ライオン誌委員会の職権委員となる2021～23年国際理事と、次年度新任委員にも出席を要請する。

閉会あいさつ 団委員長

【次回以降委員会開催予定】

7月8日(木) 13:30～15:30 第12回会議 (ウェブ)

2020-21年度ライオン誌日本語版委員会 第12回会議(ウェブ)

日時：2021年7月8日(木) 13:30～15:30

場所：一般社団法人日本ライオンズウェブ会議システム・Zoom

出席者：元国際理事

安澤 莊一 (福島県・白河小峰ライオンズ?)

国際理事

川島 正行 (茨城県・土浦北ライオンズ?)

国際理事

渡部 雅文 (岡山県・倉敷西ライオンズ?)

委員長

団 英男 (335複合地区/兵庫県・神戸みなとライオンズ?)

副委員長

稲岡 敬弘 (332複合地区/秋田ライオンズ?)

編集長

荒井 喜和 (331複合地区/北海道・札幌清田ライオンズ?)

委員

大屋 保 (330複合地区/埼玉県・川越ライオンズ?)

委員

星野 勝美 (333複合地区/群馬県・太田ライオンズ?)

委員

山邊 正重 (334複合地区/長野県・上田城南ライオンズ?)

委員

玉浦 巖 (336複合地区/広島県・三原浮城ライオンズ?)

委員

吉田 勲 (337複合地区/福岡県・北九州紫水ライオンズ?)

一般社団法人専務理事

藤川 清幸 (群馬県・前橋中央ライオンズ?)

一般社団法人常務理事

石橋 貞 (333複合地区議長/栃木県・足利西ライオンズ?)

事務総長

菅原 雅雄 (東京残留ライオンズ?)

欠席：ITアドバイザー

莊 英隆 (東京恵比寿ライオンズ?)

オブザーバー：21～23年国際理事

藏 大介 (石川県・金沢伏見ライオンズ?)

21～23年国際理事

永田 賢司 (京都洛陽ライオンズ?)

21-22年度委員

高堂 裕 (332複合地区/秋田中央ライオンズ?)



団委員長の開会あいさつとオブザーバー出席者紹介の後、安澤元国際理事、川島、渡部、藏、永田各国際理事からのあいさつ、一般社団法人日本ライオンズの藤川専務理事、石橋常務理事からのあいさつがあり、続いて団委員長が今年度で退任する出席者に対して謝辞を述べた。その後、団委員長、荒井編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2020-21年度5月度ライオン誌日本語版月次決算

5月は印刷版ライオン誌の発行がないため、ライオン誌送料の収支、及び主な直接出版費は発生しなかった。通常通りの動きで、5月の収支差額は2,852,054円、累計では6,071,333円の赤字で、半期ごとに精算する一部費用の予算額を差し引いた参考値では

約50万円の赤字だった。

●2021-22年度以降の会計報告

社団の藤川専務理事から、今年度までは一般社団法人日本ライオンズの法人部門とライオン誌部門の部門別会計報告を作成していたが、2021-22年度から部門別集計を行わない方向で検討していること、その場合はライオン誌委員会では直接出版費、デジタル版関連費、委員会費の使用状況のみの報告となることが説明され、了承した。

2. 本誌関係

●2021年7・8月号(6月18日発行/85,800部)出来
発行済みの7・8月号の出来を確認した。

●2021年9・10月号(8月20日発行)台割(案)

「国際理事日より：藏国際理事、永田国際理事」「編集室：星野委員」。新年度関係の記事として国際本部配信の指定記事「国際会長テーマ」(4ページ)、取材記事の「バーチャル国際大会」(4ページ)を掲載する。「ライオンズ・インフォメーション」の「日本ライオンズ情報」はこの号に載せるべき情報がないとのこととで休載とする。

城阪勝喜元アドバイザーから打診のあった「日本ライオンズ大学校」に関する原稿の掲載について検討。大半の会員は大学校設立を全く知らないと思われ、ことから、設立の目的や経緯を含めて原稿をまとめていただいたら、原稿が寄せられた時点で調整可能な号に掲載する。

3. ウェブマガジン関係

●2021年7月号(7月1日更新)出来
公開済みのウェブマガジン7月号の出来を確認した。

●2021年8月号(8月1日更新)更新予定

前回委員会後に確定した8月号の更新予定と取材経費は7月半ばに各委員へ送付し、委員長、編集長が承認済み。8月中旬までに取材を行う9月号は編集部で取材交渉中のため、案がまとまり次第、更新予定と取材経費を各委員へ送付する。

●コンテンツ追加(活動告知カレンダー、各種資料)

前回委員会で提案のあったクラブの活動告知カレンダー掲載は、ウェブマガジン構築を進めた2017-18年度ライオン誌日本語版委員会でも協議されたが、MyLionに同様の機能があることを理由に導入を見合わせたことを、当時の委員会報告書の記載で確認した。活動告知カレンダーはいくつかの準地区ウェブサイトが掲載しており、その利用状況を確認するなど、全国レベルでの必要性や運用方法を慎重に検討した上で判断するよう次年度委員会に申し送る。

4. 主要記事予定

●2020-21年度主要記事予定

今年度委員会が担当する印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2021年6月取材経費
6月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。
- 5. ライオン誌日本語版の方向性
 - ライオン誌意識調査とウェブマガジン普及策
今年度委員会で実施したライオン誌意識調査のまとめとなる原稿案が、PR小委員会の星野委員長から提出され検討した。調査結果を踏まえた今後の方針に関する部分の表現を一部修正した上、印刷版9・10月号「編集室」に掲載する。
- 6. その他
 - ライオン誌サポーター・アンケート
7月1日～6日に実施した印刷版7・8月号及びウェブマガジンの読後アンケートの回答を確認した。2021-22年度サポーターの協力を今年度と同様に各地区へ依頼する。
 - 2021年クラブ・アンケートの実施
前年度の会員動静に関する調査とライオン誌記事編集の材料となるアクティビティ情報の収集のため、毎年年度初めにServannA(サバンナ)を利用して実施しているアンケートの質問項目を確認。2021年も例年同様に実施する。
 - ServannA(サバンナ)ライオン誌発送専用ページ
サバンナ未使用地区のクラブにライオン誌発送用住所を登録・更新してもらった後、(株)ジェーピーインターナショナルに発注した追加ページが近々完成する。完成後、該当地区には同サイトを利用するか、あるいは地区が作成したライオン誌発送用住所リストを提供するかを選択していただく。
 - ライオン誌所蔵資料のデジタル化
第8回委員会でデジタル化を進めることを決めたライオン誌所蔵の16mmフィルム3本のうち、1本をデジタル化したことが報告された。見積もりを取った2社のうちより安価な(株)シネヴィスに発注し、DVD1枚とMP4データの納品で料金は34,650円。デジタル化した映像を委員に配布し確認した上で、残る2本のデジタル化を順次進める。
 - ライオン誌日本語版出版物
ライオン誌日本語版委員会が作成・販売したライオンズ文庫「ライオンズ・スクール上級編」(初版2004年)、「ライオンズ力を高める」(初版2013年)は発行から時間が経過していることから、2020-21年度末で廃棄することが第8回委員会で決定された。6月末に「ライオンズ・スクール上級編」2,094冊、「ライオンズ力を高める」2,735冊、原価合計50万3,701円を廃棄処分としたことが報告された。

閉会あいさつ 団委員長

【2021-22年度 第1回委員会開催予定】

8月17日(火) 13:30～15:30 第1回会議(ウェブ) ※仮日程

2020－2021年度
一般社団法人日本ライオンズ会計報告書(案)

2021年7月15日 会計監査

I 貸借対照表

一般社団法人日本ライオンズ

2021年6月30日現在

(2020.6.30)

(単位：円)

科 目	当年度末A	前年度末B	差異 (A-B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	28,828	4,560	24,268
銀行預金	516,495,876	510,783,319	5,712,557
郵便貯金	1,461,925	1,461,913	12
郵便振替	7,329,884	6,018,163	1,311,721
未収入金 (注1)	8,875,876	9,330,568	△ 454,692
前払費用	0	73,300	
頒布品	103,297	797,031	△ 693,734
流動資産合計	534,295,686	528,468,854	5,826,832
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産	0	0	0
(3) その他の固定資産			
敷金	11,976,840	11,976,840	0
什器備品	217,273	325,907	△ 108,634
その他固定資産合計	12,194,113	12,302,747	△ 108,634
固定資産合計	12,194,113	12,302,747	△ 108,634
資産合計	546,489,799	540,771,601	5,718,198
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	262,000	157,400	104,600
オリンピック支援預り金	212,548,570	209,007,253	3,541,317
アラート委員会預り金	8,525,057	11,093,055	△ 2,567,998
未払消費税	534,400	297,300	237,100
未払金 (注2)	4,133,288	3,939,269	194,019
流動負債合計	226,003,315	224,494,277	1,509,038
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	226,003,315	224,494,277	1,509,038
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	320,486,484	316,277,324	4,209,160
正味財産合計	320,486,484	316,277,324	4,209,160
負債及び正味財産合計	546,489,799	540,771,601	5,718,198

注： 1. 未収入金の内容は次の通りです。

国際協会PR補助金	8,860,065	下半期(12月～6月分) 82,700人(暫定) ×1ドル (107.135001円)
頒布品売上代金	15,811	ライオンズ文庫
合計	8,875,876	

2. 未払金の内容は次の通りです。

社会保険料	359,901	6月事業主負担分
各種会議旅費	269,000	下半期振込未精算分(6月30日開催 第4回社員総会旅費他)
共同印刷(株)	1,934,900	ライオン誌7・8月号印刷費
(株)宛名商会本店	601,865	ライオン誌7・8月号発送作業費
障害者支援情報センター	234,500	ライオン誌7・8月号発送作業費
佐川急便(株)	537,944	ライオン誌7・8月号送送料等
取材交通費	195,178	ライオン誌 6/24-25, 6/25-26取材分
合計	4,133,288	

II 正味財産増減計算書

一般社団法人日本ライオンズ

2020年7月1日～2021年6月30日

(単位：円)

科 目	当年度A	前年度B	差異 (A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取賛助会費	81,245,280	84,466,080	△ 3,220,800
② 寄付金	153,891	815,367	△ 661,476
③ 国際協会補助金 (注1)	17,721,862	37,994,154	△ 20,272,292
④ 国際協会翻訳料	132,871	128,700	4,171
⑤ ライオン誌送料収益	25,227,057	26,102,340	△ 875,283
⑥ 広告料	283,140	172,656	110,484
⑦ 受取利息	22	22	0
⑧ 雑収益	360,528	476,680	△ 116,152
⑨ 各種会議旅費分担金収益	89,000	3,739,544	△ 3,650,544
⑩ 頒布品収益 (注2)	18,955,220	10,460,567	8,494,653
経常収益合計	144,168,871	164,356,110	△ 20,187,239
(2) 経常費用			
① ライオン誌直接出版費	(47,406,924)	(50,910,312)	△ 158,905
印刷費	11,497,200	13,050,600	△ 1,553,400
ライオン誌送料	25,808,158	26,499,619	△ 691,461
発送事務費	5,197,083	5,921,918	△ 724,835
旅費交通費	0	312,972	△ 312,972
編集関係諸費	75,420	221,864	△ 146,444
原稿料・編集費 (注3)	4,827,600	1,558,070	3,269,530
広告関係諸費	1,463	786	677
② デジタル版関連費 (ウェブマガジン)	(4,752,642)	(6,775,206)	△ 2,022,564
旅費交通費	2,045,322	2,292,278	△ 246,956
原稿料・編集費	1,669,800	3,072,960	△ 1,403,160
サーバー管理費	971,520	965,484	6,036
その他	66,000	444,484	△ 378,484
③ 各種委員会会議 (注4)	(395,792)	(6,262,075)	△ 5,866,283
旅費交通費	328,880	6,022,513	△ 5,693,633
会議費	46,365	217,266	△ 170,901
雑費	20,547	22,296	△ 1,749
④ 頒布品原価	11,579,784	6,407,183	5,172,601
⑤ 事務費	(75,796,237)	(105,185,776)	△ 29,389,539
理事会旅費	4,467,653	5,891,718	△ 1,424,065
会計監査旅費	206,468	530,396	△ 323,928
国際大会・アジアフォーラム関係費	5,600	137,480	△ 131,880
NLLI次世代セミナー会場費補助	0	370,000	△ 370,000
マスク34万枚支援補助	0	14,973,652	△ 14,973,652
人件費 (注5)	40,384,214	48,032,860	△ 7,648,646
福利厚生費 (注5)	5,958,004	7,671,923	△ 1,713,919
旅費交通費	1,799,996	2,220,166	△ 420,170
印刷費	369,926	374,294	△ 4,368
通信費	1,203,823	1,350,690	△ 146,867
備品・消耗品費	257,934	327,592	△ 69,658
事務用品費	548,946	1,836,332	△ 1,287,386
図書費	68,432	71,978	△ 3,546
リース・レンタル料	554,208	443,232	110,976
IT関連費	1,465,970	1,969,604	△ 503,634
支払手数料	271,706	269,411	2,295
顧問料	1,188,000	1,182,600	5,400
地代家賃	14,654,712	15,208,484	△ 553,772
水道光熱費	754,579	785,153	△ 30,574
雑費	910,632	996,828	△ 86,196
減価償却費	108,634	243,633	△ 134,999
租税公課	616,800	297,750	319,050
経常費用合計	139,931,379	172,196,069	△ 32,264,690
当期経常増減額	4,237,492	△ 7,839,959	12,077,451
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失	28,332	0	28,332
経常外費用合計	28,332	0	28,332
当期経常外増減額	△ 28,332	0	△ 28,332
当期一般正味財産増減額	4,209,160	△ 7,839,959	12,049,119
一般正味財産期首残高	316,277,324	324,117,283	△ 7,839,959
一般正味財産期末残高	320,486,484	316,277,324	4,209,160
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	320,486,484	316,277,324	4,209,160

- 注： 1. 国際協会補助金減少の要因は、国際理事会方針変更により年4回発行4ドルから、年2回発行2ドル（半期1ドル）に改定されたためです。
 2. 頒布品収益増加の要因は、ライオンズ必携第59版売上12,909,400円です。前年度ライオンズ必携は発行しておりません。
 3. ライオン誌直接出版費・原稿料・編集日増加の要因は、職員1名の退職に伴い本誌レイアウトを外注に切り替えたためです（726,000円×6回）。
 4. 各種委員会会議等減少の要因は、新型コロナの影響により集会議及び集合参加が減りウェブ会議及びウェブ参加が増えたためです。
 5. 人件費及び福利厚生費減少の要因は、職員2名の退職（2020年3月退職、2021年4月退職）によるものです。

Ⅲ 財産目録
一般社団法人日本ライオンズ
 2021年6月30日現在

(単価：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金及び預金			
現金	手許保管	運転資金として保管している	28,828
銀行預金	三菱東京UFJ銀行京橋支店(普) 0548024	運転資金として保管している	1,856,922
	三菱東京UFJ銀行京橋支店(普) 0548320	運転資金として保管している	293,565,327
	三菱東京UFJ銀行京橋支店(普) 0604392	オリンピック・パラリンピック支援金を預かっている	212,548,570
	三菱東京UFJ銀行京橋支店(普) 0847891	アラート委員会緊急支援金を預かっている	8,525,057
郵便貯金	ゆうちょ銀行〇一八支店(普) 8930855	運転資金として保管している	1,461,925
郵便振替	ゆうちょ銀行〇一九支店(当座) 00170-8-514451	運転資金として保管している	7,329,884
		(現金及び預金合計)	525,316,513
未収入金	国際協会PR補助金	2021年1月～6月分82,700人(暫定)※\$1(¥107.135001)	8,860,065
	頒布品売上代金	ライオンズ文庫代	15,811
		(未収入金合計)	8,875,876
頒布品	事務所内/ライオンズ必携第59版 111冊@118円	2020年10月20日発行2020-21年度(会議資料・頒布単価200円)	13,098
	事務所内/ライオンズクラブ役員必携 51冊@293円	2020年11月20日発行2020-21年度(会議資料・頒布単価500円)	14,943
	事務所内及び倶楽部名商会本店倉庫		
	ライオンズ・スクール初級編818冊@92円	2019年10月1日発行第4版第2刷(ライオン誌頒布単価400円)	75,256
	(ライオンズクラブ入門 85冊/733冊)		
		(頒布品合計)	103,297
流動資産合計			534,295,686
(固定資産)			
敷金	三菱地所リアルエステートサービス(株)	JOTOビル9階901号室(52.53坪/173.67㎡)	11,976,840
		(敷金合計)	11,976,840
什器備品	事務所内設置の備品等	会議用テーブル・イス・書類ロッカー(連絡事務所)	1
		職員用事務机・椅子6セット(ライオン誌)	217,271
		富士ゼロックス・A3カラーレーザープリンター(ラ誌)	1
		(什器備品合計)	217,273
固定資産合計			12,194,113
資産合計			546,489,799
(流動負債)			
預り金	諸税	職員給与預かり住民税	262,000
オリンピック支援預り金	法人会計	オリンピック・パラリンピック支援金を法人口座で預かっている	212,548,570
アラート委員会預り金	法人会計	アラート委員会緊急支援金を法人口座で預かっている	8,525,057
		(預り金合計)	221,335,627
未払消費税	京橋税務署	2020-2021年度消費税(JLO490,600/ラ誌43,800)	534,400
		(未払消費税合計)	534,400
未払金	日本年金機構中央年金事務所	社会保険料6月分(JLO58,254/ラ誌301,647)	359,901
	各種会議旅費	2021年4月～6月分 振込未精算分	269,000
	共同印刷株式会社	ライオン誌本誌7・8月号印刷代	1,934,900
	株式会社宛名商会本店	ライオン誌本誌7・8月号発送作業費、倉庫保管料	601,865
	特定非営利活動法人 障害者支援情報センター	ライオン誌本誌7・8月号発送事務費	234,500
	佐川急便株式会社	ライオン誌本誌7・8月号送料等	537,944
	取材交通費	ライオン誌(井原6/24-25¥73,740、CUBE6/25-26¥121,438)	195,178
		(未払金合計)	4,133,288
流動負債合計			226,003,315
固定負債合計			0
負債合計			226,003,315
正味財産			320,486,484

日本ライオンズ オリンピック・パラリンピック支援協力金口座 特別会計

(1) 貸借対照表
2021年6月30日現在

(単位：円)

借方	金額	貸方	金額
<流動資産計>	212,548,570	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023 - 0604392 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ」	212,548,570	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		残高	212,548,570
合計	212,548,570	合計	212,548,570

(2) 収支計算書

自 2015年7月1日
至 2021年6月30日

(単位：円)

支出の部	金額	収入の部	金額
<支出計>	280,540,926	<収入計>	493,089,496
パラサポート選手育成支援金 2018年5月交付(148人) 91,350,000 2018年返戻金(1人) (580,000) 2019年5月交付(186人) 101,560,000	192,330,000	会員協力金拠出 MD330内拠出金 93,979,506 MD331内拠出金 28,494,000 MD332内拠出金 45,598,636 MD333内拠出金 53,996,000 MD334内拠出金 78,964,000 MD335内拠出金 60,781,500 MD336内拠出金 67,800,250 MD337内拠出金 63,467,000 会員協力拠出金合計 493,080,892	493,080,892
次世代Tシャツ・タオル支援 (㈱東亜パッチ・トロフィー)	3,000,000		
1000年オリーブ植樹 オリーブ(南薔薇園植物場) 12,808,800	15,212,300		
モニュメント モニュメント制作費用 39,490,000 モニュメント式典費用 268,400 (㈱丹青社)	39,758,400		
パラ競技招待事業 初回申込金 30,000,000 (㈱近畿日本ツーリスト首都圏)	30,000,000		
支払手数料 振込手数料 240,226	240,226	受取利息	8,604
残高	212,548,570		
合計	493,089,496	合計	493,089,496

日本ライオンズ東京オリンピック・パラリンピック支援金一覧

(単位:円)

MD	地区名	2015-2016年度	2016-2017年度	2017-2018年度	2018-2019年度	2019-2020年度	2020-2021年度	地区累計額
330	330-A地区	17,002,000	8,084,000	7,906,000	8,054,000			41,046,000
	330-B地区	10,000,000	10,000,000	7,926,454	6,523,569			34,450,023
	330-C地区	7,640,125	3,592,358	3,714,000	3,537,000			18,483,483
	MD330計	34,642,125	21,676,358	19,546,454	18,114,569	0		93,979,506
331	331-A地区	1,060,000	2,350,125	2,290,500	2,264,625	2,236,500		10,201,750
	331-B地区	0	2,261,000	2,179,000	2,148,000	4,118,000		10,706,000
	331-C地区	0	1,945,000	1,910,000	1,890,000	1,841,250		7,586,250
	MD331計	1,060,000	6,556,125	6,379,500	6,302,625	8,195,750		28,494,000
332	332-A地区	1,704,000	1,685,000	1,735,000	1,687,000	1,617,000		8,428,000
	332-B地区	1,539,000	1,523,000	1,485,000	1,476,000	1,421,000		7,444,000
	332-C地区	1,359,000	1,371,500	1,307,500	1,317,500	1,274,000		6,629,500
	332-D地区	1,937,136	1,963,000	1,954,000	1,974,000	1,887,000		9,715,136
	332-E地区	1,675,000	1,658,000	1,654,000	1,620,000	1,545,000		8,152,000
	332-F地区	1,086,000	1,073,000	1,027,000	1,045,000	999,000		5,230,000
	MD332計	9,300,136	9,273,500	9,162,500	9,119,500	8,743,000		45,598,636
333	333複合地区 (333-A、B、 C、D、E地区) 一括	10,966,000	10,969,000	10,871,000	10,718,000	10,472,000		53,996,000
334	334-A地区	0	9,046,000	4,358,000	4,244,000	4,062,000		21,710,000
	334-B地区	3,104,000	3,019,000	3,019,000	2,995,000	2,948,500		15,085,500
	334-C地区	2,993,000	2,909,000	2,915,000	2,820,000	2,798,000		14,435,000
	334-D地区	3,815,000	3,773,500	3,766,500	3,741,500	3,636,000		18,732,500
	334-E地区	1,828,000	1,850,000	1,841,000	1,782,000	1,700,000		9,001,000
	MD334計	11,740,000	20,597,500	15,899,500	15,582,500	15,144,500		78,964,000
335	335-A地区	1,971,000	1,919,000	1,841,000	1,824,000	1,766,000		9,321,000
	335-B地区	5,188,000	5,094,000	4,925,000	4,984,000	4,883,000		25,074,000
	335-C地区	3,729,000	3,637,000	3,563,000	3,570,000	3,513,000		18,012,000
	335-D地区	1,742,000	1,708,500	1,655,500	1,630,500	1,638,000		8,374,500
	MD335計	12,630,000	12,358,500	11,984,500	12,008,500	11,800,000		60,781,500
336	336-A地区	0	7,506,000	7,561,500	9,808,000			24,875,500
	336-B地区	2,803,000	2,813,000	2,695,000	2,584,000	2,511,000		13,406,000
	336-C地区	3,130,000	3,106,000	2,992,000	2,943,000	2,824,000		14,995,000
	336-D地区	3,762,500	3,708,750	3,580,000	3,472,500	(4年間で徴収済)		14,523,750
	MD336計	9,695,500	17,133,750	16,828,500	18,807,500	5,335,000		67,800,250
337	337-A地区	4,349,000	4,268,000	4,213,500	4,153,000	4,102,500		21,086,000
	337-B地区	2,150,000	2,131,000	2,124,000	2,101,000	2,097,000		10,603,000
	337-C地区	0	5,502,000	2,676,500	2,584,000	2,445,500		13,208,000
	337-D地区	2,267,000	2,210,500	2,169,500	2,112,000	2,011,500		10,770,500
	337-E地区	1,554,000	1,554,500	1,565,500	1,563,500	1,562,000		7,799,500
	MD337計	10,320,000	15,666,000	12,749,000	12,513,500	12,218,500		63,467,000
	MD合計/A	100,353,761	114,230,733	103,420,954	103,166,694	71,908,750		493,080,892
その他	受取利息/B	13	1,246	1,475	2,105	1,928	1,837	8,604
	合計(A+B)	¥100,353,774	¥114,231,979	¥103,422,429	¥103,168,799	¥71,910,678	¥1,837	¥493,089,496

日本ライオンズ・アラート委員会緊急支援金口座 特別会計

(1) 貸借対照表
2021年6月30日現在

(単位：円)

借方	金額	貸方	金額
<流動資産計>	8,525,057	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023-0847891 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ・ アラート委員会 委員長 小林 聡」	8,525,057	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		次期繰越金	8,525,057
合計	8,525,057	合計	8,525,057

(2) 収支計算書

自 2020年7月1日
至 2021年6月30日

(単位：円)

支出の部	金額	収入の部	金額
<支出計>	21,725,227	<収入計>	30,250,284
2020年7月豪雨災害支援 337-E地区(熊本県) 7月支援分 8,802,390 8月支援分 2,211,649	11,014,039	緊急支援金拠出(2020年7月水害支援) MD330内拠出金 660,786 MD331内拠出金 MD332内拠出金 4,006,165 MD333内拠出金 2,263,500 MD334内拠出金 MD335内拠出金 11,559,145 MD336内拠出金 MD337内拠出金 667,500 その他/振込人不明 0 緊急支援金合計 19,157,096	19,157,096
アラート活動費 7月熊本豪雨災害視察交通費2人 93,340 11/27アラート全体会議会場費 104,020 11/27アラート役員旅費補助6人 166,000 支払手数料 5,830	369,190	受取利息	133
2021年2月福島県沖地震災害支援 332-D地区(相馬LC、新地LC) ブルーシート、ロープ、土のう袋	407,220	前年度繰越金	11,093,055
2020年12月～2021年1月 新型コロナウイルス感染対策支援 旭川への支援物資 3,000,470 グアムへの支援物資 6,934,308	9,934,778		
次期繰越金	8,525,057		
合計	30,250,284	合計	30,250,284

【累計報告】 日本ライオンズ・アラート委員会緊急支援金口座 特別会計

(1) 貸借対照表
2021年6月30日現在

(単位：円)

借方	金額	貸方	金額
<流動資産計>	8,525,057	<流動負債計>	0
普通預金/三菱UFJ銀行・京橋支店 No. 023-0847891 口座名義「一般社団法人日本ライオンズ・ アラート委員会 委員長 小林 聡」	8,525,057	預り金	0
		未払金	0
<固定資産計>	0	<固定負債計>	0
		次期繰越金	8,525,057
合計	8,525,057	合計	8,525,057

(2) 収支計算書

自 2019年10月28日
至 2021年6月30日

(単位：円)

支出の部	金額	収入の部	金額
<支出計>	32,727,605	<収入計>	41,252,662
2019年台風19号水害支援		緊急支援金拠出(2019年台風19号水害支援)	
MD330	223,790	MD330内拠出金	730,974
指定寄付	722,030	MD331内拠出金	500,000
お見舞金	270,000	MD332内拠出金	510,500
返戻金	(768,240)	MD333内拠出金	1,143,000
MD332	6,223,971	MD334内拠出金	1,398,367
指定寄付	1,548,471	MD335内拠出金	7,581,599
お見舞金	1,440,000	MD336内拠出金	5,058,446
丸森町商工会(電子レンジ)	2,000,000	MD337内拠出金	5,172,526
本宮市立町地区(米/醤油/味噌)	1,235,500	緊急支援金合計	22,095,412
MD333	1,842,203	拠出内訳:	
指定寄付	1,002,203	支援先指定	4,955,968
お見舞金	840,000	無指定	17,139,444
MD334	2,712,414		
指定寄付	2,262,414		
お見舞金	450,000		
2020年7月豪雨災害支援		緊急支援金拠出(2020年7月水害支援)	
337-E地区(熊本県)		MD330内拠出金	660,786
7月支援分	8,802,390	MD331内拠出金	
8月支援分	2,211,649	MD332内拠出金	4,006,165
		MD333内拠出金	2,263,500
アラート活動費	369,190	MD334内拠出金	
7月熊本豪雨災害視察交通費2人	93,340	MD335内拠出金	11,559,145
2020/11/27アラート全体会議会場費	104,020	MD336内拠出金	
2020/11/27全体会議旅費補助6人	166,000	MD337内拠出金	667,500
振込手数料	5,830	その他/振込人不明	0
		緊急支援金合計	19,157,096
2021年2月福島県沖地震災害支援	407,220	受取利息	154
332-D地区(相馬LC、新地LC)			
ブルーシート、ロープ、土のう袋			
2020年12月～2021年1月			
新型コロナウイルス感染対策支援			
旭川への支援物資	3,000,470		
グアムへの支援物資	6,934,308		
次期繰越金	8,525,057	合計	41,252,662
合計	41,252,662	合計	41,252,662

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 公益法人会計基準について（平成20年4月11日付け内閣府公益認定等委員会）に基づく会計処理を行っています。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法について
該当事項はありません。
- (3) 頒布品の評価基準及び評価方法について
頒布品の評価方法は、個別原価法を採用しています。
- (4) 固定資産の減価償却について
減価償却は定額法によっています。
- (5) 引当金の計上基準について
該当事項はありません。
- (6) 消費税の会計処理について
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 基本財産の増減額及びその残高

該当事項はありません。

3. 固定資産の取得額、減価償却累計額および当期末残高

（単位：円）

科目	期首取得価額	増加資産	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	349,198	0	349,197	1
什器備品	760,441	0	543,170	217,271
什器備品	540,000	0	539,999	1
合計	1,649,639	0	1,432,366	217,273

（会議テーブル・イス・ロッカー）

（ライオン誌職員事務机・イス）

（ライオン誌ゼロックス複合機）

三菱 UFJ 銀行 京橋支店 (023) 普通預金 No.0847891

口座名「一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会 委員長 小林 聡」



普通預金 **8**

摘要(お客様メモ)	お支払金額	お預り金額	差引残高	記号・店番号
02-10-16			*20,992,005*	023
02-10-19 振替 335-B 返金分	*420,363	7/17 送金から 岩田川 心 送	*20,571,642*	R 023
02-10-23 振込1	335-C ライオンズ	*15,000	*20,586,642*	LT023
02-10-28 振込1	サンサンニヒチクキキヒ	*781,165	*21,367,807*	LT023
02-11-27 振込1	335-C ライオンズ	*30,000	*21,397,807*	LT023
02-11-27 振替 L 藤井信英	*50,170	7/17 市視算 交通 + 補償 49,400 + 770	*21,347,637*	R 023
02-11-27 振替 L 坂本豊市	*44,710	43,940 + 770	*21,302,927*	R 023
02-12-4 振替 (株) 栗天紅	*104,790	11/27 アニメ 全体会議 会場費 104,020 + 770	*21,198,137*	R 023
02-12-28 振替 旅費 個人分 送料	*169,520	11/27 アニメ 全体会議 166,000 + 3,520	*21,028,617*	R 023
03-2-3 振替 337-E 地区	*2211,649	1/29 振込 済 令和2年7月本音	*18,816,968*	R 023
03-2-10 振込1	335-C ライオンズ	*50,000	*18,866,968*	LT023
03-2-22 利息		*87	*18,867,055*	LT023

03-3-29 振替 332-D 地区	*407,220	福島県沖地震被害支援会	*18,459,835*	R 023
03-6-30 振替	*9,934,778		*8,525,057*	R 023

● 小切手等の証券類によるご入金の場合はそのお戻しのできる予定の日を次のとおり摘要欄に表示します。

表示	お支払予定日時
証券類(〇〇) 取立(〇〇)	(〇〇)で表示されている日の午後
振込(〇〇) 振替(〇〇)	お支払可能時刻は小切手等の種類によって異なります。詳細は窓口へお問い合わせください。
配当金(〇〇)	

● 自動支払い、お振込金などの内容は摘要欄または金額欄に、漢字またはカナ文字で表示します。
(お振込人名などをカナ表示する場合、一部省略または略記させていただくことがあります。ご不明な点は当店へご照会ください。)

● 記号のご説明
K, M...入金
L...振替入金
Q...支払い
R...振替支払い
T...後日記帳分



104-0028

令和 3年 7月 1日

東京都中央区八重洲2丁目6-15 JOTOビル9階

一般社団法人 日本ライオンズ 様

ご請求のありました令和 3年 6月30日現在における残高は、下記のとおりであることを証明いたします。

京橋通郵便局 局長



記

【調査対象者】

名義人さま 一般社団法人 日本ライオンズ 様

【証明する貯金等の内容】

【貯金】	貯金の種類	記号番号	残高	備 考
	通常貯金	10130-89308551	1,461,925円	
	以上			

※ 金額が訂正されたものは無効です。

※ この証明書につきまして、ご不明な点がございましたら、次の書類等をお近くのゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口までお持ちのうえ、お問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

- ・ 本証明書

- ・ ご本人さまであることを確認できる証明書類（お名前、ご住所、生年月日の入った運転免許証や健康保険証など、法人名義の場合は登記簿謄本など、団体名義の場合は規約の写しなどもあわせてお持ちください。）

※ 貯金の場合、残高欄には、証明日現在の残高または元金を記載しております。

※ 国債の場合、残高欄には、証明日現在の額面金額、備考欄には、市場価格+経過利息（個人向け国債の場合は中途換金額）を記載しております。（非営業日の場合、前営業日の市場価格等を記載しております。）

※ 調査結果に別名使用の振替口座が含まれている場合、「名義人さま」欄には口座名称または別名を記載しております。

※ 独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構が管理する郵便貯金につきましては、同機構から郵便貯金管理業務の委託を受けて証明しております。

振替口座残高証明書

口座番号	00170-8-514451
------	----------------

加入者名	一般社団法人 日本ライオンズ
------	----------------

令和 3年 6月30日現在の口座残高

*****7,329,884円

上記のとおり証明します。

令和 3年 7月 1日
ゆうちょ銀行

このご案内につきまして、ご不明な点などがございましたら、
お手数ですが、貯金事務センター（電話番号は表面に記載）まで
お問い合わせください。